

**令和4年度  
日田市市民意識調査報告書**

**令和5年3月**

**日田市**



# 目次

第1章	調査の概要	1
第2章	調査結果	5
	施策評価	21
	市民協働	31
	福祉	48
	産業振興	65
	生活基盤	69
	教育・文化	73
	環境	91
	地方創生	93



# 第 1 章 調査の概要

## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

市民意識調査（以下、「調査」といいます。）は、日田市自治基本条例（以下、「条例」といいます。）の目的である、「市民が主役のまちづくり」の実現に向け、条例第13条第4項の規定により、市民参画の機会を設けるために実施しました。この調査は、第6次日田市総合計画「第2期基本計画」の中間評価及び行政評価の基礎資料に活用することを目的とするものです。

### 2. 調査方法及び回収状況

調査期間	令和4年10月4日～10月21日
調査対象者	日州市内に居住する15歳以上（4月1日時点：中学生を除く）の男女
標本抽出法	住民基本台帳から無作為抽出※
調査方法	郵便による調査票の配布と郵送・Web併用による回収
配布数	2,500人
回収数	822人
回答率	32.9%

※抽出手順

- ①小学校区を基本に市内20地区に分け、それぞれの地区の人口に応じて抽出数を割り当て。
- ②割り当てられた抽出数を各地区でさらに、男女別に20歳未満（15歳以上）、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の区分で均等に割り振り。
- ③住民基本台帳から、上記②の区分ごとに対象者を無作為に抽出。

### 3. 調査結果利用上の注意

- 図表・グラフ中の「n＝」とは、回答者数を示しています。
- 回答結果の割合「%」は小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問は、選択肢の回答ごとに割合を算出しているため、割合の合計は100.0%ではありません。
- 図表中で「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の数値などについては、一部省略している場合があります。
- 前回調査から設問及び選択肢の表現（設問の趣旨は同様）を見直している箇所があります。



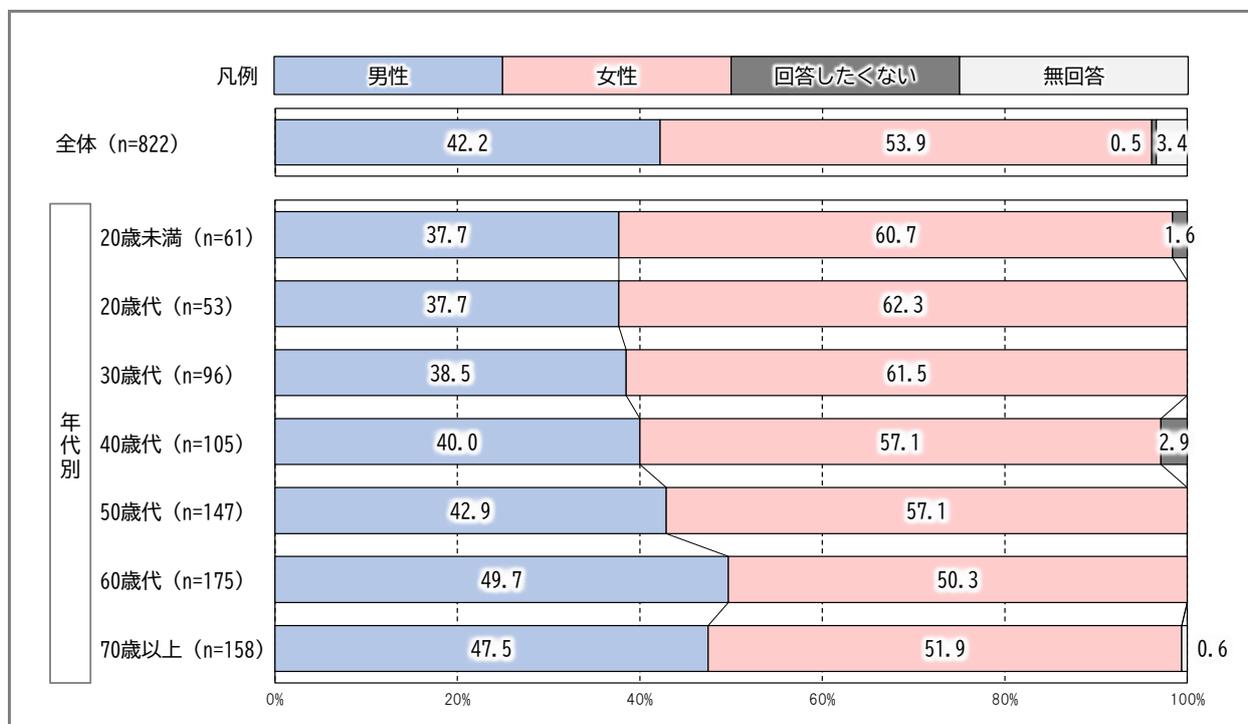
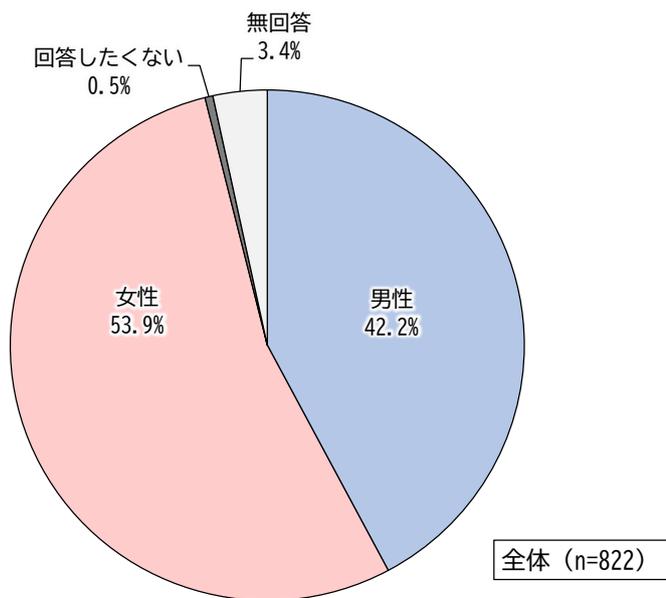
## 第2章 調査結果

## 第2章 調査結果

あなたの性別を教えてください。(○は1つだけ)

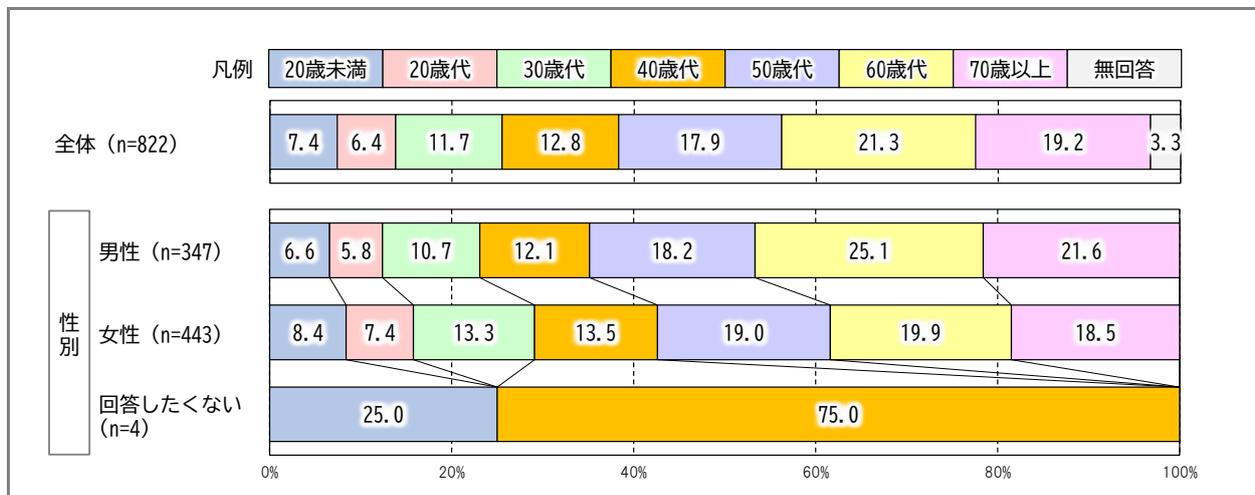
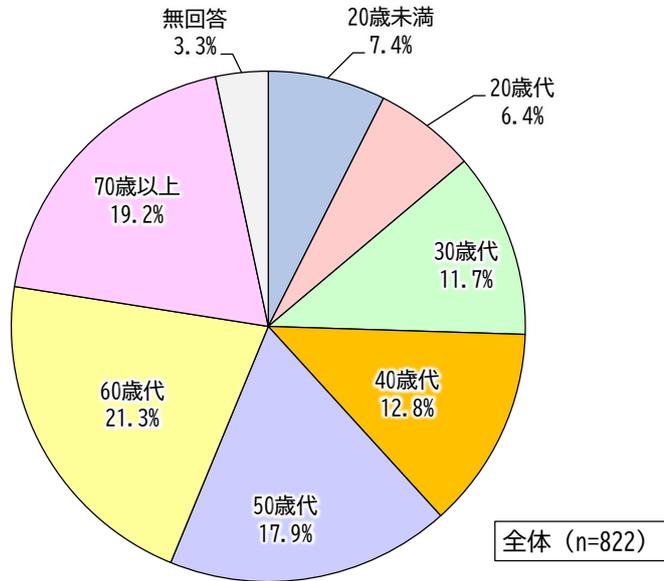
性別については、「男性」が42.2%、「女性」が53.9%となっています。

年代別にみると、どの年代においても「女性」の回答の割合が高くなっています。

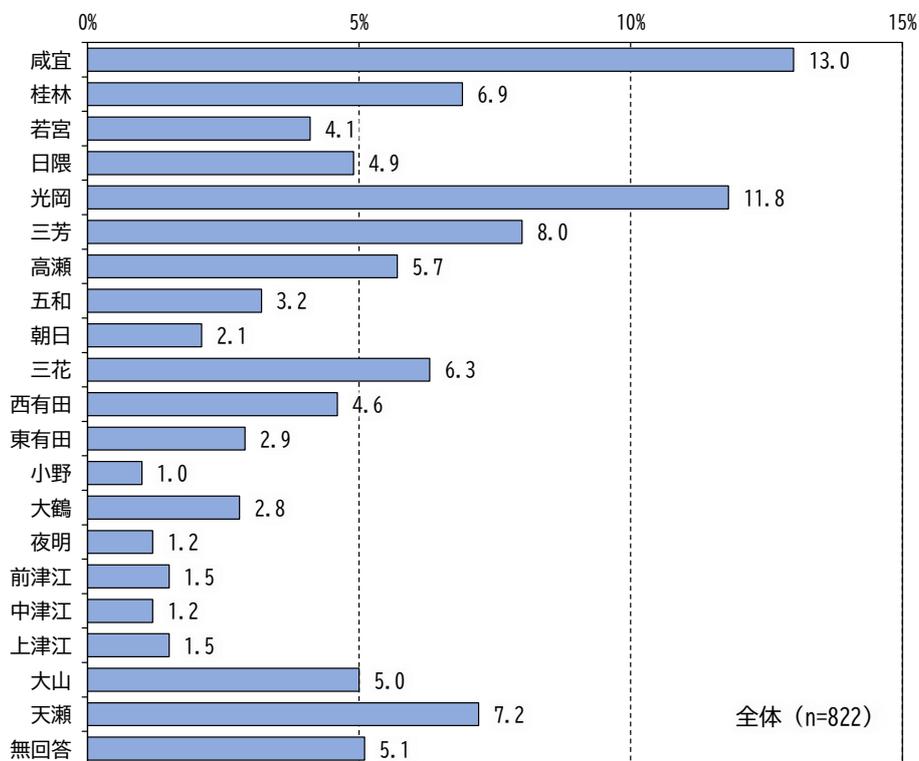


あなたの年齢はどの区分ですか。(○は1つだけ)

年齢区分については、「60歳代」が21.3%と最も高く、次いで「70歳以上」が19.2%、「50歳代」が17.9%の順となっています。



あなたのお住まいの地区はどちらですか。(○は1つだけ)

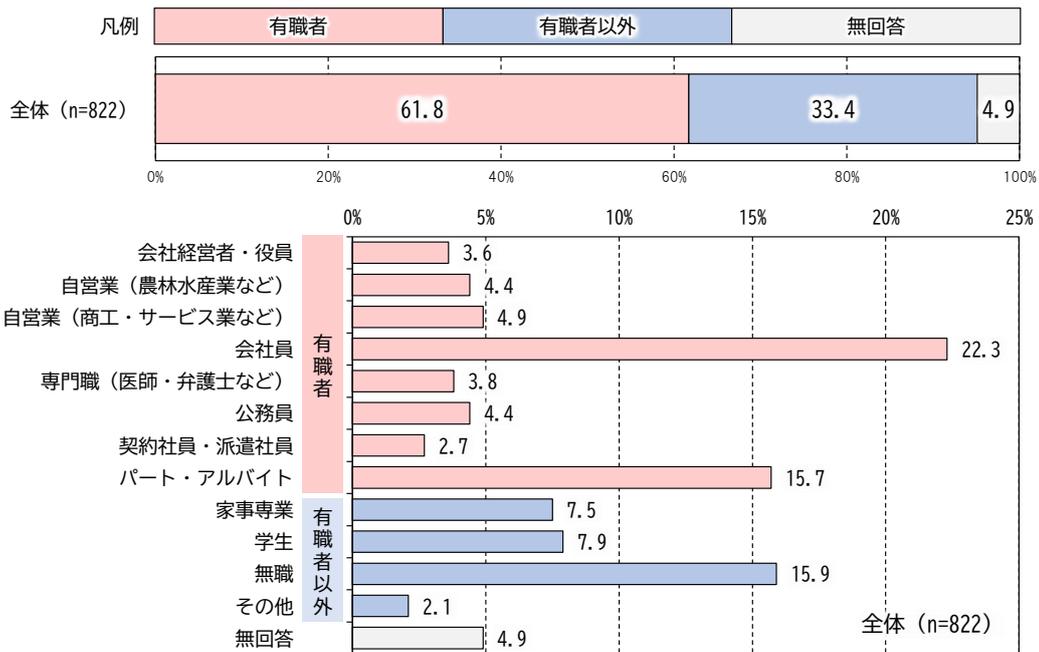


単位: 上段=人 下段=%	サンプル数	咸宜	桂林	若宮	日隈	光岡	三芳	高瀬	五和	朝日	三花	西有田	東有田	小野	大鶴	夜明	前津江	中津江	上津江	大山	天瀬	無回答	
		全体	822	107 13.0	57 6.9	34 4.1	40 4.9	97 11.8	66 8.0	47 5.7	26 3.2	17 2.1	52 6.3	38 4.6	24 2.9	8 1.0	23 2.8	10 1.2	12 1.5	10 1.2	12 1.5	41 5.0	59 7.2
性別	男性	347	45 13.0	24 6.9	16 4.6	18 5.2	42 12.1	29 8.4	22 6.3	15 4.3	7 2.0	24 6.9	19 5.5	8 2.3	2 0.6	9 2.6	4 1.2	3 0.9	3 0.9	4 1.2	18 5.2	27 7.8	8 2.3
	女性	443	61 13.8	33 7.4	18 4.1	22 5.0	55 12.4	35 7.9	24 5.4	11 2.5	10 2.3	28 6.3	19 4.3	16 3.6	6 1.4	14 3.2	6 1.4	9 2.0	7 1.6	8 1.8	23 5.2	31 7.0	7 1.6
	回答したくない	4	1 25.0	-	-	-	-	1 25.0	1 25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 25.0	-
年別	20歳未満	61	8 13.1	5 8.2	-	2 3.3	11 18.0	4 6.6	2 3.3	3 4.9	2 3.3	2 3.3	2 3.3	-	2 3.3	1 1.6	1 1.6	1 1.6	1 1.6	2 3.3	4 6.6	6 9.8	1 1.6
	20歳代	53	8 15.1	2 3.8	-	4 7.5	9 17.0	4 7.5	4 7.5	-	-	1 1.9	2 3.8	1 1.9	1 1.9	1 1.9	1 1.9	2 3.8	1 1.9	1 1.9	3 5.7	5 9.4	4 7.5
	30歳代	96	18 18.8	8 8.3	5 5.2	2 2.1	9 9.4	9 9.4	12 12.5	3 3.1	2 2.1	7 7.3	5 5.2	2 2.1	-	3 3.1	-	1 1.0	1 1.0	-	3 3.1	4 4.2	2 2.1
	40歳代	105	14 13.3	7 6.7	7 6.7	3 2.9	13 12.4	7 6.7	10 9.5	2 1.9	1 1.0	9 8.6	7 6.7	6 5.7	1 1.0	3 2.9	1 1.0	1 1.0	2 1.9	2 1.9	3 2.9	5 4.8	1 1.0
	50歳代	147	19 12.9	11 7.5	6 4.1	12 8.2	12 8.2	13 8.8	5 3.4	1 0.7	3 2.0	11 7.5	8 5.4	5 3.4	1 0.7	5 3.4	4 2.7	3 2.0	1 0.7	1 1.4	2 7.5	11 8.2	2 1.4
	60歳代	175	22 12.6	13 7.4	7 4.0	6 3.4	25 14.3	16 9.1	10 5.7	10 5.7	6 3.4	12 6.9	7 4.0	4 2.3	2 1.1	5 2.9	1 0.6	2 1.1	2 1.1	2 1.1	8 4.6	12 6.9	3 1.7
	70歳以上	158	18 11.4	11 7.0	9 5.7	11 7.0	18 11.4	13 8.2	4 2.5	7 4.4	3 1.9	10 6.3	7 4.4	4 2.5	3 1.9	4 2.5	2 1.3	3 1.9	1 0.6	3 1.9	10 6.3	15 9.5	2 1.3

あなたの職業（雇用形態）は何ですか。（○は1つだけ）

職業（雇用形態）については、「会社員」が22.3%と最も高く、次いで「無職」が15.9%、「パート・アルバイト」が15.7%の順となっています。

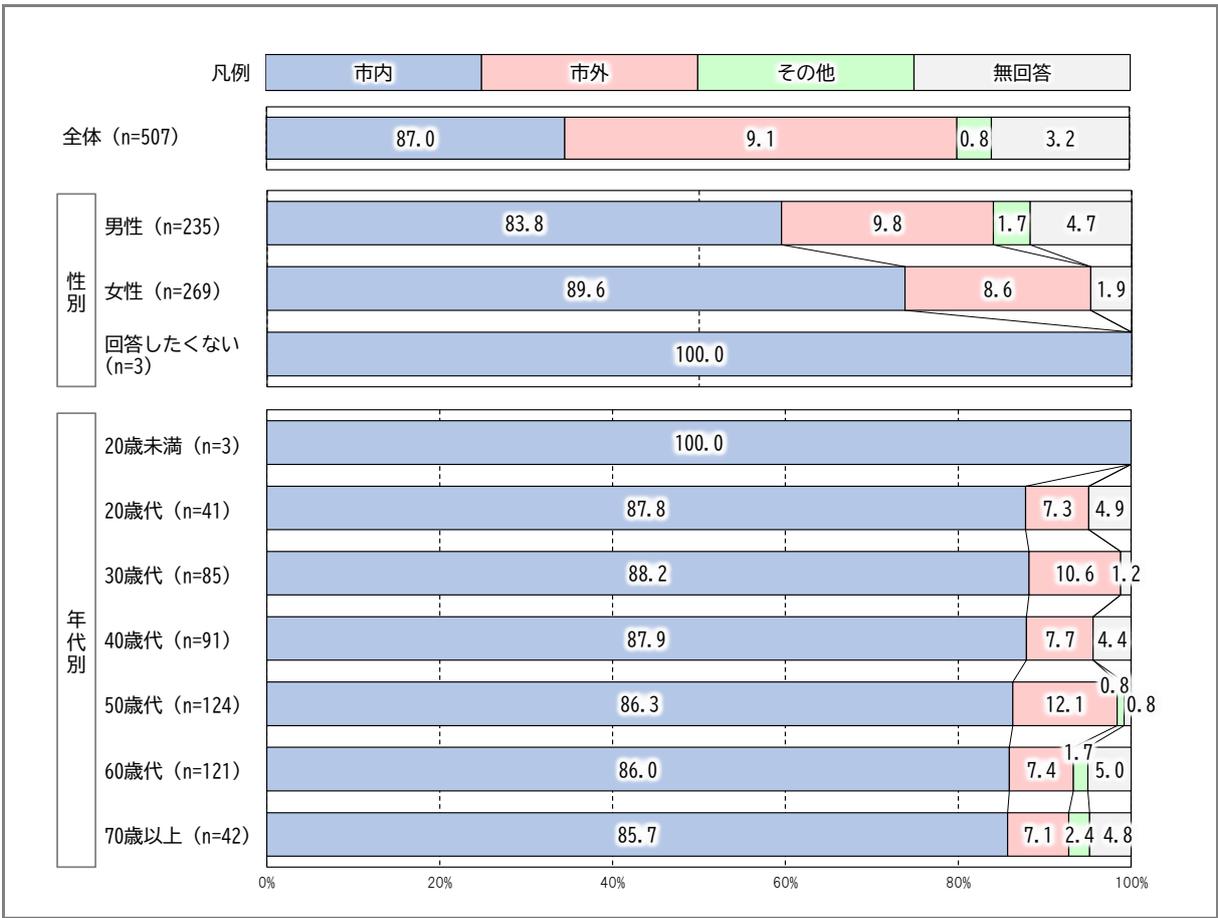
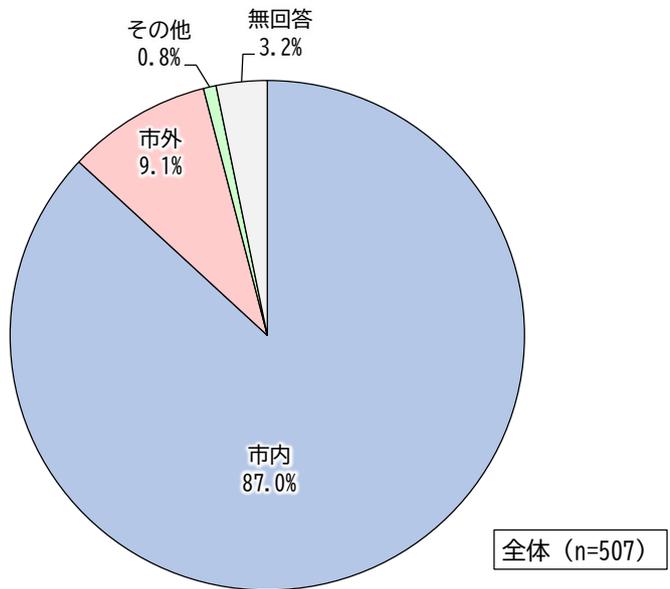
性別でみると、「男性」では「会社員」の割合が最も高く、「女性」では「パート・アルバイト」の割合が高くなっています。



単位： 上段=人 下段=%	サンプル数	有職者								有職者以外				無回答
		会社経営者・役員	自営業（農林水産業など）	自営業（商工・サービス業など）	会社員	専門職（医師・弁護士など）	公務員	契約社員・派遣社員	パート・アルバイト	家事専業	学生	無職	その他	
全体	822	30 3.6	36 4.4	40 4.9	183 22.3	31 3.8	36 4.4	22 2.7	129 15.7	62 7.5	65 7.9	131 15.9	17 2.1	40 4.9
性別	男性	18 5.2	23 6.6	23 6.6	103 29.7	13 3.7	17 4.9	12 3.5	26 7.5	2 0.6	24 6.9	71 20.5	7 2.0	8 2.3
	女性	12 2.7	13 2.9	17 3.8	78 17.6	18 4.1	19 4.3	10 2.3	102 23.0	60 13.5	40 9.0	59 13.3	9 2.0	6 1.4
	回答したくない	4	-	-	-	2 50.0	-	-	-	1 25.0	-	-	-	1 25.0
年代別	20歳未満	-	-	-	2 3.3	-	1 1.6	-	-	-	57 93.4	-	1 1.6	-
	20歳代	2 3.8	-	1 1.9	19 35.8	3 5.7	4 7.5	3 5.7	9 17.0	3 5.7	7 13.2	1 1.9	-	1 1.9
	30歳代	5 5.2	3 3.1	1 1.0	43 44.8	6 6.3	6 6.3	2 2.1	19 19.8	8 8.3	-	3 3.1	-	-
	40歳代	3 2.9	3 2.9	11 10.5	38 36.2	5 4.8	7 6.7	1 1.0	23 21.9	6 5.7	-	3 2.9	4 3.8	1 1.0
	50歳代	8 5.4	6 4.1	11 7.5	51 34.7	9 6.1	15 10.2	3 2.0	21 14.3	9 6.1	-	8 5.4	3 2.0	3 2.0
	60歳代	7 4.0	12 6.9	12 6.9	27 15.4	6 3.4	3 1.7	10 5.7	44 25.1	11 6.3	-	32 18.3	8 4.6	3 1.7
	70歳以上	5 3.2	12 7.6	4 2.5	3 1.9	2 1.3	-	3 1.9	13 8.2	25 15.8	-	84 53.2	1 0.6	6 3.8

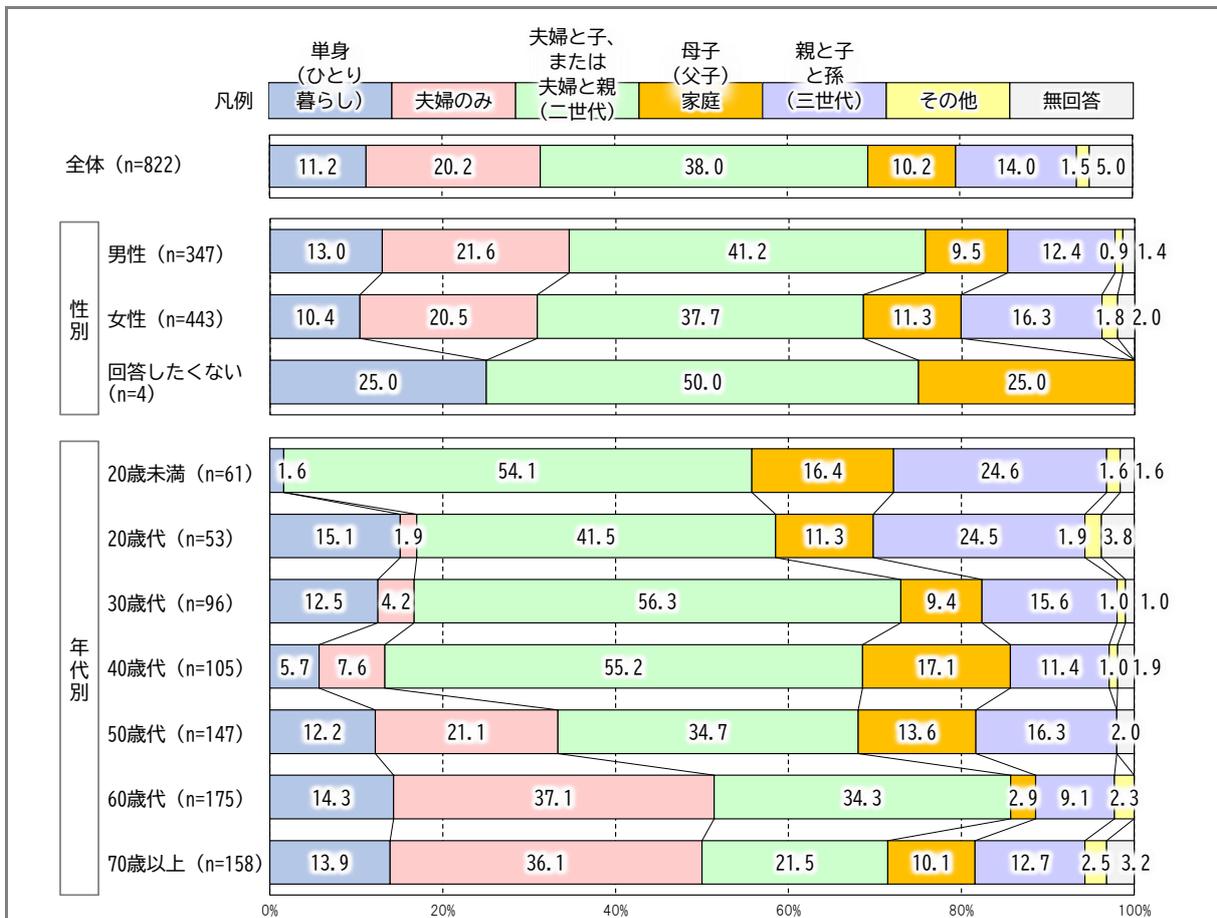
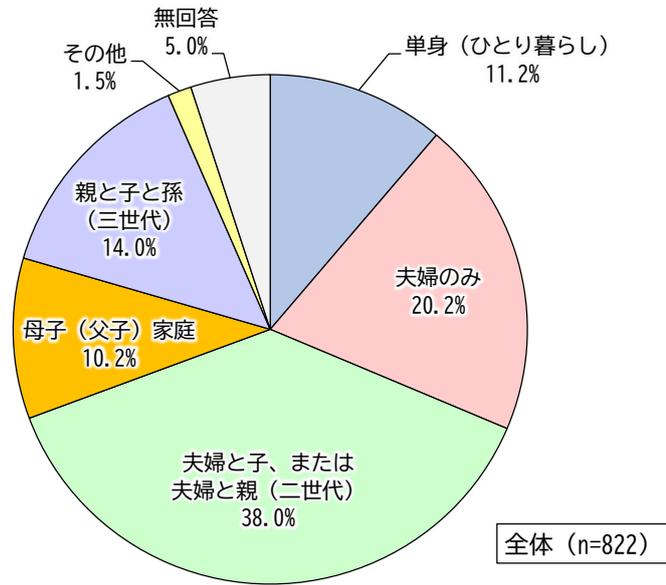
あなたはどちらで働いていますか。(○は1つだけ)

就労場所については、「市内」が87.0%、「市外」が9.1%となっています。



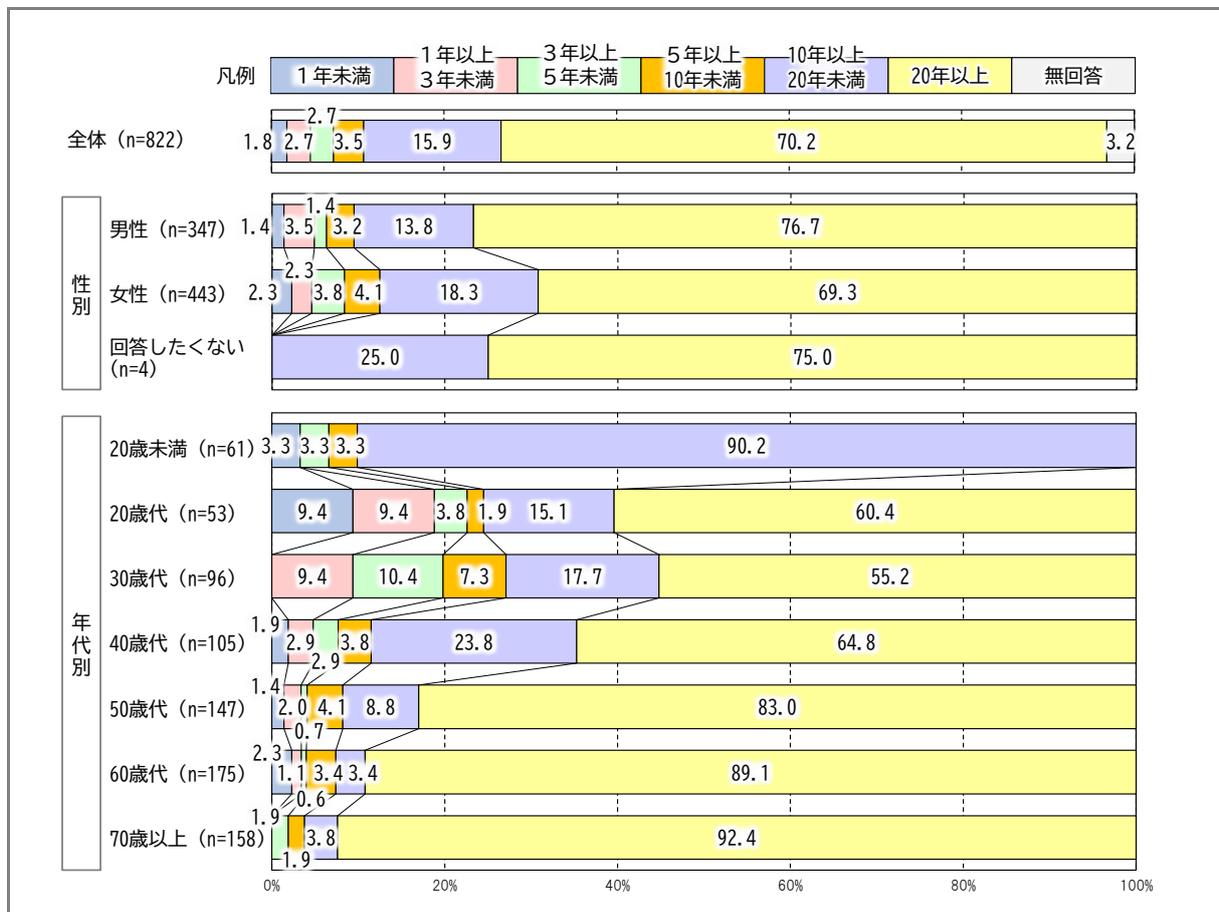
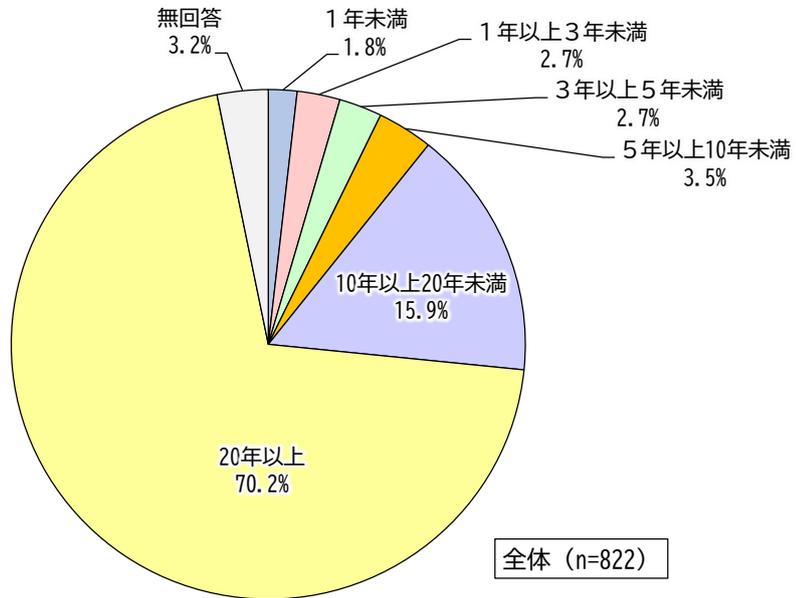
あなたの家族構成はどれに当てはまりますか。(○は1つだけ)

家族構成については、「夫婦と子、または夫婦と親（二世帯）」が38.0%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が20.2%、「親と子と孫（三世帯）」が14.0%の順となっています。



日田市での居住年数はどのくらいですか。(○は1つだけ)

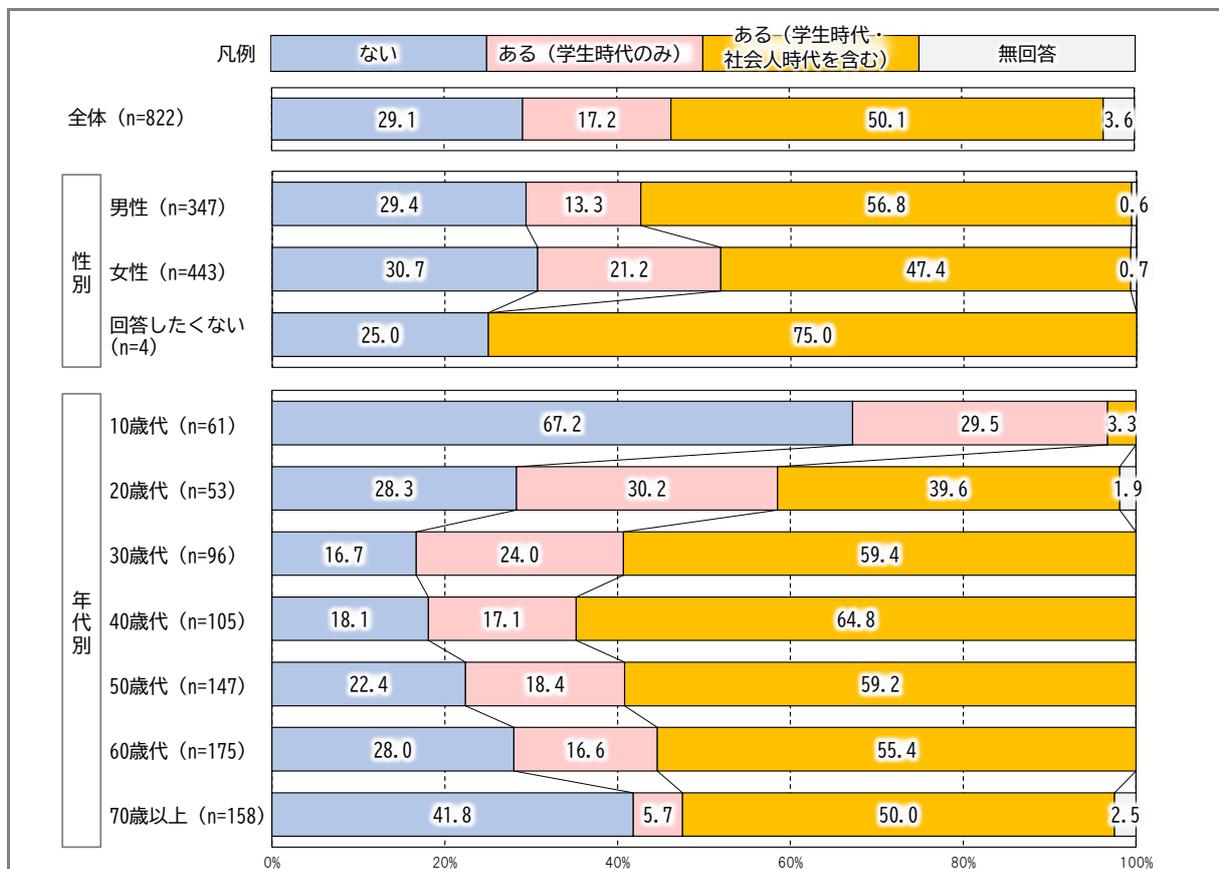
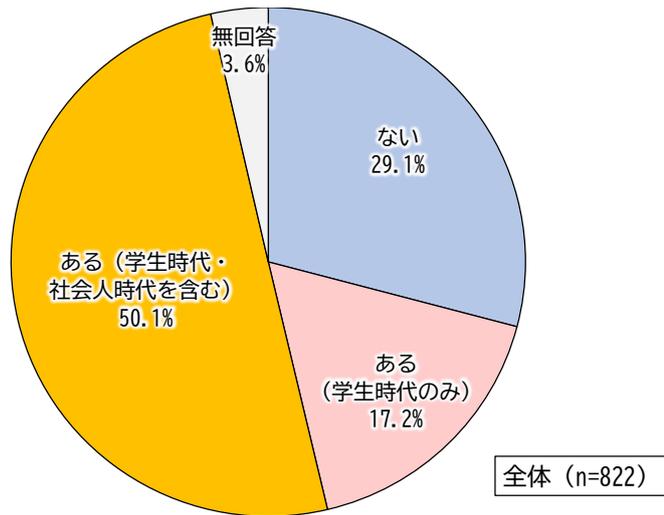
日田市での居住年数については、「20年以上」が70.2%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」が15.9%、「5年以上10年未満」が3.5%の順となっています。



日田市以外にお住まいになった経験はありますか。(○は1つだけ)

市外への居住経験については、「ある（学生時代・社会人時代を含む）」が50.1%と最も高く、次いで「ない」が29.1%、「ある（学生時代のみ）」が17.2%の順となっています。

年代別でみると、「40歳代」は「ある（学生時代・社会人時代を含む）」の割合が6割を超えています。

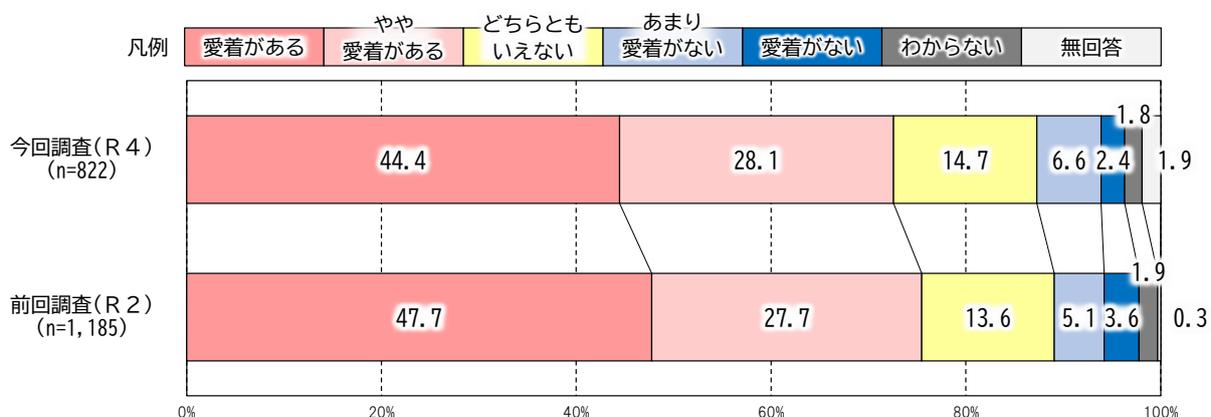


**【問1】あなたは、日田市に愛着を持っていますか。（○は1つだけ）**

日田市に愛着を持っているかについては、「愛着がある」が44.4%と最も高く、次いで「やや愛着がある」が28.1%、「どちらともいえない」が14.7%の順となっています。

年代別にみると、「30歳代」は「やや愛着がある」が最も高く、それ以外の年代は「愛着がある」の割合が最も高くなっています。特に、「60歳代」「70歳以上」で、「愛着がある」と回答した割合が5割を上回っています。

前回調査と比較すると、「愛着がある」は3ポイント以上低くなっていますが、「やや愛着がある」は0.4ポイント高くなっています。



単位： 上段=人 下段=%		サンプル数	愛着がある	やや愛着がある	どちらともいえない	あまり愛着がない	愛着がない	わからない	無回答
全体		822	365 44.4	231 28.1	121 14.7	54 6.6	20 2.4	15 1.8	16 1.9
性別	男性	347	162 46.7	101 29.1	41 11.8	25 7.2	8 2.3	2 0.6	8 2.3
	女性	443	190 42.9	121 27.3	75 16.9	27 6.1	11 2.5	12 2.7	7 1.6
	回答したくない	4	-	-	3 75.0	-	1 25.0	-	-
年代別	20歳未満	61	22 36.1	17 27.9	12 19.7	1 1.6	5 8.2	3 4.9	1 1.6
	20歳代	53	18 34.0	16 30.2	9 17.0	4 7.5	2 3.8	4 7.5	-
	30歳代	96	26 27.1	36 37.5	13 13.5	14 14.6	4 4.2	2 2.1	1 1.0
	40歳代	105	31 29.5	30 28.6	27 25.7	10 9.5	4 3.8	-	3 2.9
	50歳代	147	67 45.6	49 33.3	20 13.6	6 4.1	1 0.7	3 2.0	1 0.7
	60歳代	175	96 54.9	37 21.1	24 13.7	10 5.7	2 1.1	-	6 3.4
	70歳以上	158	93 58.9	37 23.4	14 8.9	7 4.4	2 1.3	2 1.3	3 1.9
居住年数別	1年未満	15	3 20.0	3 20.0	3 20.0	3 20.0	2 13.3	1 6.7	-
	1年以上3年未満	22	6 27.3	3 13.6	6 27.3	4 18.2	2 9.1	1 4.5	-
	3年以上5年未満	22	7 31.8	6 27.3	6 27.3	3 13.6	-	-	-
	5年以上10年未満	29	7 24.1	10 34.5	4 13.8	4 13.8	2 6.9	1 3.4	1 3.4
	10年以上20年未満	131	37 28.2	45 34.4	29 22.1	4 3.1	7 5.3	4 3.1	5 3.8
	20年以上	577	294 51.0	155 26.9	71 12.3	34 5.9	7 1.2	7 1.2	9 1.6

**【問2】あなたは、日田市を住みやすいまちだと思いますか。（○は1つだけ）**

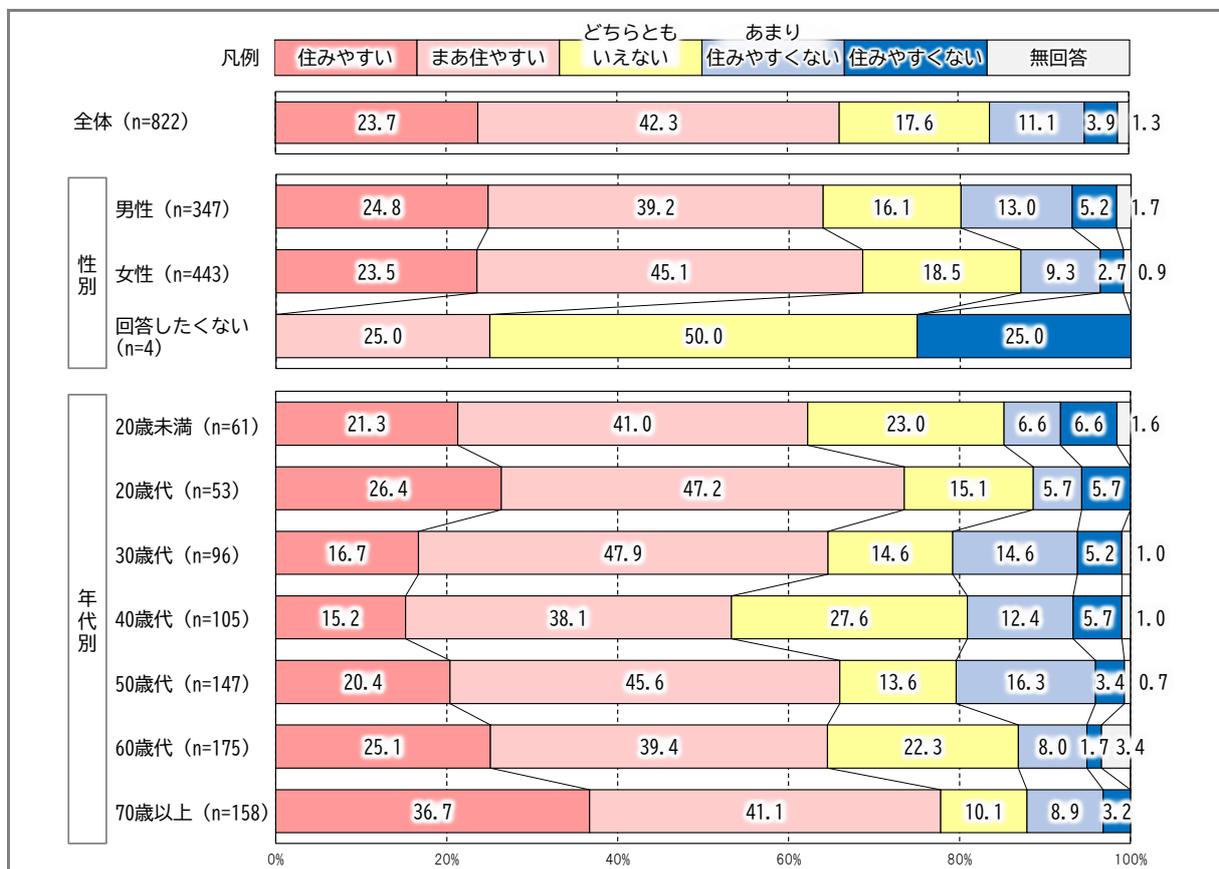
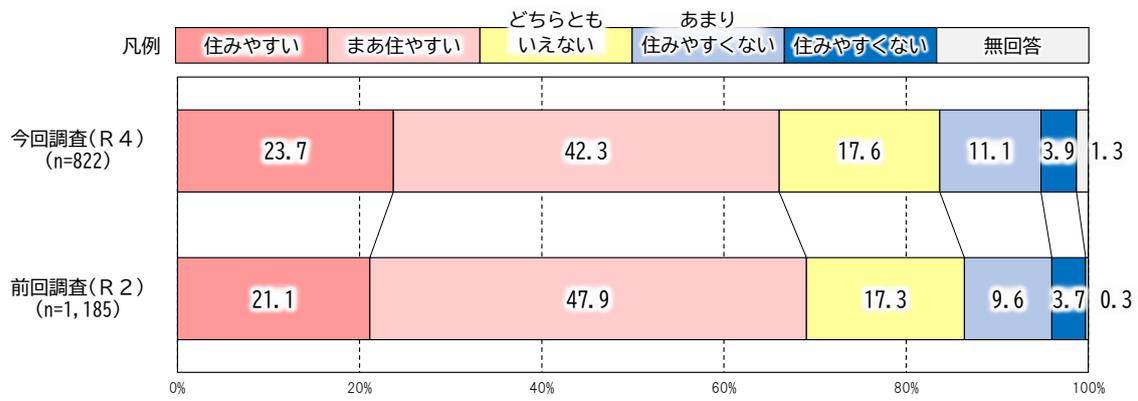
日田市の住みやすさについては、住みやすいと感じる人<sup>※1</sup>が66.0%、住みやしくないと感じる人<sup>※2</sup>が15.0%となっています。

年代別にみると、住みやすいと感じる人の割合は、「20歳代」「70歳以上」が7割以上を占めています。

前回調査と比較すると、住みやすいと感じる人の割合が3ポイント低くなっています。

※1「住みやすい」若しくは「まあ住みやすい」と回答した人

※2「住みやしくないと」若しくは「あまり住みやしくないと」回答した人

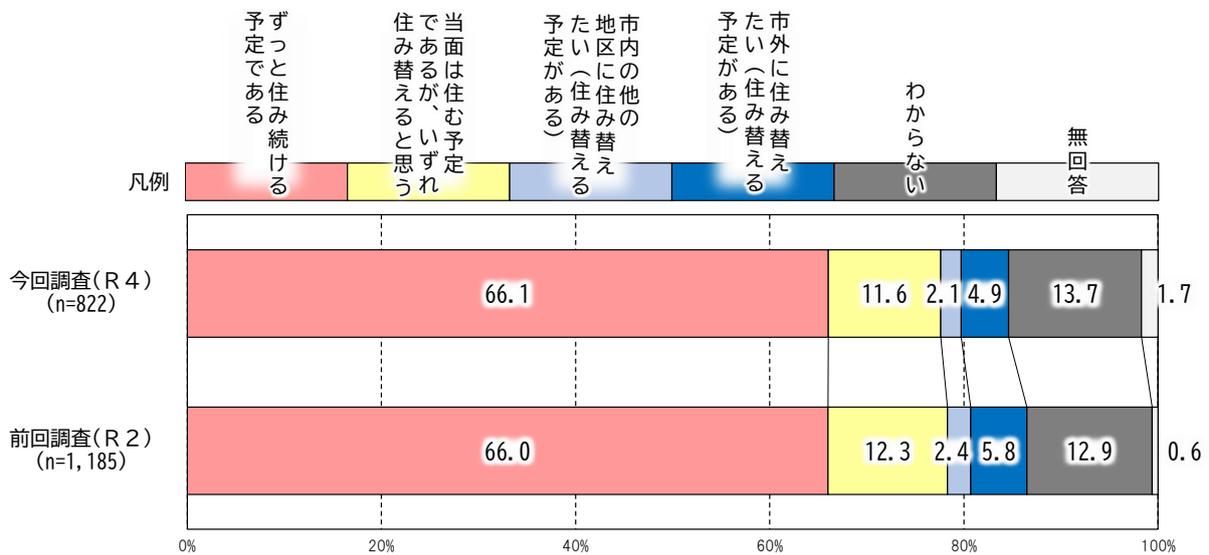


**【問3】あなたは、今後も日田市に住み続けるご予定ですか。（○は1つだけ）**

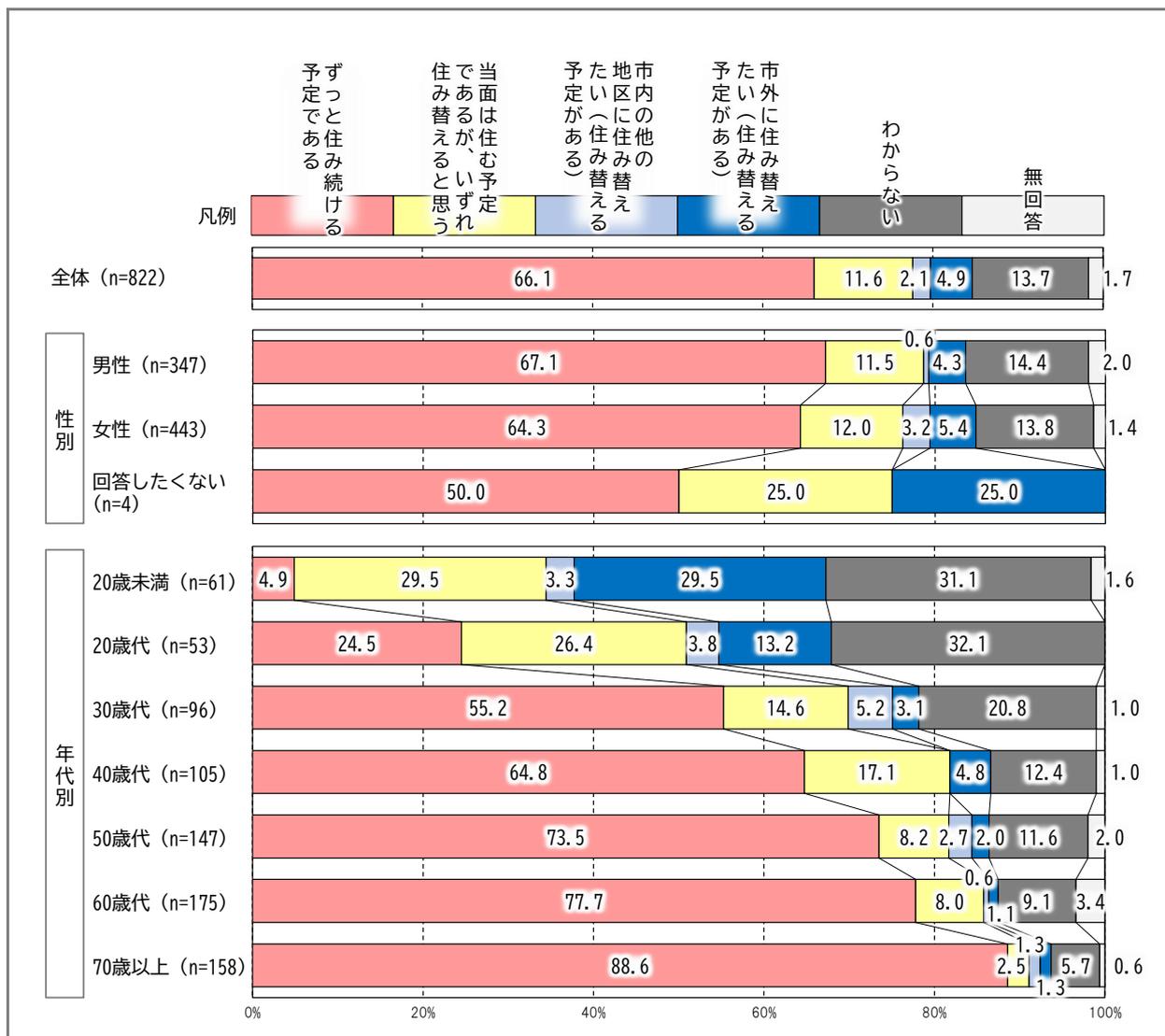
今後も日田市に住み続ける意向については、「ずっと住み続ける予定である」が66.1%と最も高く、次いで「わからない」が13.7%、「当面は住む予定であるが、いずれ住み替えると思う」が11.6%の順となっています。

年代別にみると、年代が高くなるにつれて、「ずっと住み続ける予定である」と回答した割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、「当面は住む予定であるが、いずれ住み替えると思う」の割合は0.7ポイント、「市外に住み替えたい（住み替える予定がある）」の割合は0.9ポイント低くなっています。



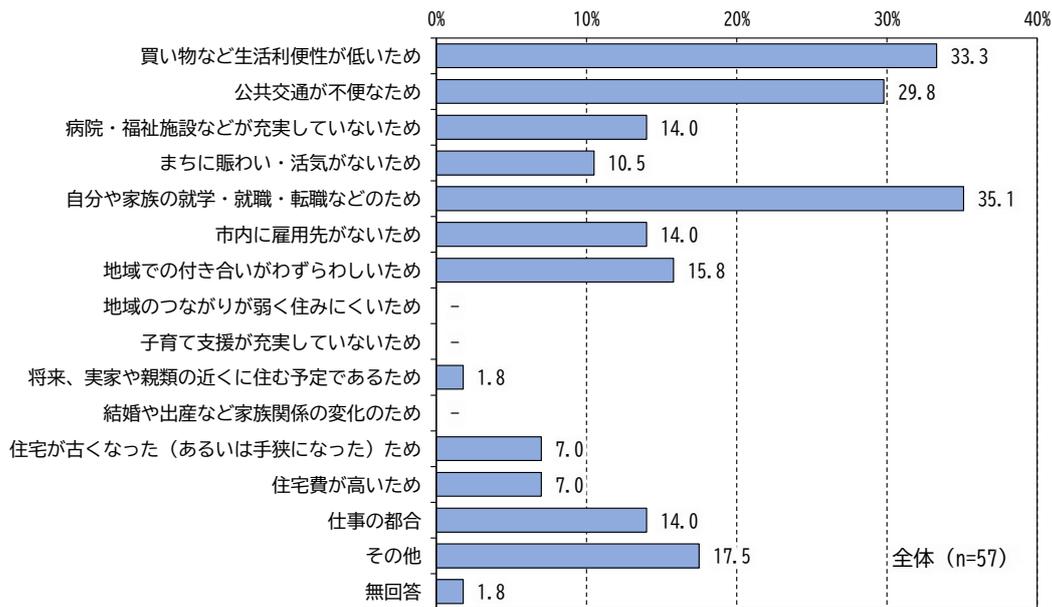
第2章 調査結果「調査対象者」



◆問3で住み替える予定があると回答された方にお伺いします。  
【問3-1】住み替えを希望する理由をお答えください。（○は3つまで）

住み替えを希望する理由については、「自分や家族の就学・就職・転職などのため」が35.1%と最も高く、次いで「買い物など生活利便性が低いため」が33.3%、「公共交通が不便なため」が29.8%の順となっています。

性別にみると、「男性」は「買い物など生活利便性が低いため」、「女性」は「自分や家族の就学・就職・転職などのため」と回答した割合が最も高くなっています。

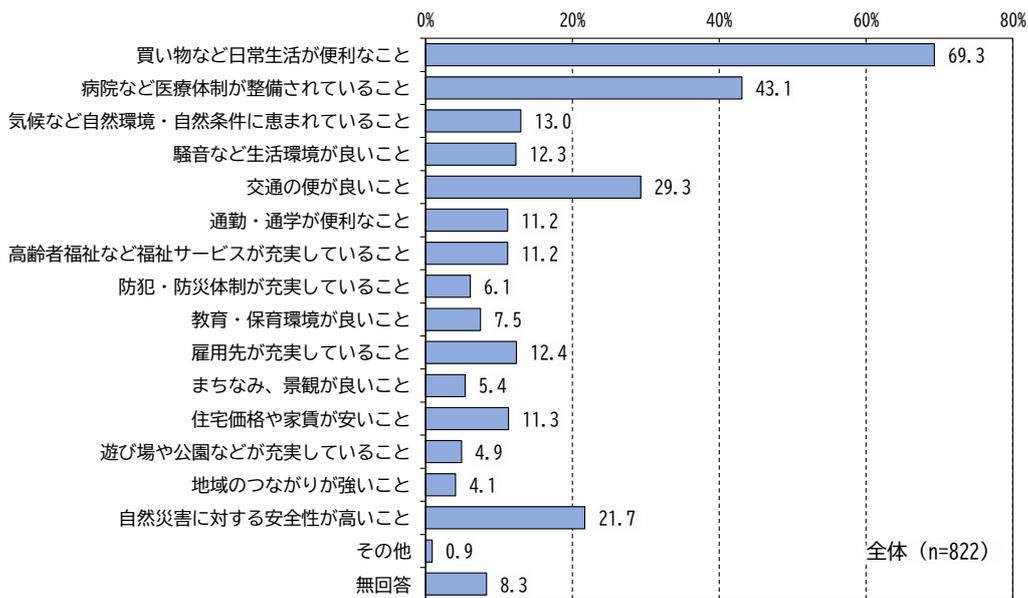


単位： 上段=人 下段=%	サンプル数	低買	公共	実病	いま	職・	自	市	ら	地	み	な	将	の	結	住	住	仕	そ	無
		いた	共交	院し	ち	・	分	内	域	地	育	来	婚	宅	宅	事	他	回		
全体	57	19 33.3	17 29.8	8 14.0	6 10.5	20 35.1	8 14.0	9 15.8	-	-	1 1.8	-	4 7.0	4 7.0	8 14.0	10 17.5	1 1.8			
性別	男性	17	7 41.2	4 23.5	2 11.8	2 11.8	5 29.4	2 11.8	3 17.6	-	-	-	-	-	2 11.8	1 5.9	4 23.5	3 17.6	-	
	女性	38	11 28.9	11 28.9	5 13.2	4 10.5	15 39.5	6 15.8	5 13.2	-	-	1 2.6	-	2 5.3	3 7.9	3 7.9	7 18.4	1 2.6		
	回答したくない	1	-	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-		
年代別	20歳未満	20	6 30.0	6 30.0	-	5 25.0	14 70.0	2 10.0	-	-	-	1 5.0	-	-	-	1 5.0	1 5.0	1 5.0	-	
	20歳代	9	2 22.2	2 22.2	-	-	2 22.2	3 33.3	1 11.1	-	-	-	-	-	-	2 22.2	2 22.2	2 22.2	-	
	30歳代	8	2 25.0	3 37.5	1 12.5	-	3 37.5	2 25.0	1 12.5	-	-	-	-	-	-	1 12.5	1 12.5	2 25.0	-	
	40歳代	5	1 20.0	1 20.0	2 40.0	-	1 20.0	1 20.0	3 60.0	-	-	-	-	-	1 20.0	-	2 40.0	-	-	
	50歳代	7	3 42.9	-	2 28.6	-	-	-	3 42.9	-	-	-	-	-	1 14.3	-	1 14.3	2 28.6	1 14.3	
	60歳代	3	2 66.7	2 66.7	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	
	70歳以上	4	2 50.0	2 50.0	1 25.0	-	-	-	1 25.0	-	-	-	-	-	2 50.0	-	-	2 50.0	-	

**【問4】住む場所を選ぶ際、重視することをお答えください。（○は3つまで）**

住む場所を選ぶ際、重視することについては、「買い物など日常生活が便利なこと」が69.3%と最も高く、次いで「病院など医療体制が整備されていること」が43.1%、「交通の便が良いこと」が29.3%の順となっています。

年代別に上位3項目を除いてみると、「20歳未満」では「通勤・通学が便利なこと」、「20歳代」では「住宅価格や家賃が安いこと」、「30歳代」では「教育・保育環境が良いこと」、「40歳代」では「騒音など生活環境が良いこと」、「50歳代」「60歳代」「70歳以上」では「自然災害に対する安全性が高いこと」の割合が高くなっています。



単位： 上段=人 下段=%	サンプル数	買い物など日常生活が便利	病院など医療体制が整備	自然環境・自然条件に恵ま	騒音など生活環境が良い	交通の便が良い	通勤・通学が便利	高齢者福祉など福祉サー	防犯・防災体制が充実	教育・保育環境が良い	雇用先が充実	まちなみ、景観が良い	住宅価格や家賃が安い	遊び場や公園などが充実	地域のつながりが強い	自然災害に対する安全性	その他	無回答
		高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高
全体	822	570 69.3	354 43.1	107 13.0	101 12.3	241 29.3	92 11.2	92 11.2	50 6.1	62 7.5	102 12.4	44 5.4	93 11.3	40 4.9	34 4.1	178 21.7	7 0.9	68 8.3
性別	男性	347 226 65.1	150 43.2	51 14.7	41 11.8	103 29.7	41 11.8	40 11.5	27 7.8	22 6.3	48 13.8	19 5.5	29 8.4	17 4.9	19 5.5	67 19.3	2 0.6	31 8.9
	女性	443 328 74.0	194 43.8	53 12.0	57 12.9	132 29.8	48 10.8	46 10.4	22 5.0	36 8.1	50 11.3	23 5.2	61 13.8	22 5.0	13 2.9	105 23.7	4 0.9	31 7.0
	回答したくない	4 3 75.0	2 50.0	-	1 25.0	2 50.0	-	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0	-	-	-	-	1 25.0	-	-
年代別	20歳未満	61 41 67.2	14 23.0	4 6.6	8 13.1	27 44.3	28 45.9	1 1.6	3 4.9	2 3.3	13 21.3	6 9.8	13 21.3	8 13.1	-	7 11.5	1 1.6	3 4.9
	20歳代	53 39 73.6	16 30.2	3 5.7	5 9.4	9 17.0	11 20.8	-	4 7.5	9 17.0	10 18.9	6 11.3	15 28.3	7 13.2	2 3.8	9 17.0	-	3 5.7
	30歳代	96 78 81.3	35 36.5	7 7.3	17 17.7	19 19.8	18 18.8	3 3.1	6 6.3	23 24.0	16 16.7	5 5.2	21 21.9	9 9.4	1 1.0	15 15.6	-	1 1.0
	40歳代	105 76 72.4	37 35.2	14 13.3	21 20.0	33 31.4	11 10.5	9 8.6	5 4.8	15 14.3	13 12.4	4 3.8	13 12.4	8 7.6	3 3.8	4 16.2	1 1.0	6 5.7
	50歳代	147 106 72.1	65 44.2	27 18.4	19 12.9	45 30.6	15 10.2	13 8.8	11 7.5	6 4.1	25 17.0	5 3.4	17 11.6	2 1.4	5 5.4	8 27.9	3 2.0	6 4.1
	60歳代	175 117 66.9	91 52.0	28 16.0	16 9.1	61 34.9	4 2.3	26 14.9	11 6.3	3 1.7	17 9.7	11 6.3	8 4.6	2 1.1	9 5.1	40 22.9	1 0.6	19 10.9
	70歳以上	158 101 63.9	88 55.7	21 13.3	13 8.2	43 27.2	2 1.3	36 22.8	10 6.3	-	5 3.2	6 3.8	3 1.9	3 1.9	8 5.1	44 27.8	-	24 15.2

【問5】日田市では各分野で様々な施策に取り組んでいます。施策に対するあなたの現在の満足度と今後の重要度についてお聞かせください。

### ■個別項目の満足度評価と重要度評価を評点化（全体）

#### ■評価方法（加重平均）

※満足度評点：満足（100）、やや満足（50）、どちらともいえない（0）、やや不満（-50）、不満（-100）として、回答者の平均得点を算出

※重要度評点：重要（100）、やや重要（50）、どちらともいえない（0）、あまり重要でない（-50）、重要でない（-100）として、回答者の平均得点を算出

算出結果の数値が高いほど、「満足度」では満足している、「重要度」では重要と考えている指標となります。

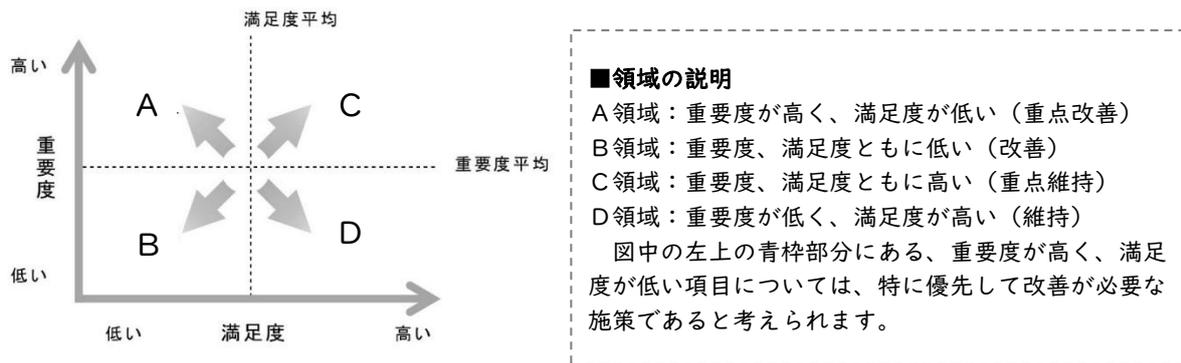
### ■施策別評価結果一覧

番号	施策	重要度			満足度			評価 エリア	ニーズ値	
		加重 平均値	全体平均 との差	相対順位	加重 平均値	全体平均 との差	相対順位		ニーズ値	相対順位
1	市民協働のまちづくり	48.10	-5.98	23/29	5.81	-1.44	19/29	B	42.29	22/29
2	市民サービスの充実・向上	58.63	4.55	11/29	6.50	-0.75	18/29	A	52.13	8/29
3	政策を実行・実現する行財政運営	57.58	3.50	14/29	-5.39	-12.64	29/29	A	62.97	2/29
4	健康づくり、保健・医療の充実	68.18	14.10	2/29	16.21	8.96	3/29	C	51.97	9/29
5	地域福祉の推進	57.84	3.76	13/29	10.80	3.55	5/29	C	47.04	18/29
6	子ども・子育て支援の推進	67.48	13.40	4/29	12.17	4.92	4/29	C	55.31	6/29
7	障がい者（児）福祉の充実	58.62	4.54	12/29	7.71	0.46	15/29	C	50.91	13/29
8	高齢者福祉の充実	66.06	11.98	6/29	8.60	1.35	12/29	C	57.46	4/29
9	防災・消防・救急体制の強化	69.97	15.89	1/29	18.97	11.72	2/29	C	51.00	12/29
10	防犯体制、交通安全対策及び消費生活の充実	62.20	8.12	8/29	10.69	3.44	6/29	C	51.51	10/29
11	農業・水産業の振興	51.48	-2.60	20/29	1.92	-5.33	25/29	B	49.56	15/29
12	林業の振興	49.06	-5.02	22/29	1.72	-5.53	26/29	B	47.34	17/29
13	商工業の振興	53.52	-0.56	16/29	-3.65	-10.90	28/29	B	57.17	5/29
14	観光の振興	54.64	0.56	15/29	5.70	-1.55	20/29	A	48.94	16/29
15	道路・河川・公共交通の整備	67.20	13.12	5/29	-0.07	-7.32	27/29	A	67.27	1/29
16	住環境の整備と維持管理	52.82	-1.26	19/29	2.86	-4.39	23/29	B	49.96	14/29
17	公園・緑地の整備と維持管理	44.18	-9.90	24/29	9.35	2.10	9/29	D	34.83	25/29
18	地域特性を活かした空間づくり	34.66	-19.42	27/29	2.77	-4.48	24/29	B	31.89	26/29
19	情報通信基盤の整備と維持管理	49.37	-4.71	21/29	4.61	-2.64	22/29	B	44.76	20/29
20	減災対策と災害復旧	67.60	13.52	3/29	7.99	0.74	13/29	C	59.61	3/29
21	学校教育の充実	62.24	8.16	7/29	9.53	2.28	8/29	C	52.71	7/29
22	文化芸術の振興	33.54	-20.54	28/29	8.70	1.45	11/29	D	24.84	28/29
23	生涯学習の充実	35.86	-18.22	26/29	9.23	1.98	10/29	D	26.63	27/29
24	スポーツ・レクリエーションの振興	30.24	-23.84	29/29	6.76	-0.49	17/29	B	23.48	29/29
25	互いに尊重しあえる社会の実現	40.56	-13.52	25/29	4.93	-2.32	21/29	B	35.63	24/29
26	地域環境の保全	53.30	-0.78	17/29	9.55	2.30	7/29	D	43.75	21/29
27	良好な水資源の確保	61.23	7.15	9/29	21.25	14.00	1/29	C	39.98	23/29
28	資源循環と地球温暖化対策の推進	59.12	5.04	10/29	7.82	0.57	14/29	C	51.30	11/29
29	環境意識の向上	53.07	-1.01	18/29	7.31	0.06	16/29	D	45.76	19/29
平均		54.08			7.25				46.83	

※ニーズ値 = 重要度加重平均値 - 満足度加重平均値 で算出

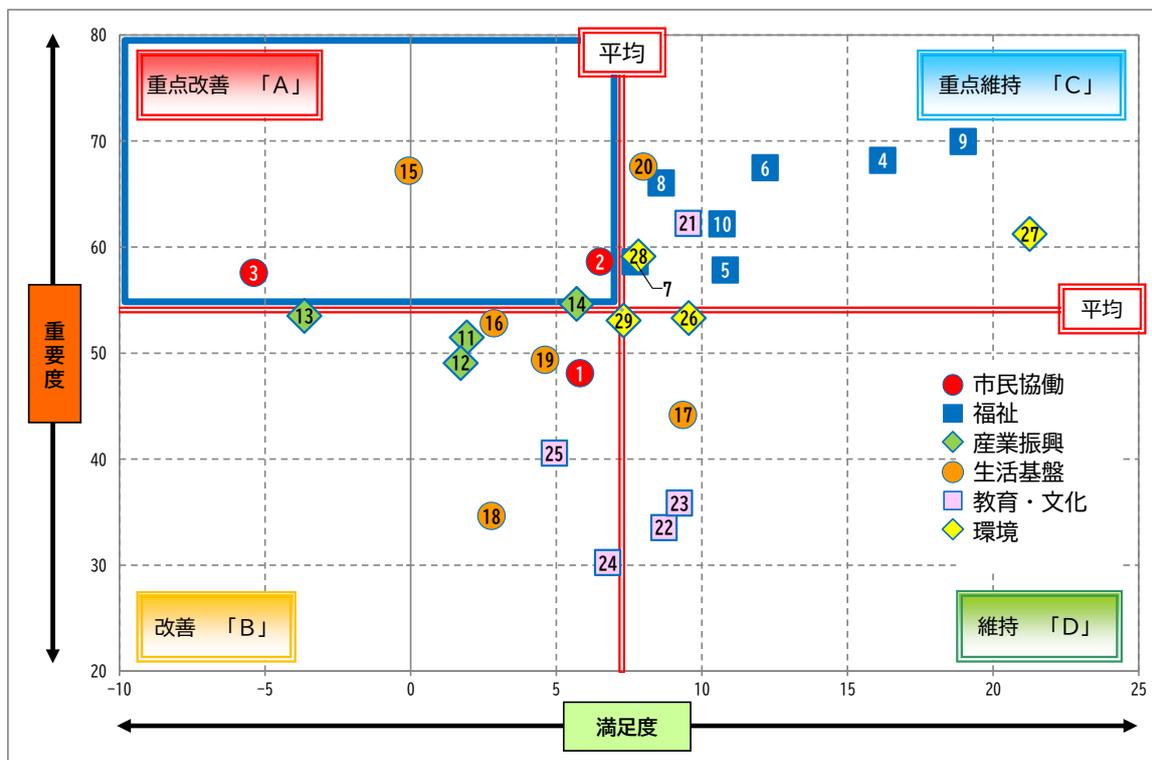
## 第2章 調査結果「施策評価」

各個別項目における満足度評点と重要度評点の相関関係を表すと、以下のような図になります。



評価の結果、重点改善の区分に該当する施策は、「政策を実行・実現する行財政運営」「道路・河川・公共交通の整備」「減災対策と災害復旧」となっています。

※図表下、項目一覧における左側のマークが前回結果、右側のマークが今回結果を示しています。



### I：市民協働分野

- ① 市民協働のまちづくり
- ② 市民サービスの充実・向上
- ③ 政策を実行・実現する行財政運営

### II：福祉分野

- ④ 健康づくり、保健・医療の充実
- ⑤ 地域福祉の推進
- ⑥ 子ども・子育て支援の推進
- ⑦ 障がい者（児）福祉の充実
- ⑧ 高齢者福祉の充実
- ⑨ 防災・消防・救急体制の強化
- ⑩ 防犯体制、交通安全対策及び消費生活の充実

### III：産業振興分野

- ⑪ 農業・水産業の振興
- ⑫ 林業の振興
- ⑬ 商工業の振興
- ⑭ 観光の振興

### IV：生活基盤分野

- ⑮ 道路・河川・公共交通の整備
- ⑯ 住環境の整備と維持管理
- ⑰ 公園・緑地の整備と維持管理
- ⑱ 地域特性を活かした空間づくり
- ⑲ 情報通信基盤の整備と維持管理
- ⑳ 減災対策と災害復旧

### V：教育・文化分野

- ㉑ 学校教育の充実
- ㉒ 文化芸術の振興
- ㉓ 生涯学習の充実
- ㉔ スポーツ・レクリエーションの振興
- ㉕ 互いに尊重しあえる社会の実現

### VI：環境分野

- ㉖ 地域環境の保全
- ㉗ 良好な水資源の確保
- ㉘ 資源循環と地球温暖化対策の推進
- ㉙ 環境意識の向上

## ● 「現在の満足度」(全体)

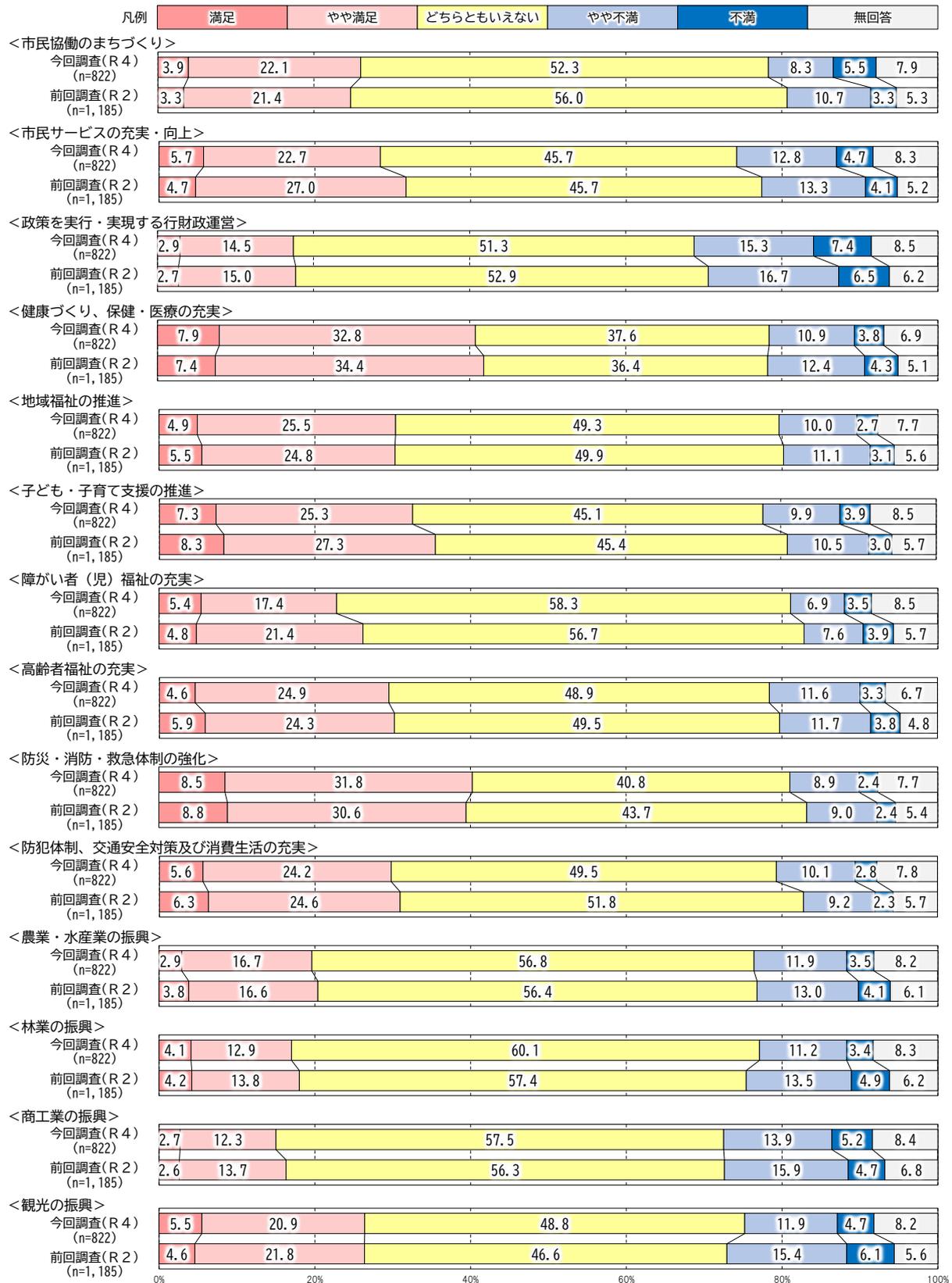
現在の満足度については、満足している人<sup>※1</sup>の割合は、「健康づくり、保健・医療の充実」が40.7%で最も高く、次いで「防災・消防・救急体制の強化」が40.3%、「良好な水資源の確保」が40.1%の順となっています。一方、不満がある人<sup>※2</sup>の割合は、「道路・河川・公共交通の整備」が28.6%と最も高く、次いで「政策を実行・実現する行財政運営」が22.7%の順となっています。

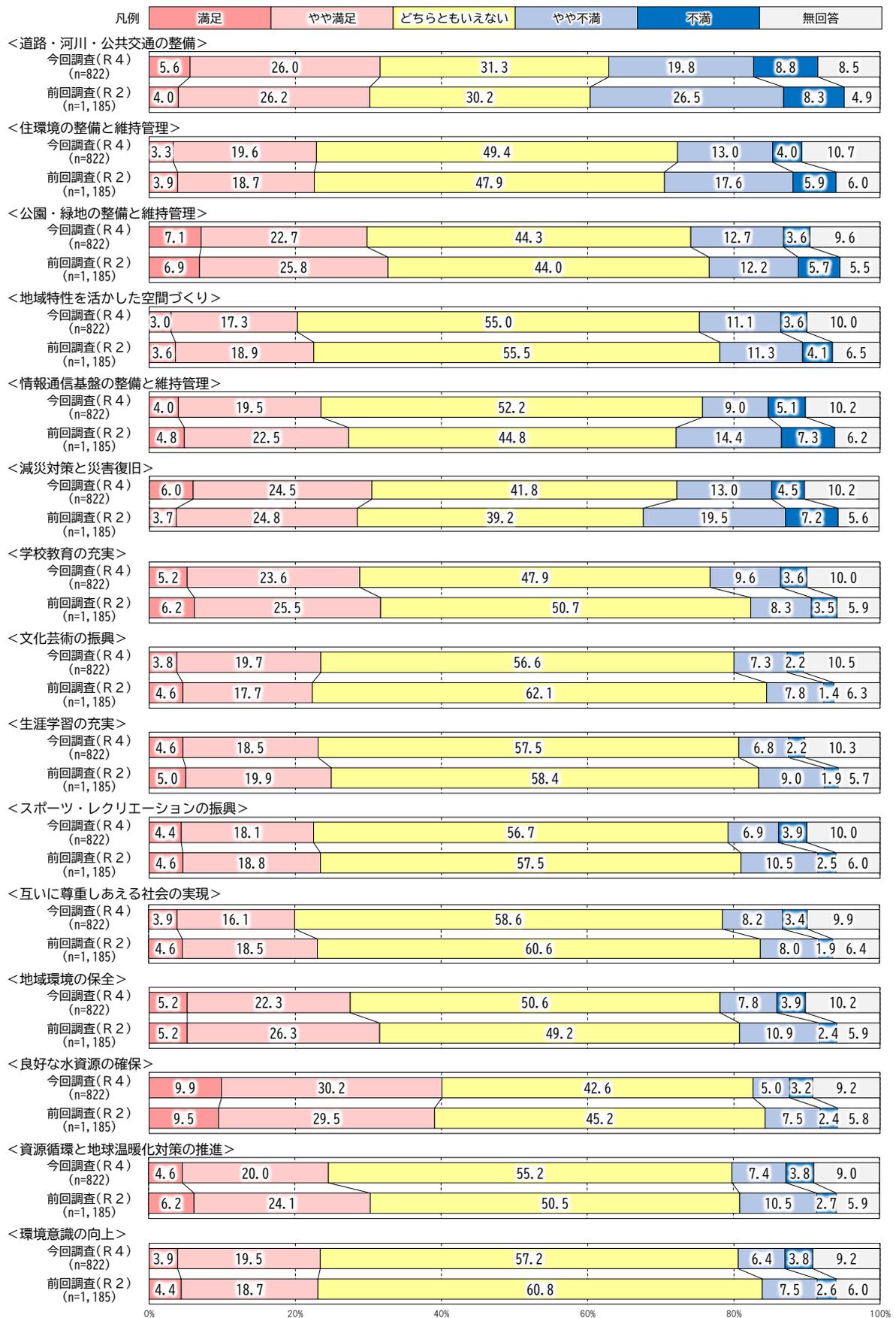
前回調査と比較すると、全体的な項目において満足している人の割合は、不満がある人に比べて減少しており、特に「資源循環と地球温暖化対策の推進」は5.7ポイント減少しています。

※1 「満足」若しくは「やや満足」と回答した人

※2 「不満」もしくは「やや不満」と回答した人

## 第2章 調査結果「施策評価」



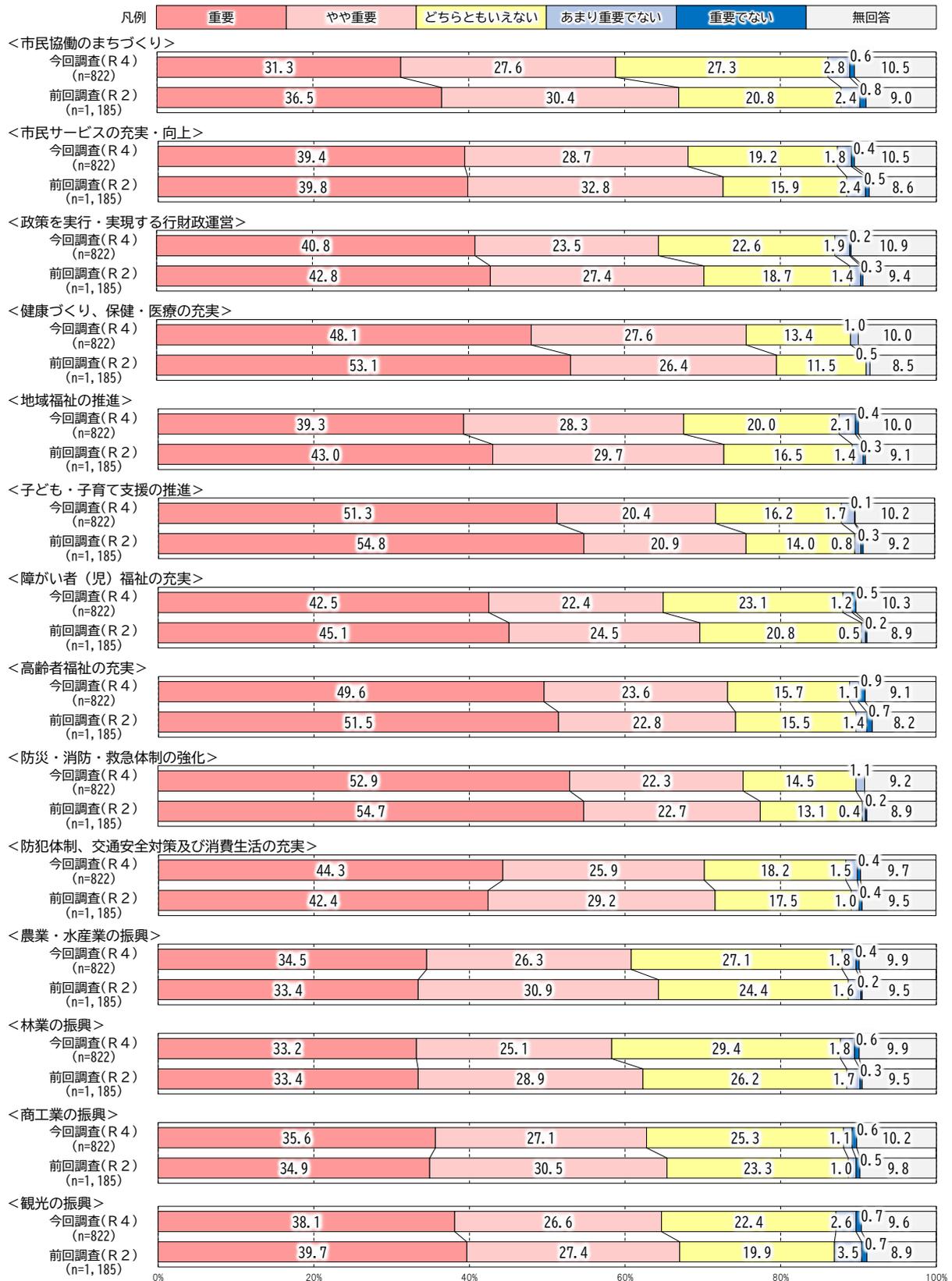


## ■ 「今後の重要度」(全体)

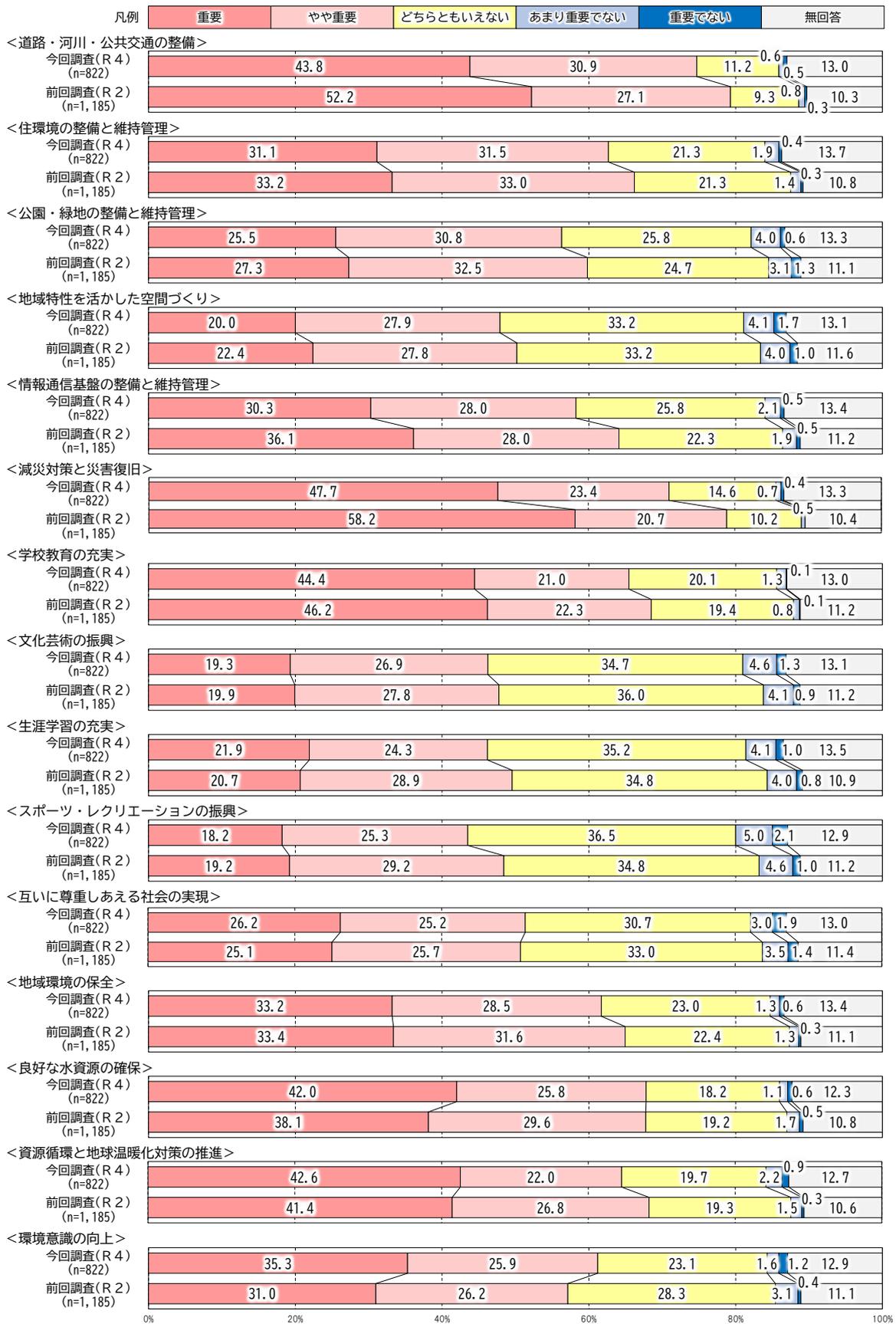
今後の重要度については、重要性を感じている人<sup>※1</sup>の割合は、「健康づくり、保健・医療の充実」が75.7%と最も高く、次いで「防災・消防・救急体制の強化」が75.2%、「道路・河川・公共交通の整備」が74.7%の順となっています。

前回調査と比較すると、重要性を感じている人の割合は、「互いに尊重しあえる社会の実現」「環境意識の向上」のみ増加しており、「環境意識の向上」は4ポイントで増加しています。

※1 「重要」若しくは「やや重要」と回答した人



## 第2章 調査結果「施策評価」

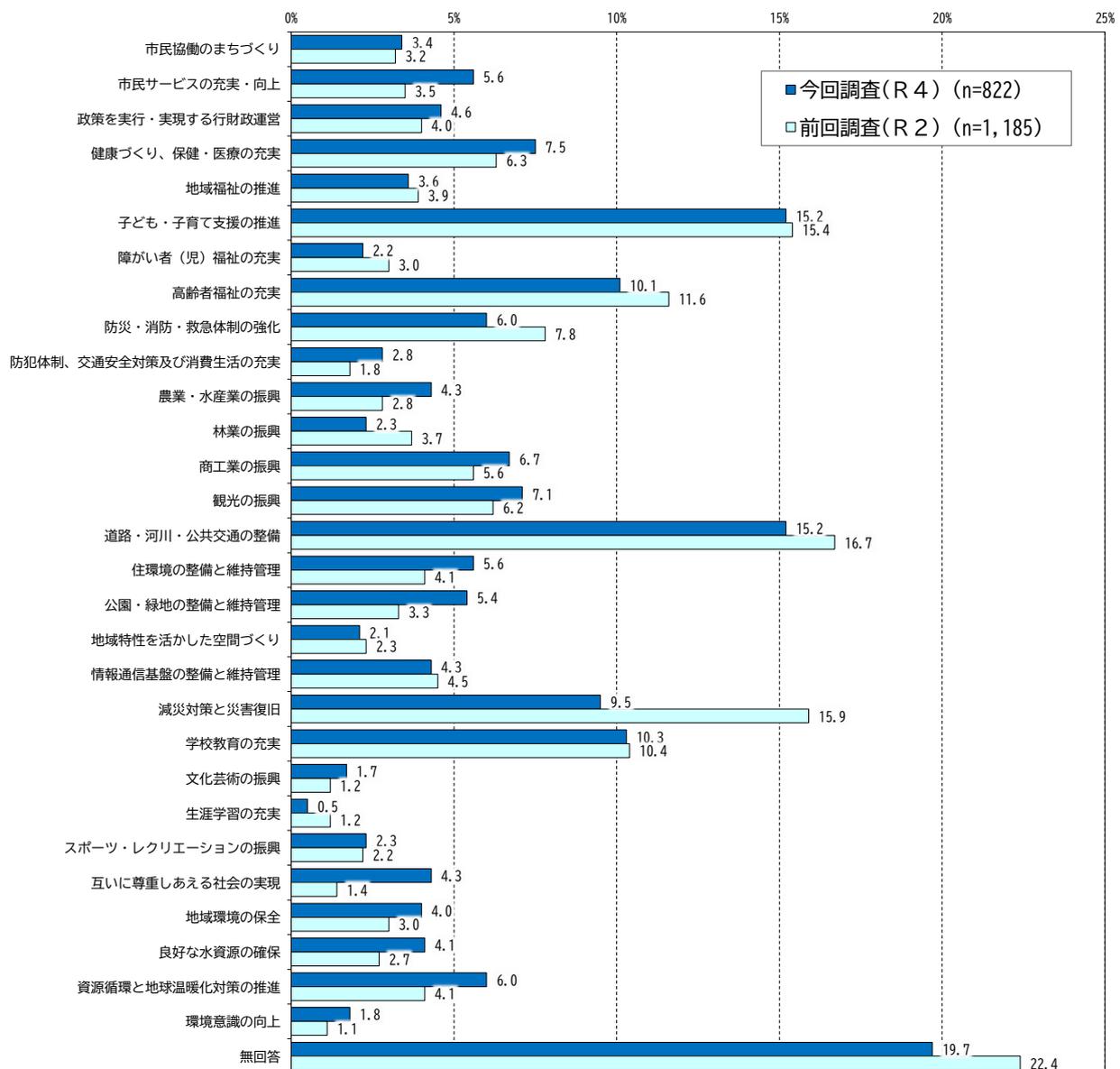


**【問6】問5で、まちづくりの施策ごとに「現在の満足度」と「今後の重要度」をお伺いしました。それらを総合的に判断して、今後の日田市において、特に重点的に進めてほしいと思う施策について番号を記入してください。（問5の①～⑲の中から2つまで）**

今後の日田市において、特に重点的に進めてほしいと思う施策については、「子ども・子育て支援の推進」「道路・河川・公共交通の整備」が15.2%と最も高く、次いで「学校教育の充実」が10.3%、「高齢者福祉の充実」が10.1%の順となっています。

年代別にみると、「20歳未満」では「学校教育の充実」、「20歳代」「30歳代」「40歳代」では「子ども・子育て支援の推進」、「50歳代」「60歳代」では「道路・河川・公共交通の整備」、「70歳以上」では「高齢者福祉の充実」の割合が最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「減災対策と災害復旧」は6.4ポイント減少しています。





**【問7】あなたは、日田市における「自治会やまちづくり団体などによる地域での活動」について、どう思いますか。（○は1つだけ）**

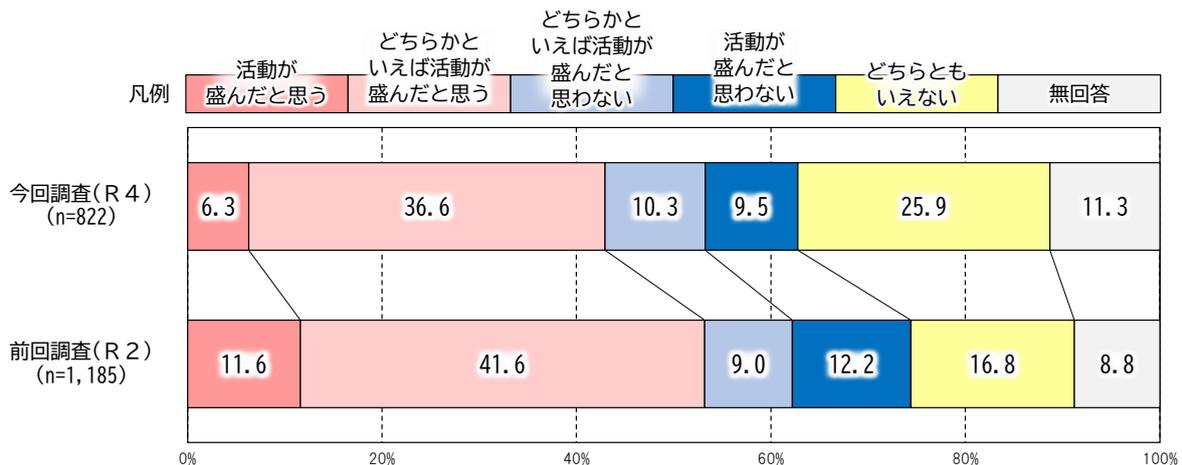
日田市における「自治会やまちづくり団体などによる地域での活動」について、どう思うかについては、活動が盛んだと思う人<sup>※1</sup>が42.9%、活動が盛んだと思わない人<sup>※2</sup>が19.8%となっています。

年代別にみると、「30歳代」は活動が盛んだと思う人の割合が5割以上で最も高くなっています。一方で、「40歳代」は活動が盛んだと思わない人の割合が他の年代に比べて最も高くなっています。

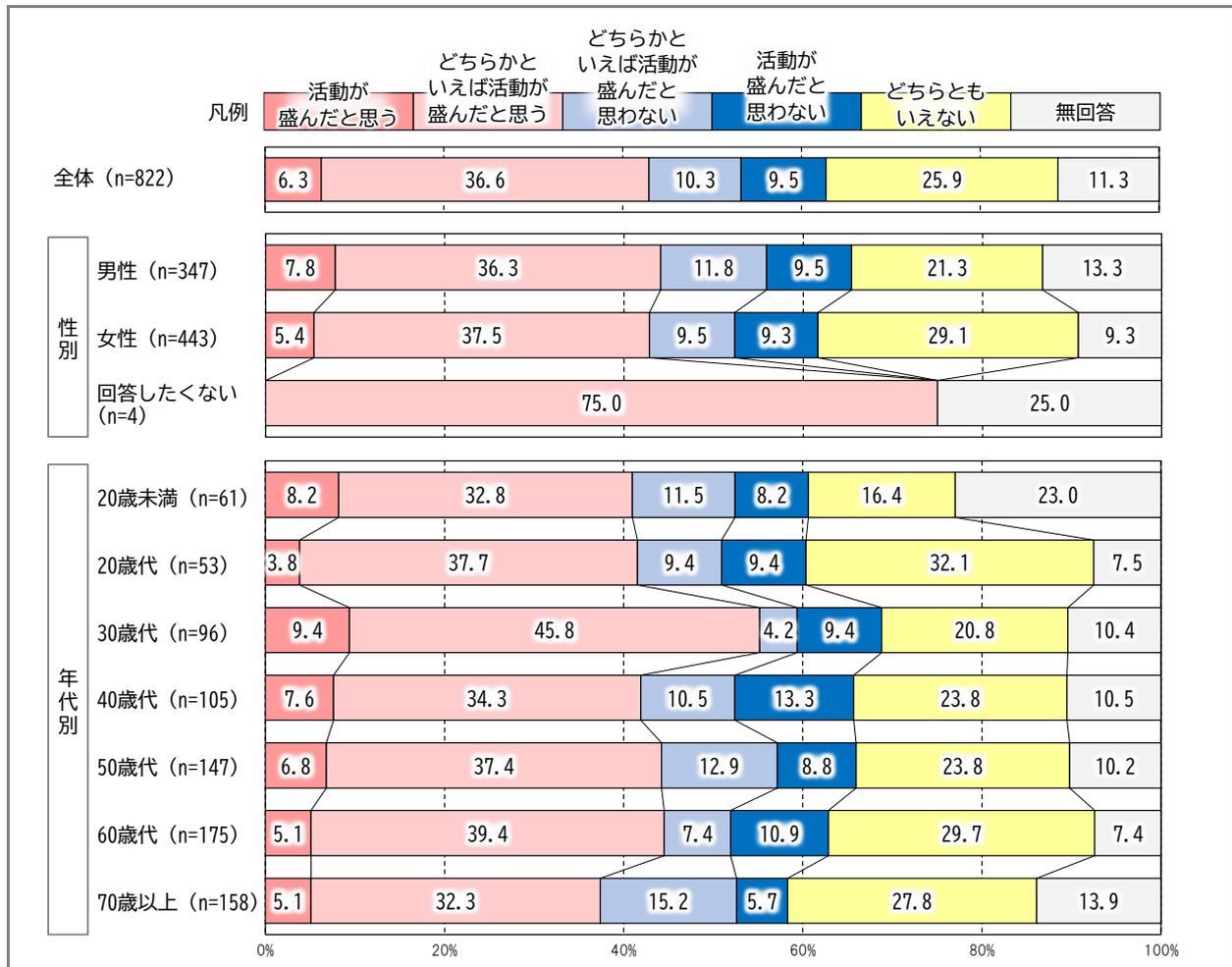
前回調査と比較すると、活動が盛んだと思う人の割合が10.3ポイント減少し、活動が盛んだと思わない人の割合も1.4ポイント減少しました。

※1 「活動が盛んだと思う」若しくは「どちらかといえば活動が盛んだと思う」と回答した人

※2 「活動が盛んだと思わない」若しくは「どちらかといえば活動が盛んだと思わない」と回答した人



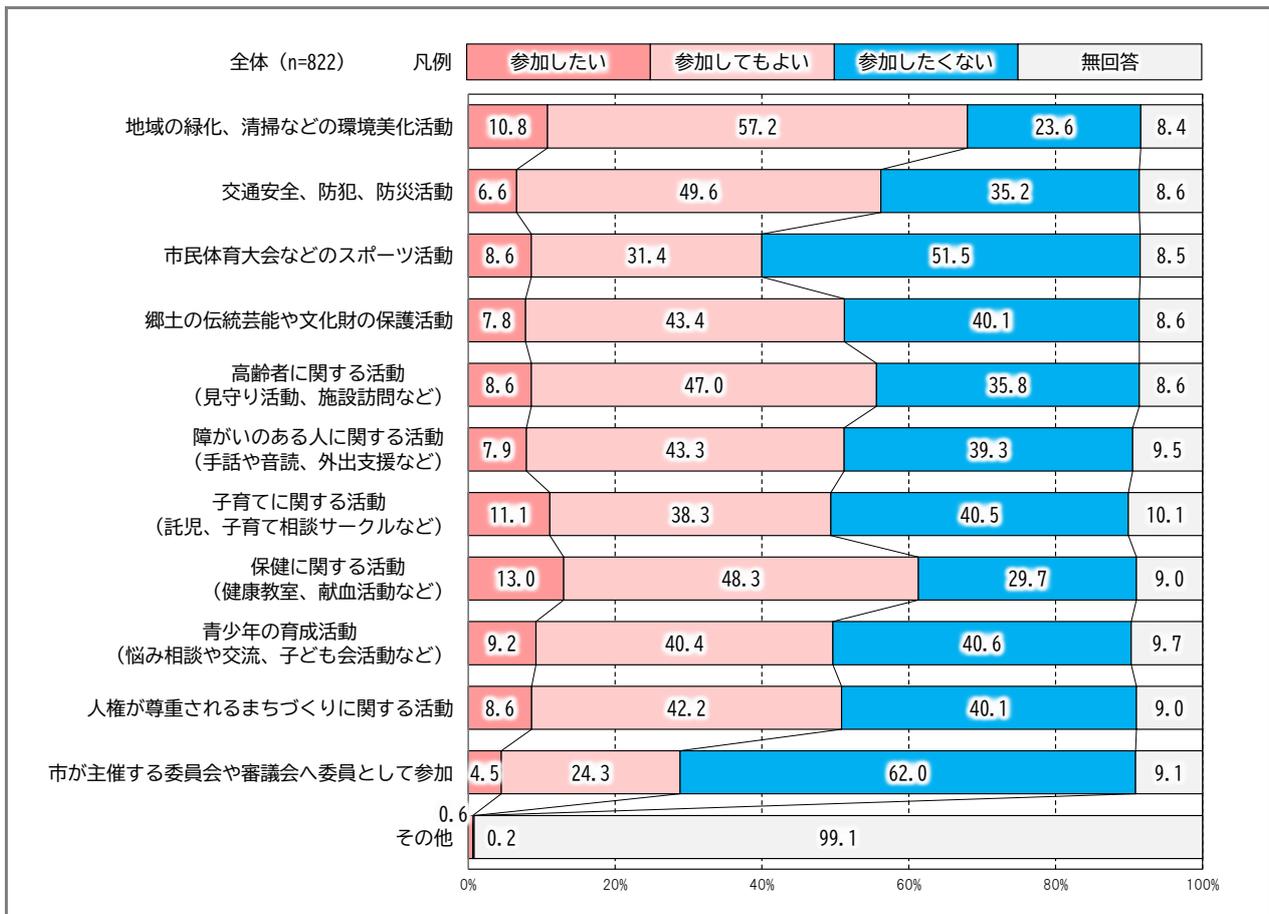
第2章 調査結果「市民協働」



**【問8】あなたはコミュニティ活動やボランティア活動など、今後、参加してみたい活動がありますか。（「今後の参加意向」の項目ごとに〇は1つずつ）**

今後、参加してみたい活動※1としては、「地域の緑化、清掃などの環境美化活動」が68.0%と最も高く、次いで「保健に関する活動（健康教室、献血活動など）」が61.3%、「交通安全、防犯、防災活動」が56.2%となっています。

※1「参加したい」若しくは「参加してもよい」と回答した人

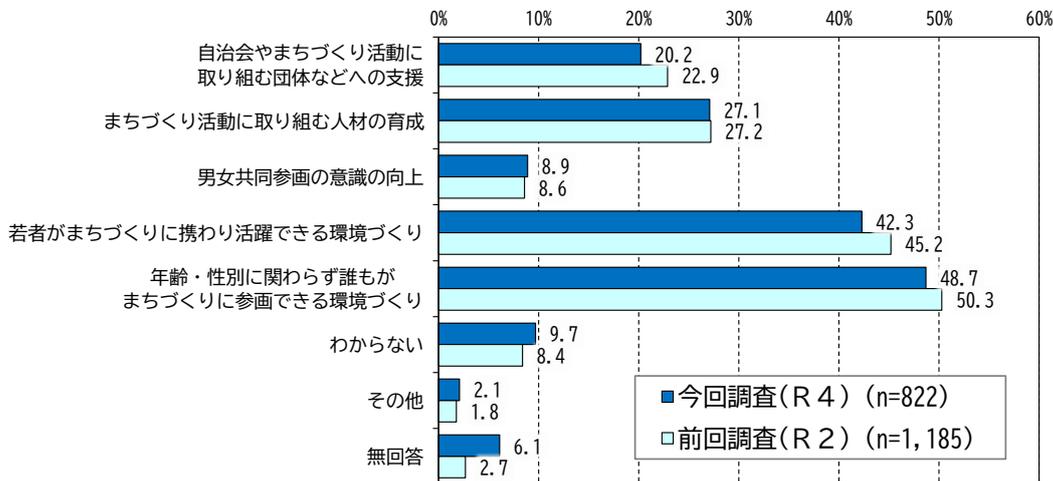


**【問9】市民がまちづくりの「主役」となるためには、どのようなことが特に重要だと思いますか。  
(〇は2つまで)**

市民がまちづくりの「主役」となるために特に重要だと思うこととして、「年齢・性別に関わらず誰もがまちづくりに参画できる環境づくり」が48.7%と最も高く、次いで「若者がまちづくりに携わり活躍できる環境づくり」が42.3%、「まちづくり活動に取り組む人材の育成」が27.1%の順となっています。

年代別にみると、「20歳未満」「20歳代」を除いた全ての年代で「年齢・性別に関わらず誰もがまちづくりに参画できる環境づくり」と回答した割合が最も高くなっており、「20歳未満」「20歳代」は「若者がまちづくりに携わり活躍できる環境づくり」と回答した割合が最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「若者がまちづくりに携わり活躍できる環境づくり」は2.9ポイント減少しています。



単位： 上段=人 下段=%	サンプル数	な活自 ど動自 へに会 の取や 支援組 むづく 団く 体り	りま 組む づく り人 材の 活動 育成 に取	の男 女上 共同 参画 の意 識	境携 若わ 者 が 活 躍 で き る 環 境 に	く に 参 画 も が 性 別 に 関 連 し た 環 境 に 関 わ り づ ら	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全体	822	166 20.2	223 27.1	73 8.9	348 42.3	400 48.7	80 9.7	17 2.1	50 6.1
性別	男性	91 26.2	87 25.1	32 9.2	150 43.2	153 44.1	31 8.9	11 3.2	22 6.3
	女性	71 16.0	130 29.3	38 8.6	185 41.8	232 52.4	47 10.6	6 1.4	22 5.0
	回答したくない	2 50.0	-	-	3 75.0	1 25.0	-	-	-
		4							
年代別	20歳未満	8 13.1	10 16.4	7 11.5	33 54.1	22 36.1	12 19.7	1 1.6	2 3.3
	20歳代	9 17.0	9 17.0	7 13.2	26 49.1	22 41.5	6 11.3	2 3.8	4 7.5
	30歳代	12 12.5	23 24.0	11 11.5	42 43.8	52 54.2	13 13.5	1 1.0	2 2.1
	40歳代	24 22.9	26 24.8	8 7.6	51 48.6	59 56.2	6 5.7	1 1.0	4 3.8
	50歳代	28 19.0	41 27.9	12 8.2	57 38.8	83 56.5	12 8.2	6 4.1	6 4.1
	60歳代	37 21.1	63 36.0	11 6.3	64 36.6	80 45.7	17 9.7	5 2.9	12 6.9
	70歳以上	46 29.1	45 28.5	14 8.9	65 41.1	68 43.0	12 7.6	1 0.6	15 9.5

**【問 10】 あなたは、日田市の市政について関心がありますか。（○は1つだけ）**

日田市の市政への関心については、関心がある人<sup>※1</sup>が56.0%、関心がない人<sup>※2</sup>が38.9%となっています。

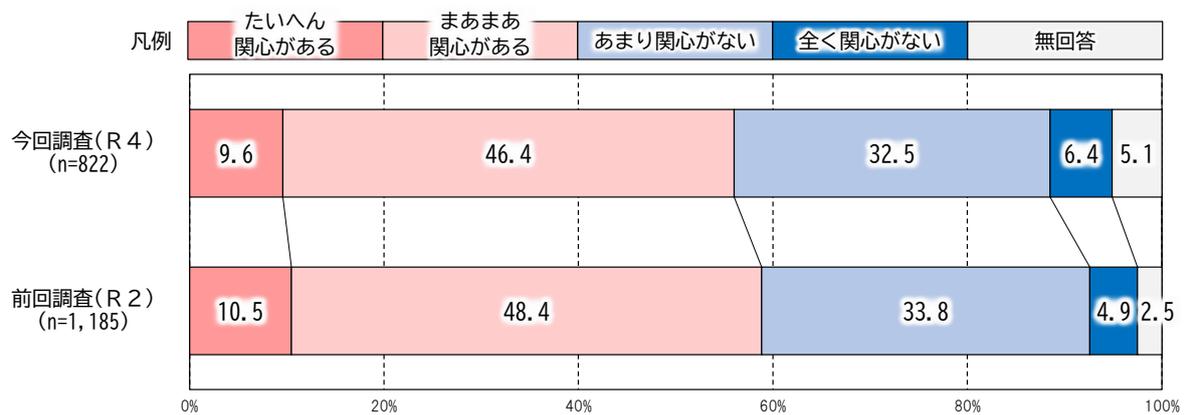
性別にみると、関心がある人は、「男性」が57.6%、「女性」の55.5%と「男性」の方が比2.1ポイント高くなっています。

年代別にみると、「20歳代」以上は、年代が高くなるにつれて関心がある人の割合が高くなっています。

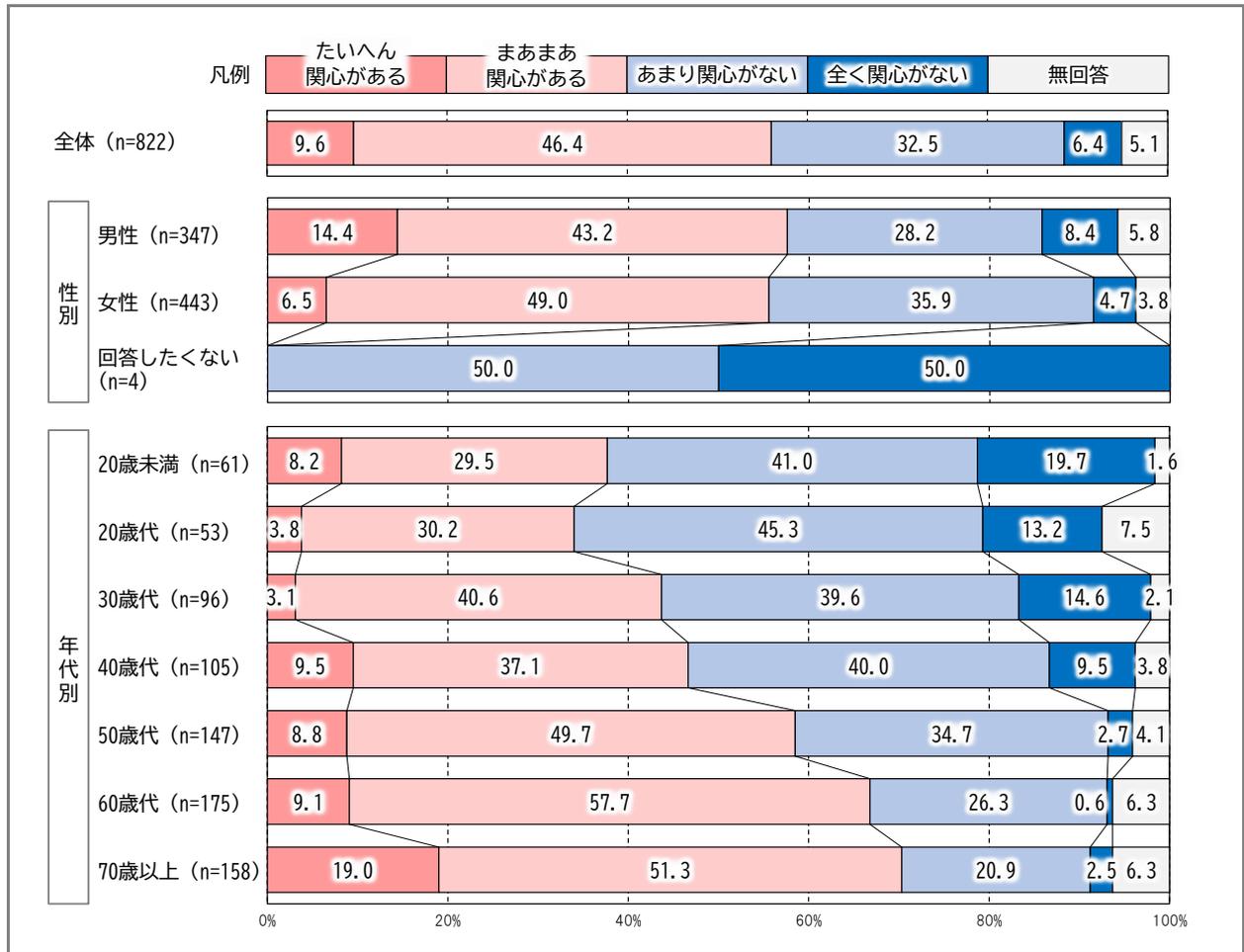
前回調査と比較すると、関心がある人の割合が2.9ポイント減少しています。

※1 「たいへん関心がある」若しくは「まあまあ関心がある」と回答した人

※2 「全く関心がない」若しくは「あまり関心がない」と回答した人



第2章 調査結果「市民協働」



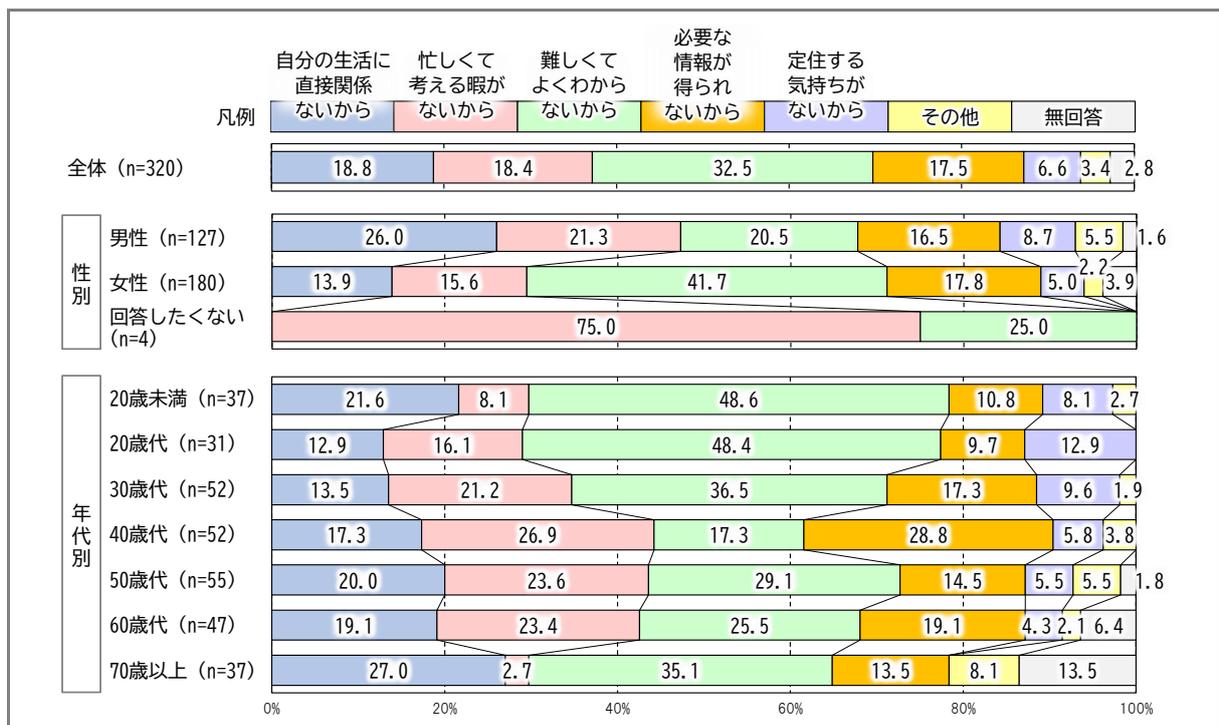
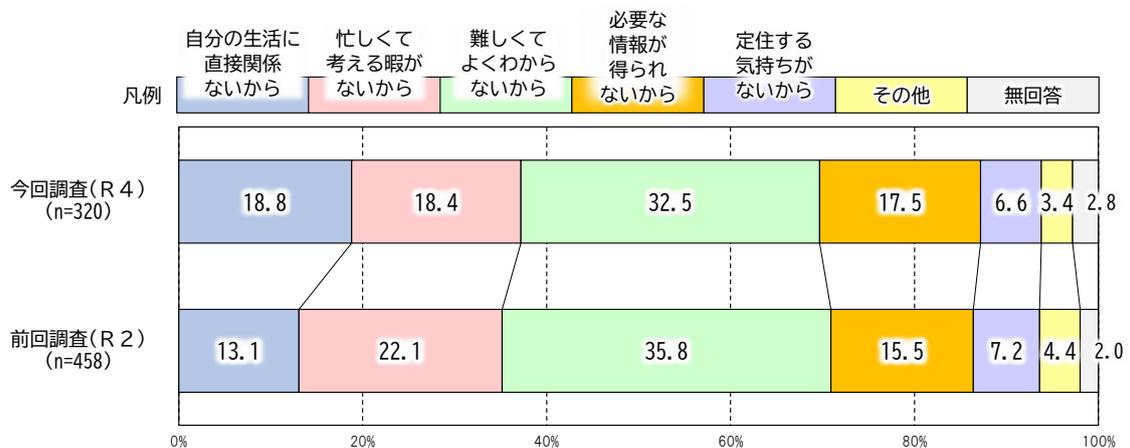
◆問 10 で市政に関心がないと回答された方にお伺いします。  
【問 10-1】 その理由は何ですか。（○は1つだけ）

市政に関心がない理由として、「難しくてよくわからないから」が32.5%と最も高く、次いで「自分の生活に直接関係ないから」が18.8%、「忙しくて考える暇がないから」が18.4%の順となっています。

性別にみると、「自分の生活に直接関係ないから」「忙しくて考える暇がないから」と回答した割合は「男性」の方が高く、「難しくてよくわからないから」「必要な情報が得られないから」は女性の方が高くなっています。

年代別にみると、「40歳代」を除いた全ての年代では「難しくてよくわからないから」と回答した割合が最も高く、「40歳代」は「必要な情報が得られないから」と回答した割合が最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「自分の生活に直接関係ないから」は5.7ポイント増加しています。



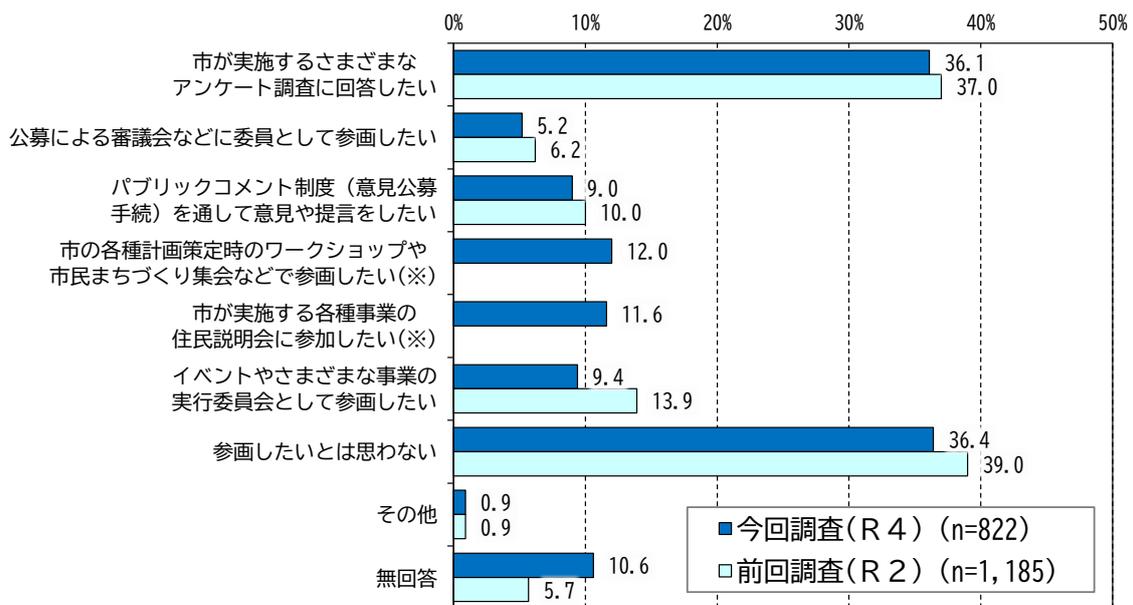
**【問 11】あなたが、市政に参画する機会があった場合、どれに参画したいと思いますか。**  
**(○は3つまで)**

市政に参画する機会があった場合、どれに参画したいと思うかについては、「参画したいとは思わない」が36.4%と最も高く、次いで「市が実施するさまざまなアンケート調査に回答したい」が36.1%、「市の各種計画策定時のワークショップや市民まちづくり集会などで参画したい」が12.0%の順となっています。

性別にみると、「参画したいとは思わない」と回答した割合は「男性」34.3%に比べて「女性」38.8%の方が割合は高くなっています。

年代別にみると、「参画したいとは思わない」と回答した割合が「30歳代」「60歳代」を除いた全ての年代で最も高く、「30歳代」「60歳代」でも2位となっています。

前回調査と比較すると、「市が実施するさまざまなアンケート調査に回答したい」は0.9ポイント、「参画したいとは思わない」は2.6ポイント減少しています。



(※)「市の各種計画策定時のワークショップや市民まちづくり集会などで参画したい」及び「市が実施する各種事業の住民説明会に参加したい」は今回調査(R4)で追加した選択肢

単位： 上段=人 下段=%		サンプル数	市が実施するさまざまなアンケート調査に回答したい	公募による審議会などに委員として参画したい	パブリックコメント（意見や提言を通したい）	市の各種計画策定のワークショップや市民まちづくり集会などで参画したい	市が実施する各種事業の住民説明会に参加したい	イベントやさまざまな事業の実行委員会として参画したい	参画したいとは思わない	その他	無回答
全体		822	297 36.1	43 5.2	74 9.0	99 12.0	95 11.6	77 9.4	299 36.4	7 0.9	87 10.6
性別	男性	347	127 36.6	24 6.9	39 11.2	43 12.4	57 16.4	40 11.5	119 34.3	3 0.9	36 10.4
	女性	443	158 35.7	16 3.6	33 7.4	54 12.2	35 7.9	35 7.9	172 38.8	4 0.9	43 9.7
	回答したくない	4	- -	- -	- -	1 25.0	- -	- -	3 75.0	- -	- -
年代別	20歳未満	61	21 34.4	- -	2 3.3	11 18.0	2 3.3	15 24.6	24 39.3	- -	3 4.9
	20歳代	53	21 39.6	- -	5 9.4	8 15.1	3 5.7	7 13.2	22 41.5	- -	4 7.5
	30歳代	96	37 38.5	7 7.3	14 14.6	13 13.5	8 8.3	13 13.5	35 36.5	1 1.0	2 2.1
	40歳代	105	40 38.1	9 8.6	10 9.5	10 9.5	9 8.6	7 6.7	43 41.0	1 1.0	6 5.7
	50歳代	147	49 33.3	9 6.1	19 12.9	25 17.0	21 14.3	16 10.9	55 37.4	2 1.4	13 8.8
	60歳代	175	65 37.1	7 4.0	15 8.6	18 10.3	26 14.9	12 6.9	61 34.9	2 1.1	21 12.0
	70歳以上	158	52 32.9	8 5.1	7 4.4	13 8.2	23 14.6	5 3.2	54 34.2	1 0.6	31 19.6

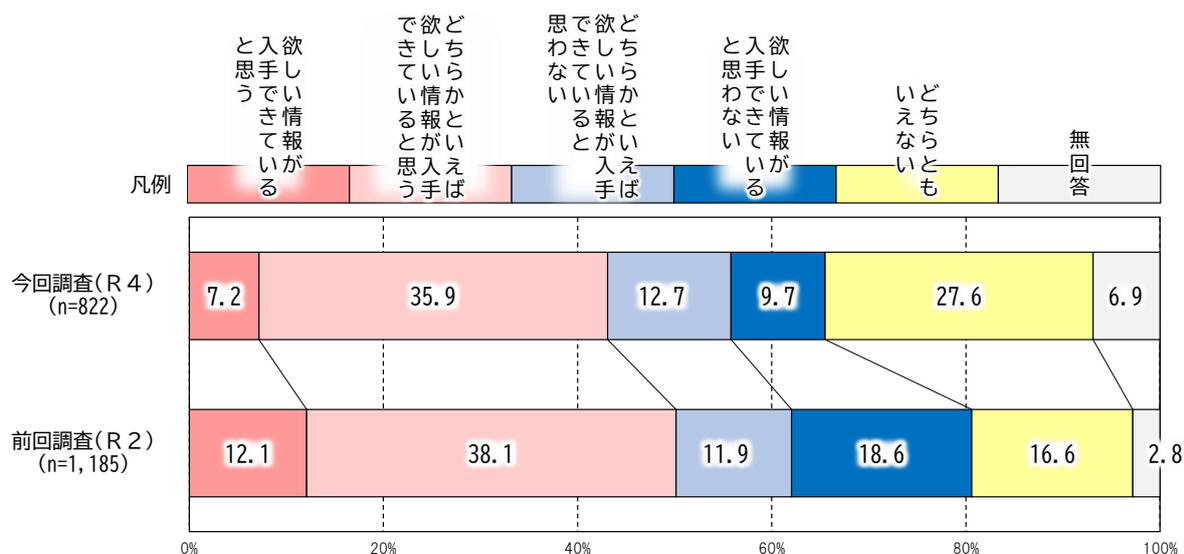
**【問 12】 あなたは、最新の市政情報（市が提供する情報）の入手について、どう思いますか。**  
 （○は1つだけ）

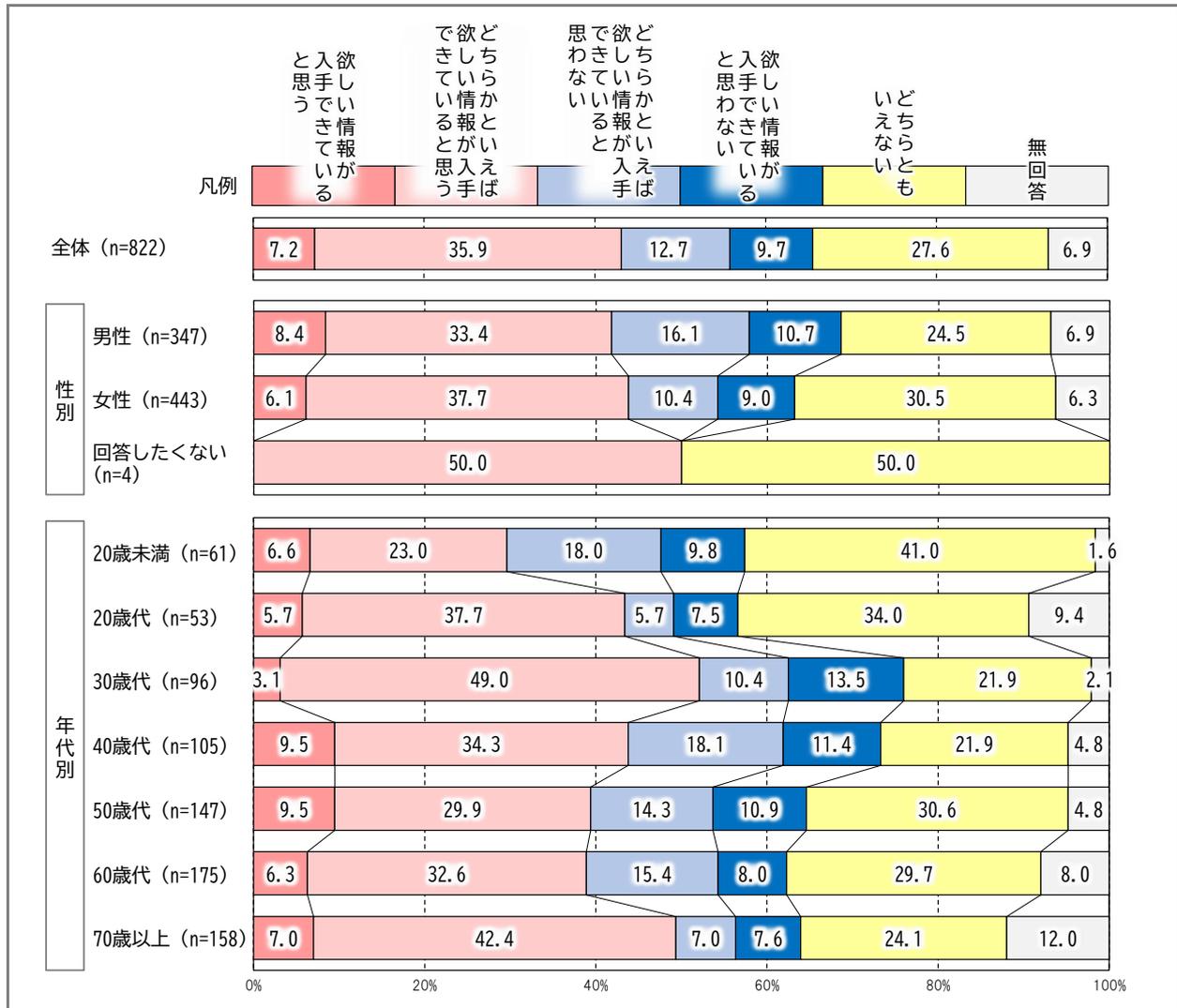
最新の市政情報（市が提供する情報）の入手について、どう思うかについては、欲しい情報が入手できていると思う人※1が43.1%、欲しい情報が入手できていると思わない人※2が22.4%となっています。

年代別にみると、全ての年代で欲しい情報が入手できていると思う人の割合が高く、特に「30歳代」では5割を超えており、他の年代に比べて最も高くなっています。

前回調査と比較すると、欲しい情報が入手できていると思う人の割合が7.1ポイント減少しています。

- ※1 「欲しい情報が入手できていると思う」若しくは「どちらかといえば欲しい情報が入手できていると思う」と回答した人
- ※2 「欲しい情報が入手できていると思わない」若しくは「どちらかといえば欲しい情報が入手できていると思わない」と回答した人



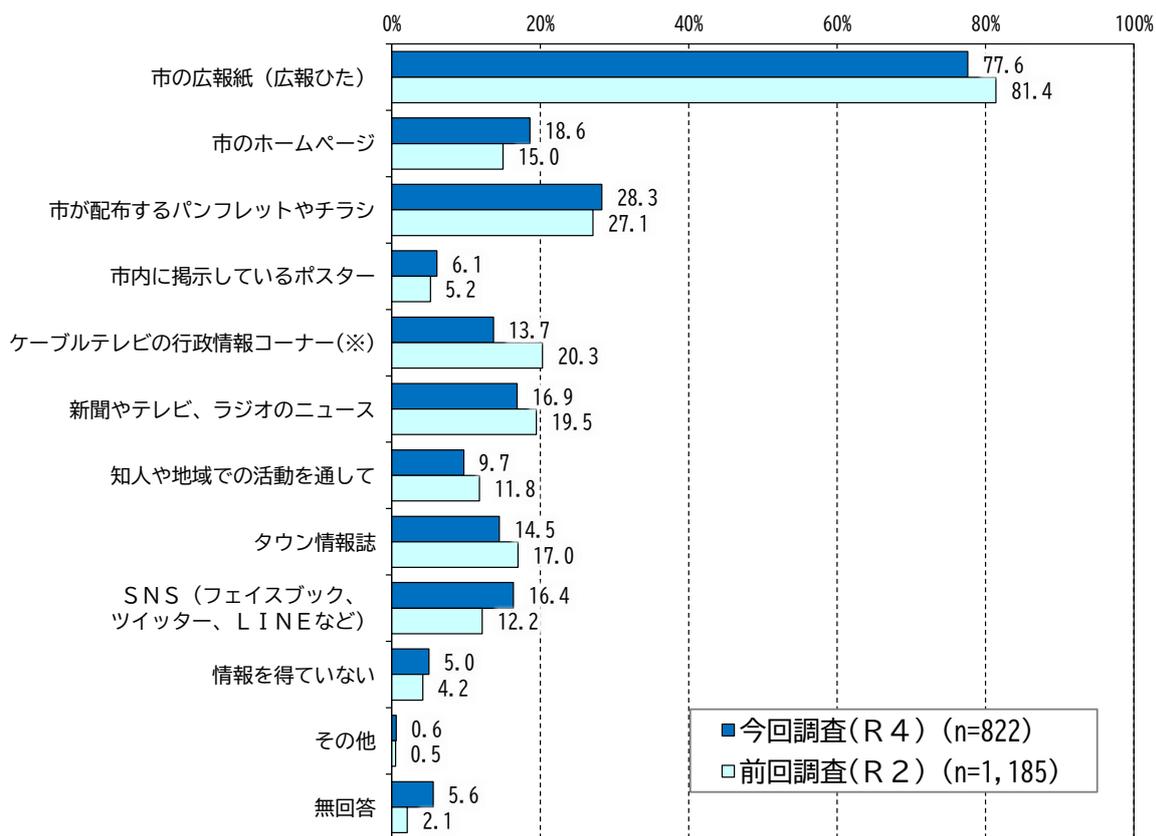


**【問 13】あなたは、市政情報（市が提供する情報）を主に何から得ていますか。（○は3つまで）**

市政情報（市が提供する情報）を主に何から得ているかについては、「市の広報紙（広報ひた）」が77.6%と最も高く、次いで「市が配布するパンフレットやチラシ」が28.3%、「市のホームページ」が18.6%の順となっています。

年代別にみると、全ての年代で「市の広報紙（広報ひた）」の割合が最も高くなっているものの、「20歳未満」では、他の年代が7～8割であるのに対しやや低く、4割弱にとどまっています。また、「市の広報紙（広報ひた）」に次いで高い項目は、「20歳未満」から「40歳代」までは「SNS（フェイスブック、ツイッター、LINEなど）」、「50歳代」では「市のホームページ」、「60歳代」と「70歳以上」では「市が配布するパンフレットやチラシ」となっています。

前回調査と比較すると、「市のホームページ」と「SNS（フェイスブック、ツイッター、LINEなど）」で3ポイント以上増加しています。



(※)「ケーブルテレビの行政情報コーナー」は、前回調査(R2)の「日田市ケーブルテレビの広報番組」と比較を行っている

単位： 上段=人 下段=%		サンプル数	市の広報紙（広報ひた）	市のホームページ	市が配布するパンフレットやチラシ	市内に掲示しているポスター	ケーブルテレビの行政情報コーナー	新聞やテレビ、ラジオのニュース	知人や地域での活動を通して	タウン情報誌	SNS（フェイスブック、ツイッター、LINEなど）	情報を得ていない	その他	無回答
全体		822	638 77.6	153 18.6	233 28.3	50 6.1	113 13.7	139 16.9	80 9.7	119 14.5	135 16.4	41 5.0	5 0.6	46 5.6
性別	男性	347	263 75.8	70 20.2	101 29.1	16 4.6	50 14.4	57 16.4	32 9.2	45 13.0	51 14.7	22 6.3	3 0.9	21 6.1
	女性	443	355 80.1	77 17.4	128 28.9	32 7.2	58 13.1	78 17.6	47 10.6	68 15.3	80 18.1	18 4.1	2 0.5	19 4.3
	回答したくない	4	2 50.0	1 25.0	-	1 25.0	2 50.0	-	-	1 25.0	-	1 25.0	-	-
年代別	20歳未満	61	22 36.1	7 11.5	9 14.8	14 23.0	3 4.9	9 14.8	6 9.8	4 6.6	19 31.1	16 26.2	-	2 3.3
	20歳代	53	31 58.5	9 17.0	14 26.4	5 9.4	7 13.2	3 5.7	7 13.2	3 5.7	14 26.4	6 11.3	1 1.9	4 7.5
	30歳代	96	77 80.2	20 20.8	20 20.8	5 5.2	10 10.4	5 5.2	6 6.3	8 8.3	24 25.0	9 9.4	2 2.1	3 3.1
	40歳代	105	80 76.2	27 25.7	19 18.1	5 4.8	11 10.5	12 11.4	10 9.5	14 13.3	29 27.6	4 3.8	-	5 4.8
	50歳代	147	125 85.0	42 28.6	40 27.2	6 4.1	24 16.3	18 12.2	16 10.9	25 17.0	29 19.7	2 1.4	1 0.7	6 4.1
	60歳代	175	149 85.1	29 16.6	59 33.7	11 6.3	27 15.4	41 23.4	16 9.1	39 22.3	11 6.3	2 1.1	-	11 6.3
	70歳以上	158	136 86.1	14 8.9	68 43.0	3 1.9	28 17.7	47 29.7	18 11.4	21 13.3	5 3.2	2 1.3	1 0.6	10 6.3

**【問 14】あなたは、くらしの中で、男性女性の平等について、どう感じますか。（○は1つだけ）**

くらしの中で、男性女性の平等について、どう感じるかについては、平等だと感じる人<sup>※1</sup>が42.9%、不平等だと感じる人<sup>※2</sup>が33.3%となっています。

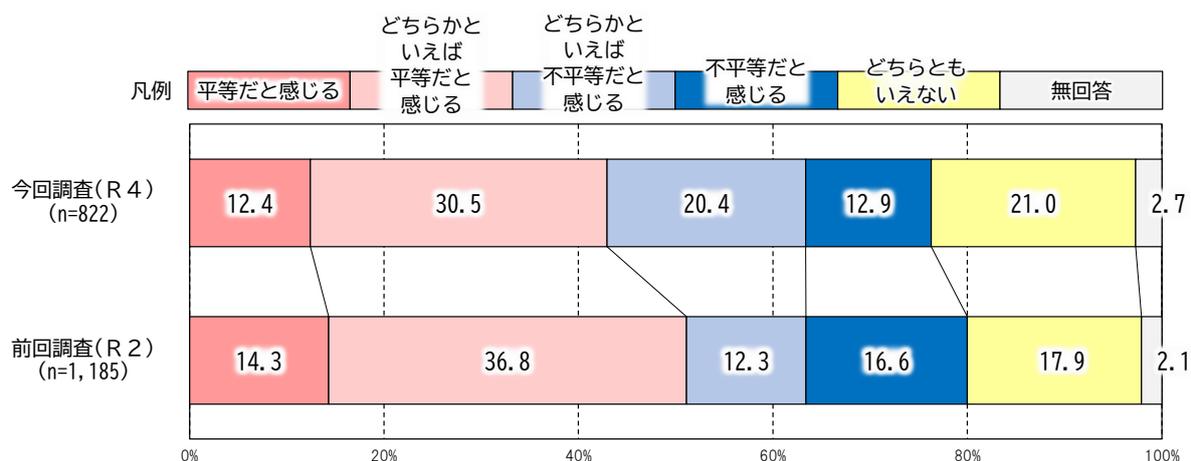
性別にみると、平等だと感じる人は、「男性」49.9%、「女性」37.7%と男性が12.2ポイント上回っています。

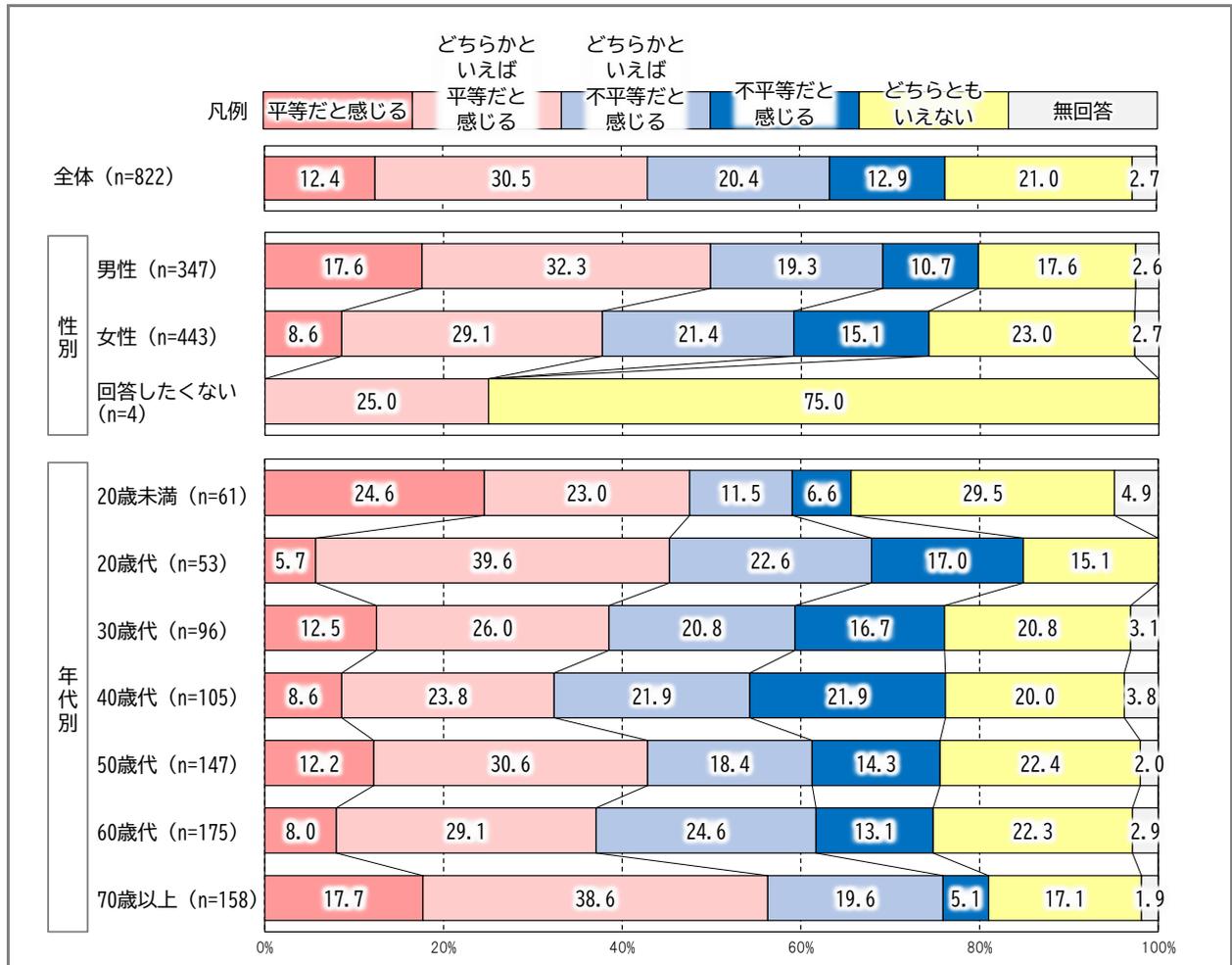
年代別にみると、「70歳以上」のみ平等だと感じる人の割合が5割を上回り、他の年代より高くなっています。「30歳代」「40歳代」「60歳代」では、平等だと感じる人の割合が他の年代に比べ低くなっており、4割を下回っています。

前回調査と比較すると、平等だと感じる人の割合が8.2ポイント減少しています。

※1 「平等だと感じる」若しくは「どちらかといえば平等だと感じる」と回答した人

※2 「不平等だと感じる」若しくは「どちらかといえば不平等だと感じる」と回答した人





**【問 15】あなたは、市役所（振興局、振興センター含む）の窓口サービス（手続の手順など）について、どう思いますか。（○は1つだけ）**

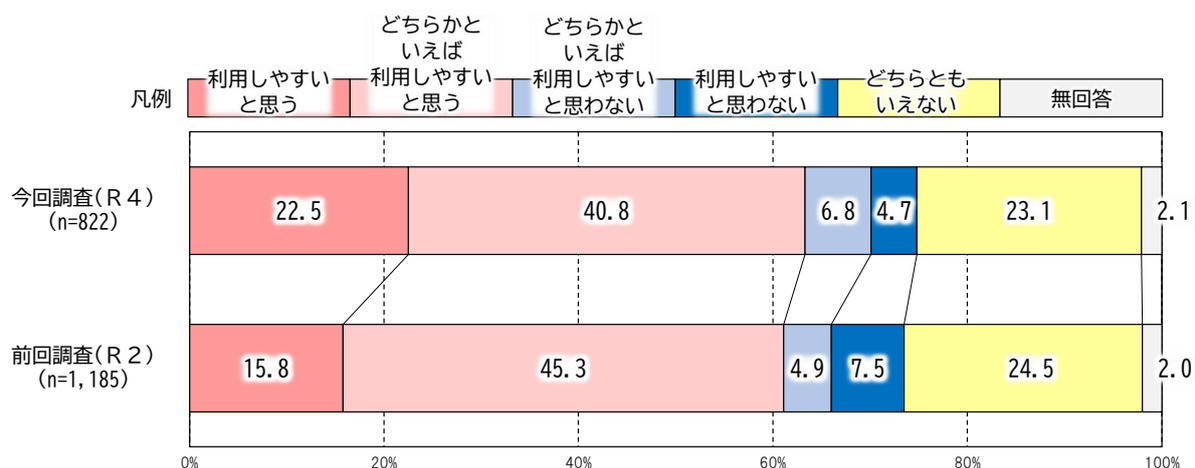
市役所（振興局、振興センター含む）の窓口サービス（手続の手順など）について、どう思うかについては、利用しやすいと思う人<sup>※1</sup>が63.3%、利用しやすいと思わない人<sup>※2</sup>が11.5%となっています。

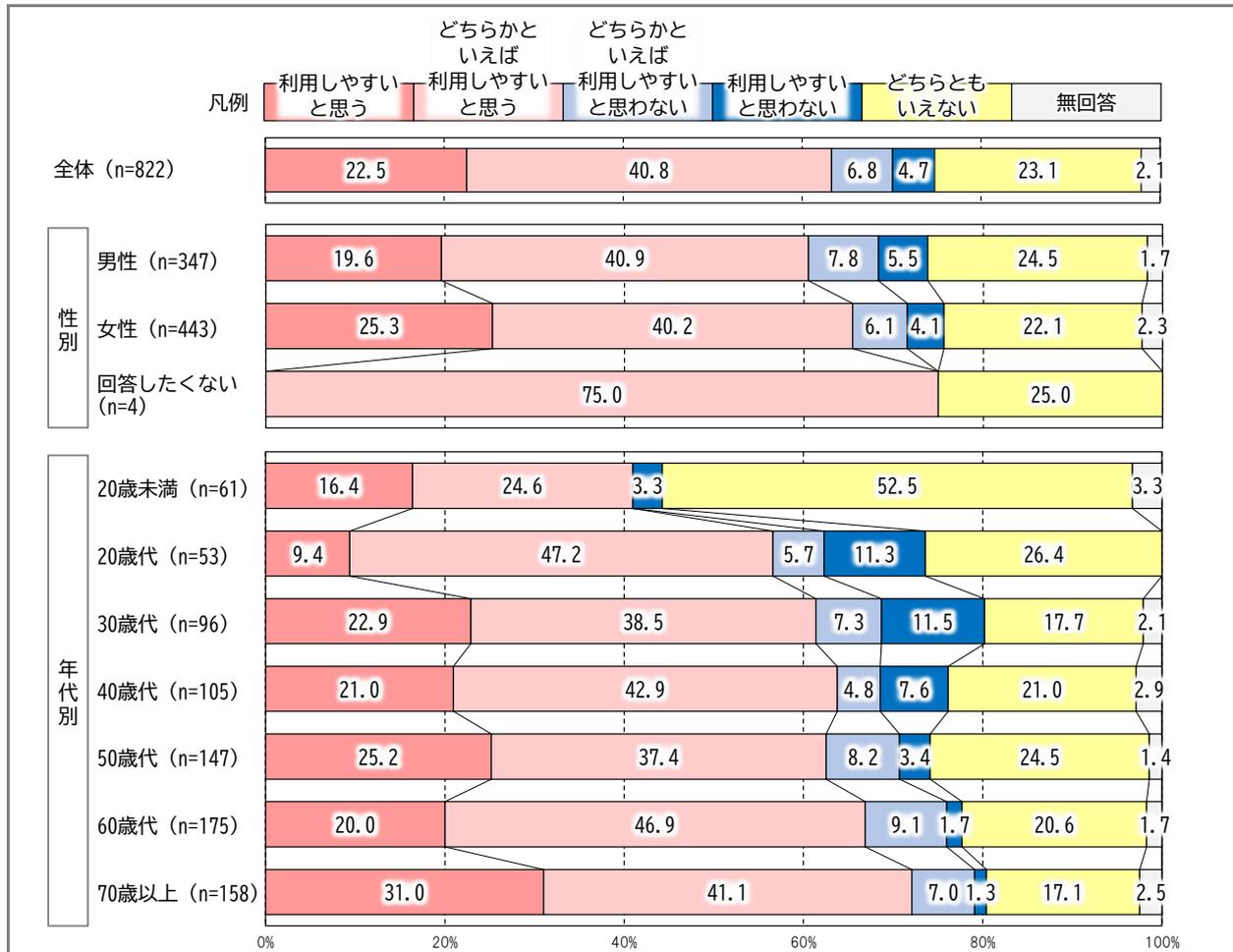
年代別にみると、「20歳未満」「20歳代」を除いた全ての年代で、利用しやすいと思う人の割合が高く、6割を上回っています。「20歳代」「30歳代」では、利用しやすいと思わない人の割合が他の年代よりもやや高く約1割を占めています。

前回調査と比較すると、利用しやすいと思う人の割合が2.2ポイント増加しています。

※1 「利用しやすいと思う」若しくは「どちらかといえば利用しやすいと思う」と回答した人

※2 「利用しやすいと思わない」若しくは「どちらかといえば利用しやすいと思わない」と回答した人





■ 利用しやすいと思わない主な理由

内容	
・ 対応等、職員に対する不満	31件
・ 手続きに時間がかかることに対する不満	11件
・ 窓口の開設時間に対する不満	8件
・ 手続きの煩雑さに対する不満	6件
・ たらい回しにされる、ワンストップでできない	5件
・ 窓口がわかりづらい	3件
・ 行きづらい、場所が悪い	3件
・ 職員が多すぎる	3件

**【問 16】 あなたは、日田市における「市民一人ひとりの健康づくりへの意識」について、どう  
思いますか。（○は1つだけ）**

日田市における「市民一人ひとりの健康づくりへの意識」について、どう思うかについては、意識が高いと思う人<sup>※1</sup>が32.9%、意識が高いと思わない人<sup>※2</sup>が27.4%となっています。

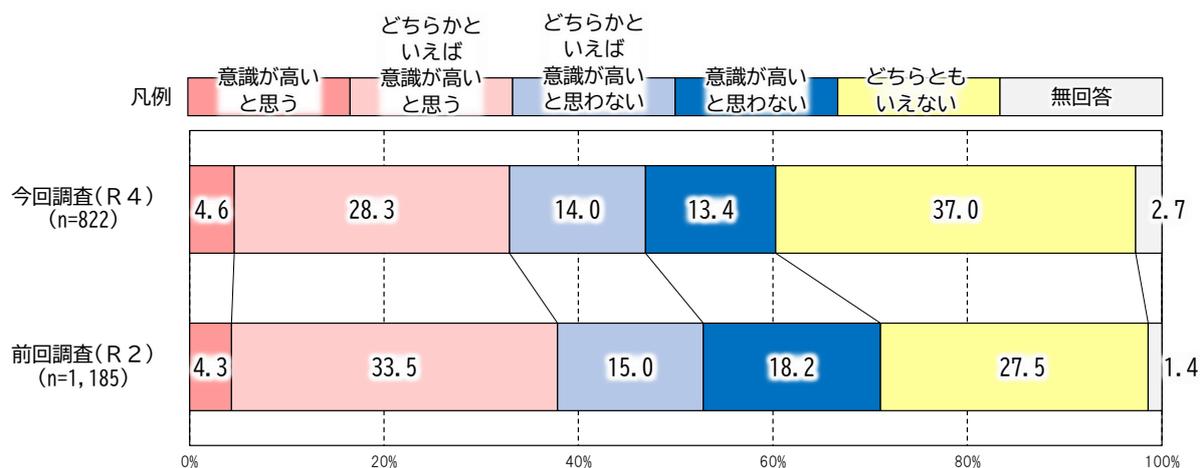
性別にみると、意識が高いと思う人は、「男性」33.4%、「女性」32.7%と男女差はほとんど見られませんでした。

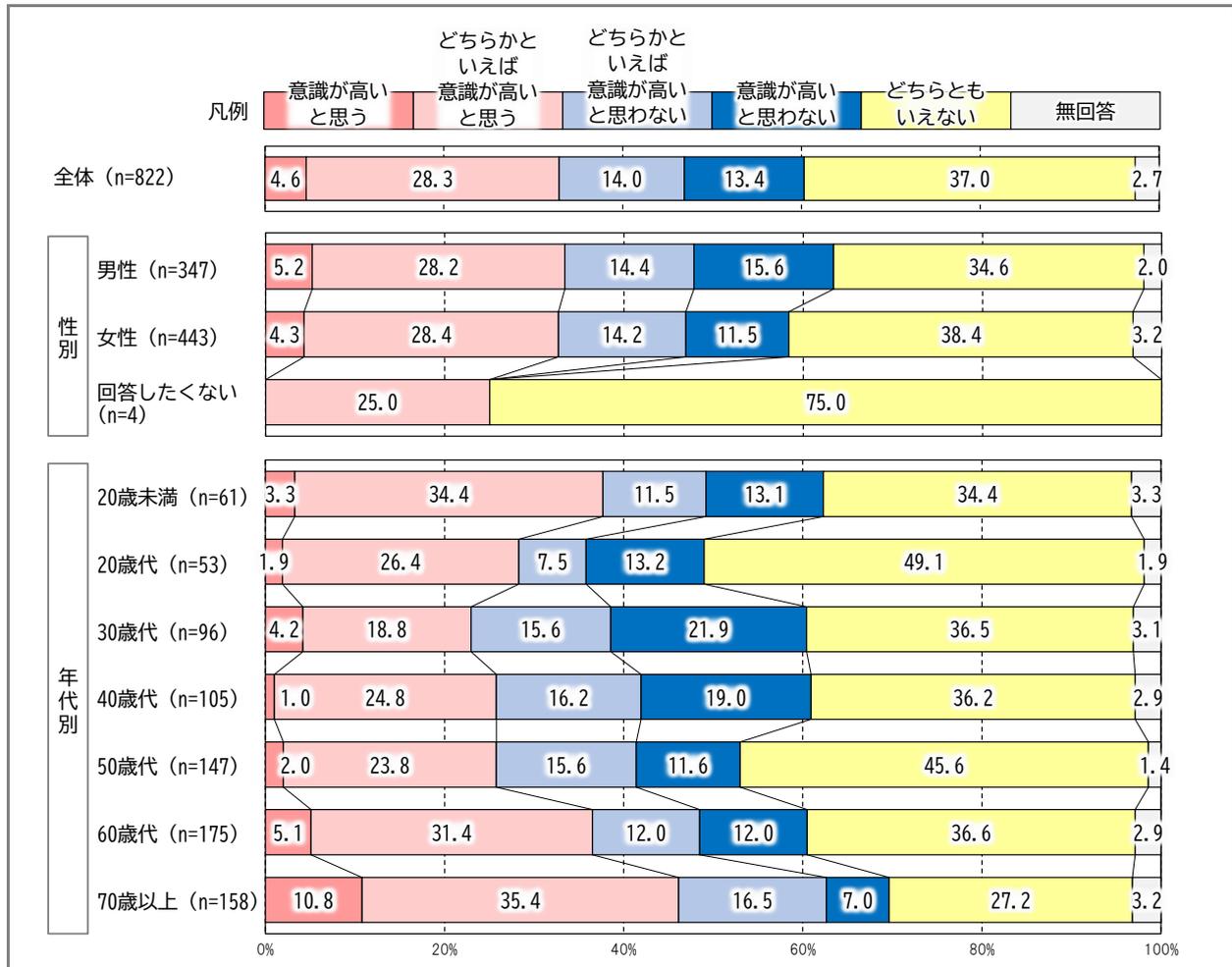
年代別にみると、「70歳以上」は、意識が高いと思う人の割合が他の年代より高く、4割を超えています。「30歳代」「40歳代」では、意識が高いと思わない人の割合が、意識が高いと思う人の割合よりも高く、3割を超えています。

前回調査と比較すると、意識が高いと思う人の割合が4.9ポイント減少しています。

※1 「意識が高いと思う」若しくは「どちらかといえば意識が高いと思う」と回答した人

※2 「意識が高いと思わない」若しくは「どちらかといえば意識が高いと思わない」と回答した人





**【問 17】 あなたは、日田市における「安心して医療が受けられる体制」について、どう思いますか。（○は1つだけ）**

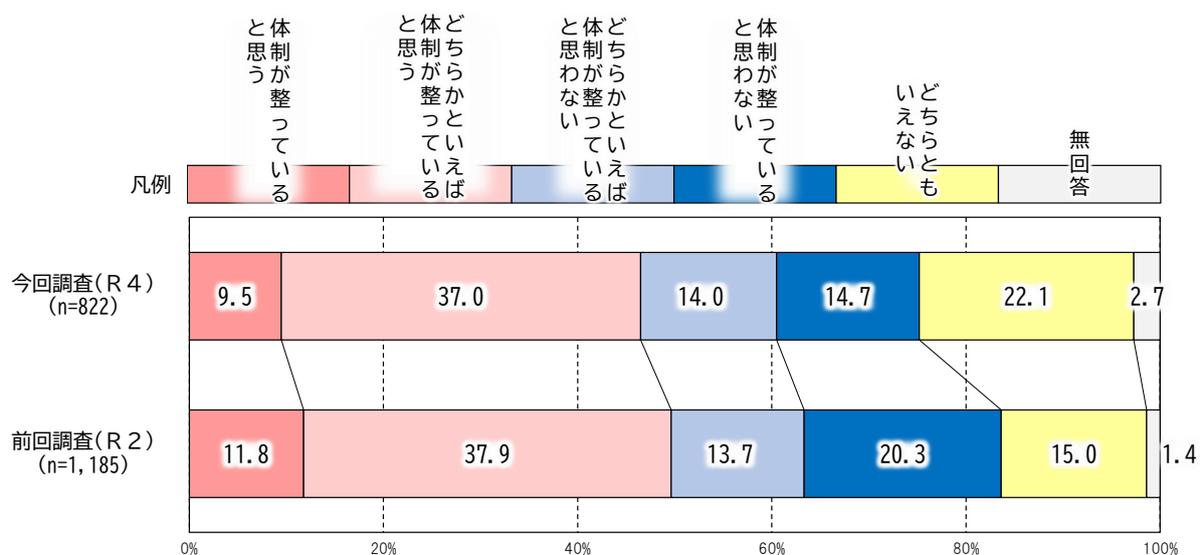
日田市における「安心して医療が受けられる体制」について、どう思うかについては、体制が整っていると思う人※1が46.5%、体制が整っていないと思う人※2が28.7%となっています。

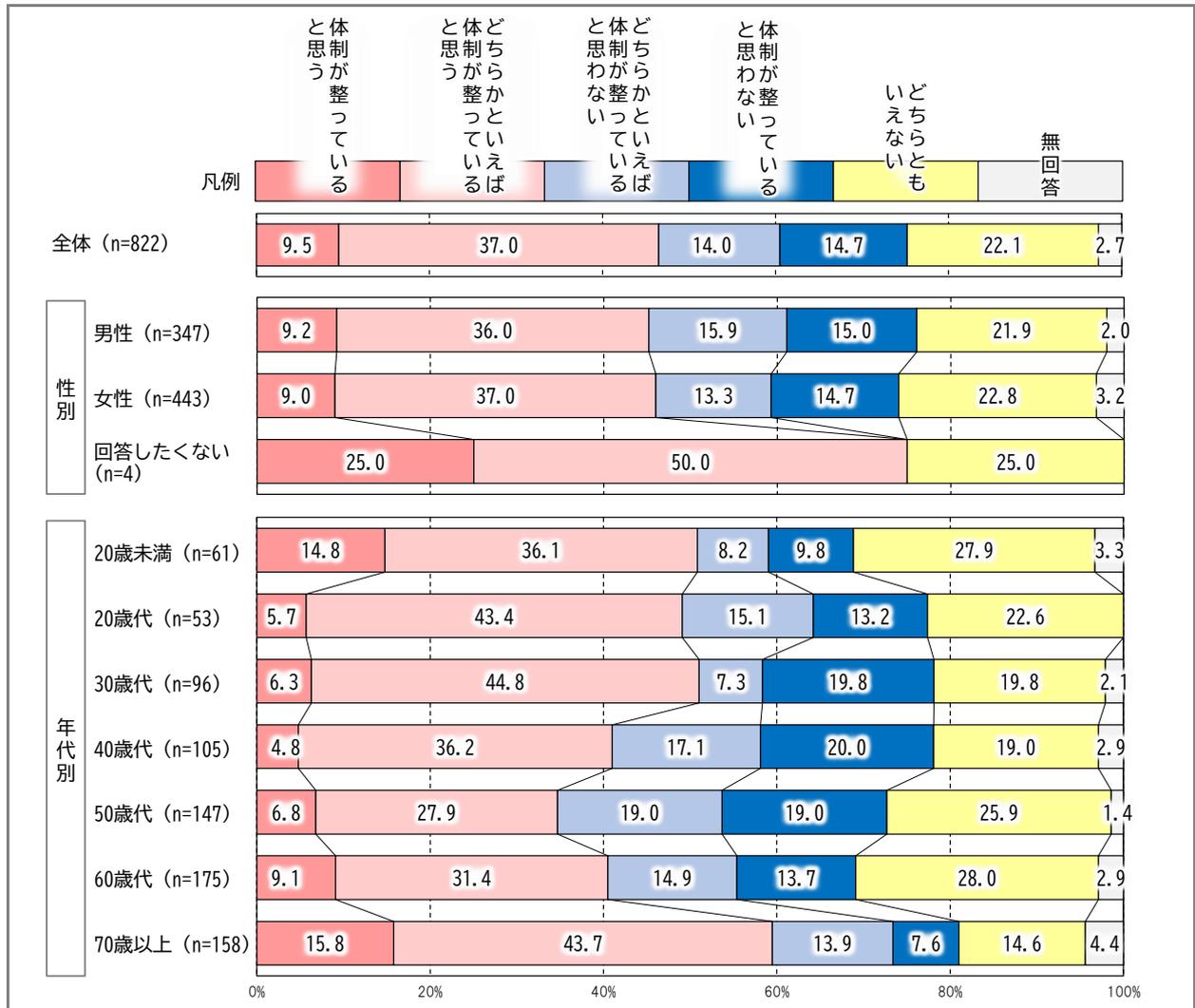
年代別にみると、「70歳以上」では体制が整っていると思う人の割合が約6割を占めていますが、「50歳代」では3割程度となっており、年代によってばらつきがあります。特に「50歳代」では、体制が整っていると思わない人の割合は体制が整っていると思う人の割合よりも高くなっています。

前回調査と比較すると、体制が整っていると思う人の割合が3.2ポイント減少しています。

※1 「体制が整っていると思う」若しくは「どちらかといえば体制が整っていると思う」と回答した人

※2 「体制が整っていないと思う」若しくは「どちらかといえば体制が整っていないと思う」と回答した人





**【問 18】 あなたは、日田市における「子育てのしやすさ」について、どう思いますか。**  
 (○は1つだけ)

日田市における「子育てのしやすさ」について、どう思うかについては、子育てがしやすいと思う人<sup>※1</sup>が42.9%、子育てがしやすいと思わない人<sup>※2</sup>が15.9%となっています。

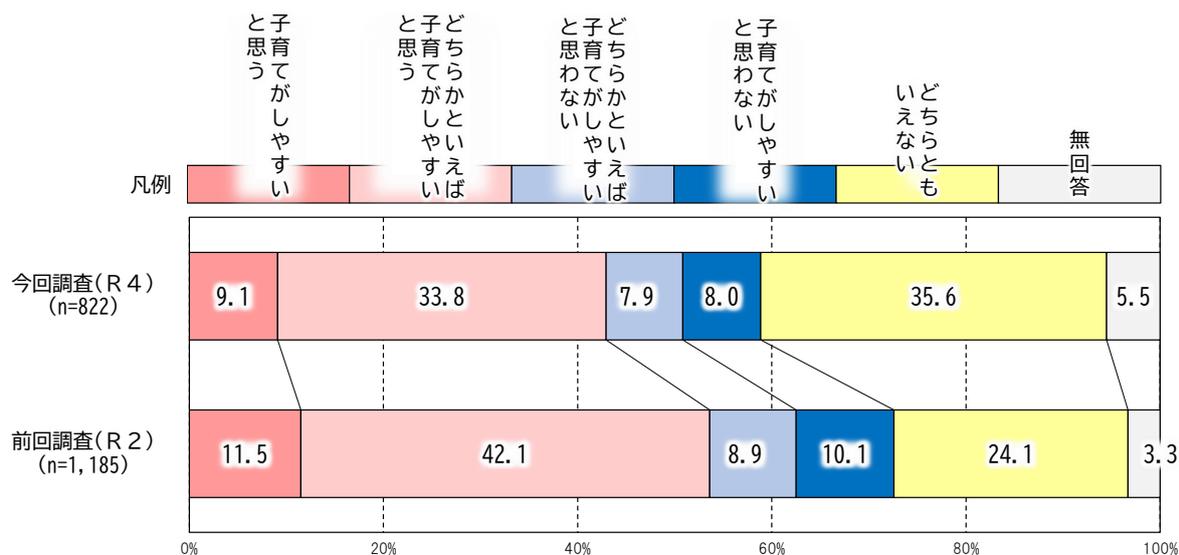
性別にみると、子育てがしやすいと思う人は、「女性」が45.2%で「男性」の40.9%と比較して4.3ポイント高くなっています。

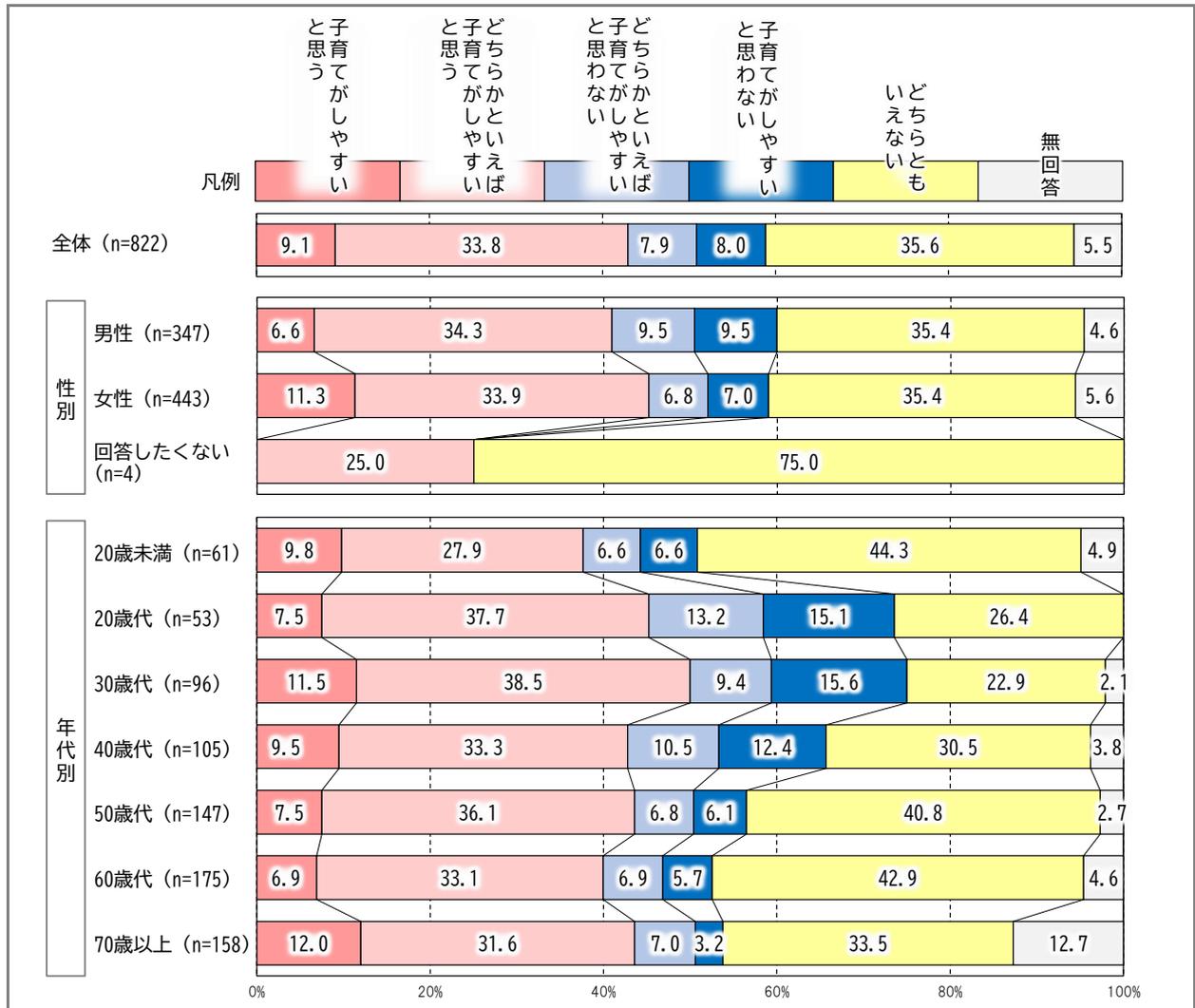
年代別にみると、「30歳代」のみ子育てがしやすいと思う人の割合が5割を占めており、「20歳代」は子育てがしやすいと思わない人の割合が他の年代より最も高くなっています。

前回調査と比較すると、子育てがしやすいと思う人の割合が10.7ポイント減少しています。

※1 「子育てがしやすいと思う」若しくは「どちらかといえば子育てがしやすいと思う」と回答した人

※2 「子育てがしやすいと思わない」若しくは「どちらかといえば子育てがしやすいと思わない」と回答した人





**【問 19】 あなたは、日田市における「障がいのある人の暮らしやすさ」について、どう思いますか。（○は1つだけ）**

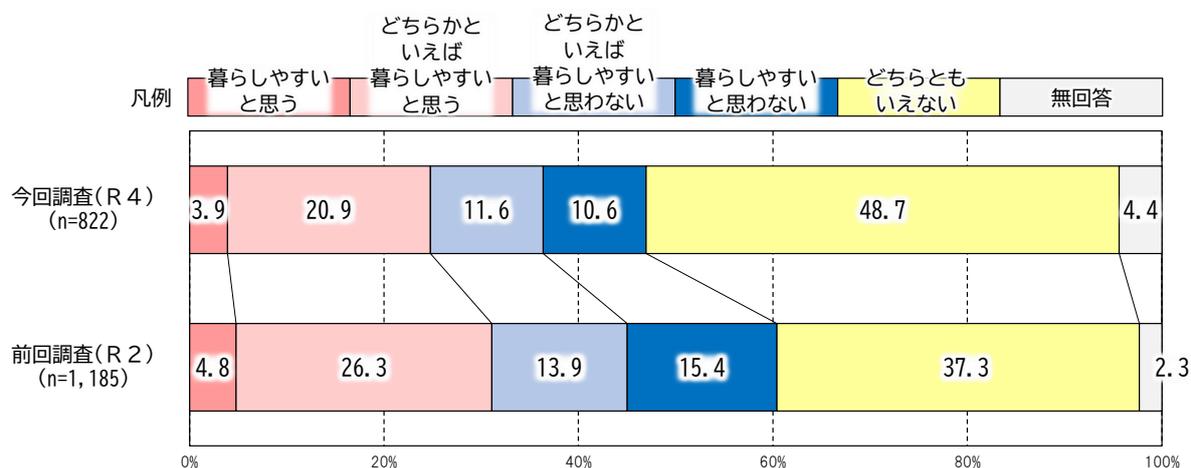
日田市における「障がいのある人の暮らしやすさ」について、どう思うかについては、暮らしやすいと思う人※1が24.8%、暮らしやすいと思わない人※2が22.2%となっています。

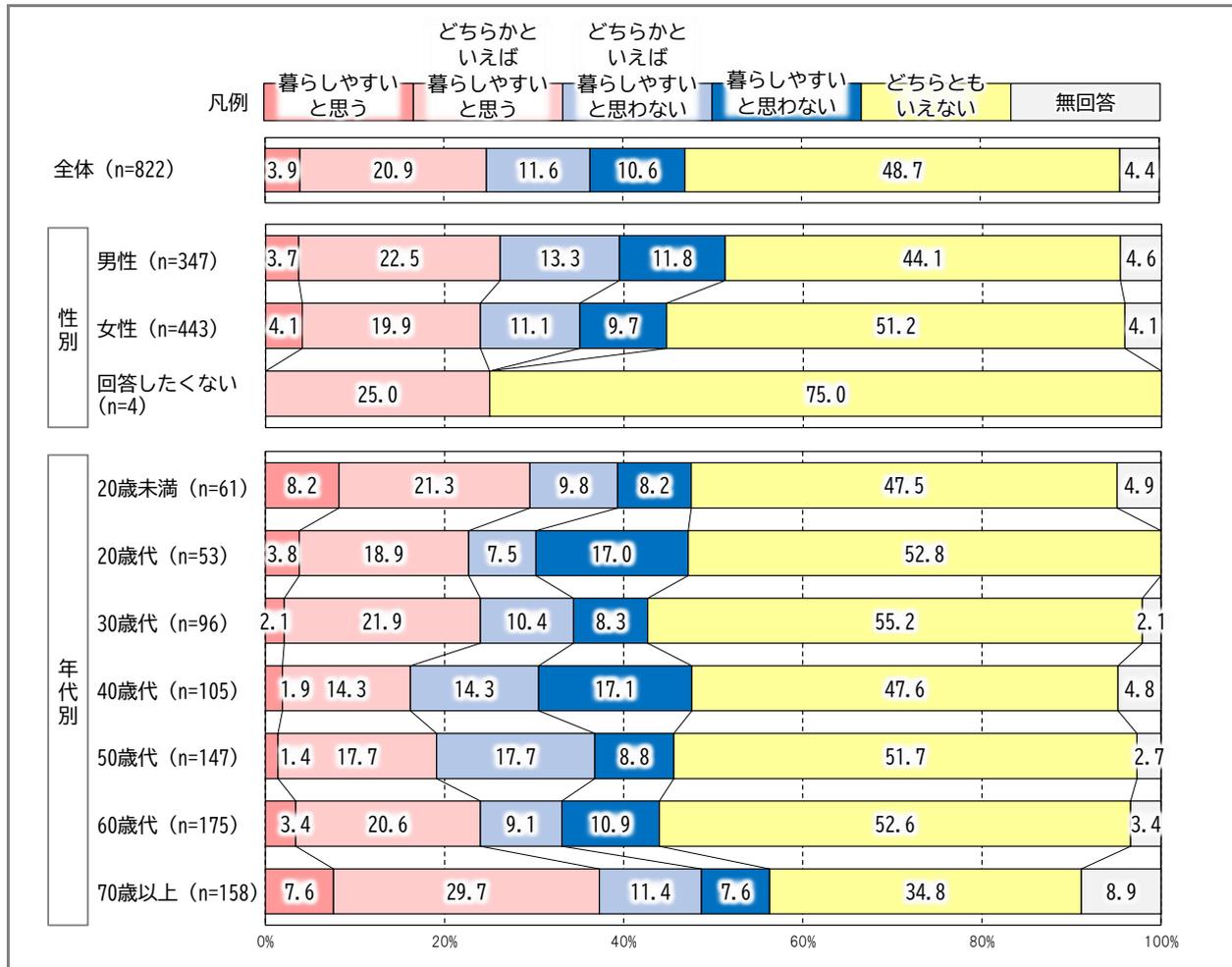
年代別にみると、「70歳以上」のみ暮らしやすいと思う人の割合が3割を超えていますが、「40歳代」「50歳代」では1割程度にとどまっています。「40歳代」では暮らしやすいと思わない人の割合が3割を超えており、他の年代に比べて高くなっています。

前回調査と比較すると、暮らしやすいと思う人の割合が6.3ポイント減少しています。

※1「暮らしやすいと思う」若しくは「どちらかといえば暮らしやすいと思う」と回答した人

※2「暮らしやすいと思わない」若しくは「どちらかといえば暮らしやすいと思わない」と回答した人





**【問 20】あなたは、日田市における「高齢者が生きがいをもった暮らし」について、どう思いますか。（○は1つだけ）**

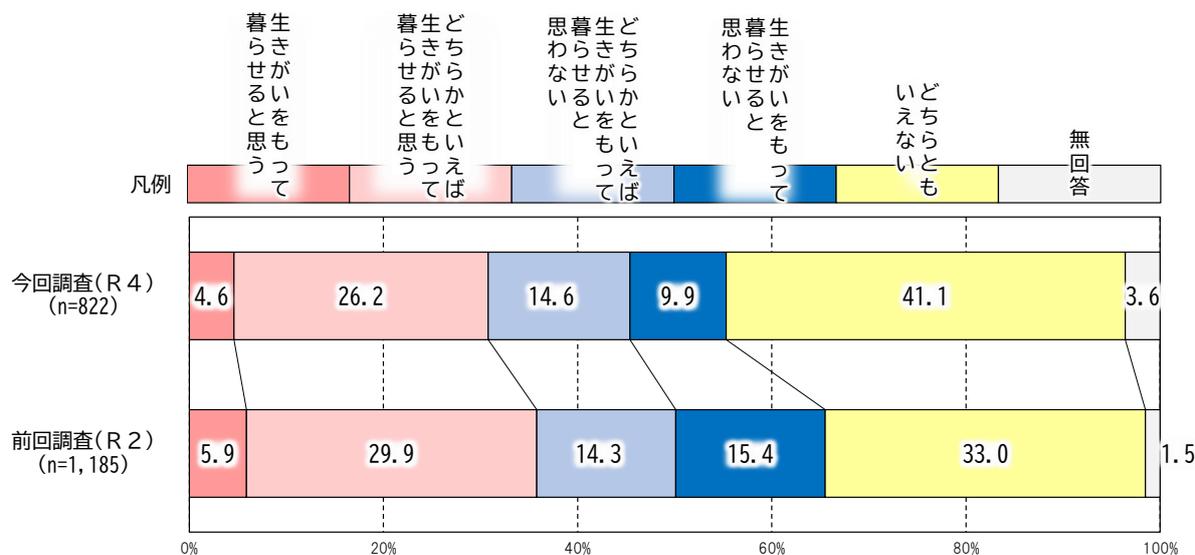
日田市における「高齢者が生きがいをもった暮らし」について、どう思うかについては、生きがいをもって暮らせると思う人<sup>※1</sup>が30.8%、生きがいをもって暮らせると思わない人<sup>※2</sup>が24.5%となっています。

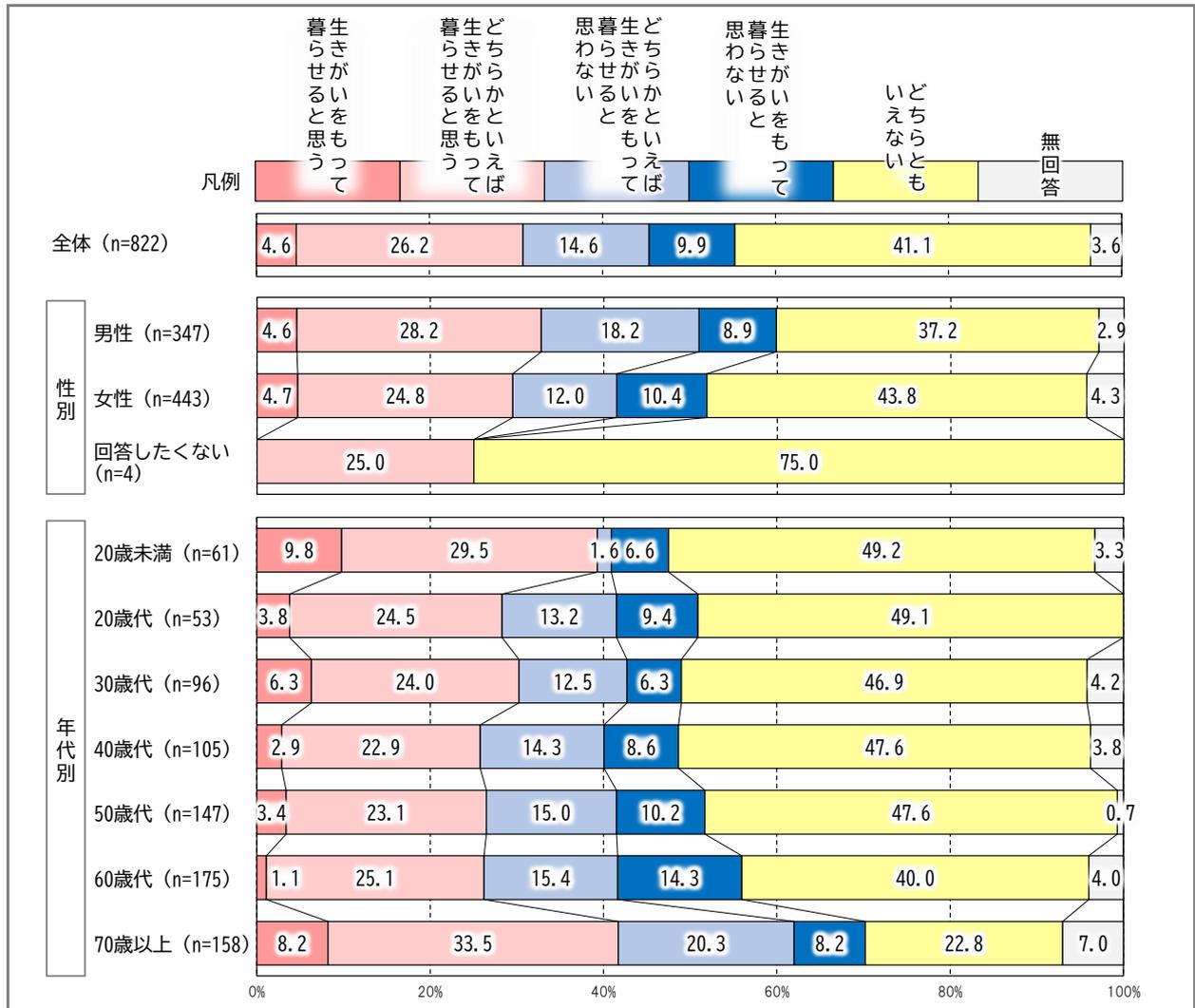
年代別にみると、「20歳未満」「70歳以上」で、生きがいをもって暮らせると思う人の割合が約4割を占めており、他の年代より高くなっています。一方、「60歳代」「70歳以上」では、生きがいをもって暮らせると思わない人の割合が3割弱を占めており、他の年代より高くなっています。

前回調査と比較すると、生きがいをもって暮らせると思う人の割合が5.0ポイント減少しています。

※1 「生きがいをもって暮らせると思う」若しくは「どちらかといえば生きがいをもって暮らせると思う」と回答した人

※2 「生きがいをもって暮らせると思わない」若しくは「どちらかといえば生きがいをもって暮らせると思わない」と回答した人





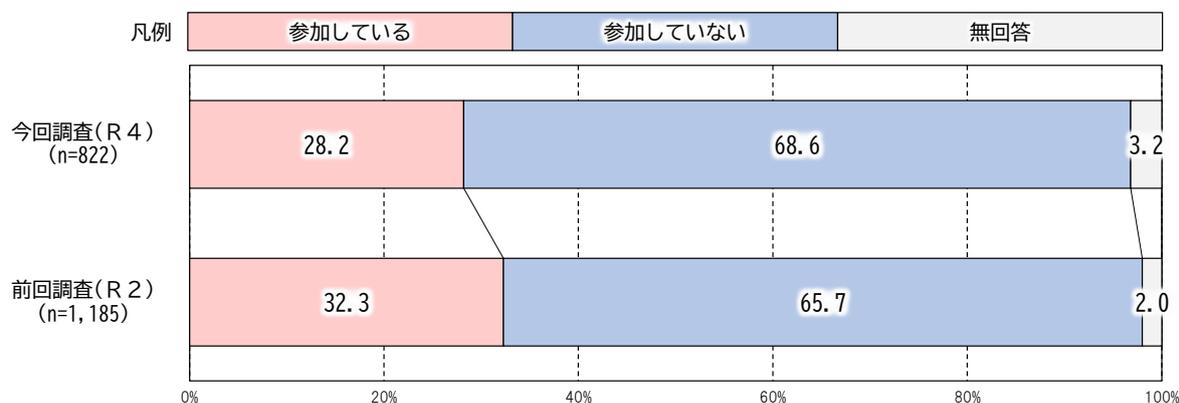
**【問 21】あなたは、地域の自主防災組織の取組（防災訓練や防災講座など）に参加していますか。**  
**（○は1つだけ）**

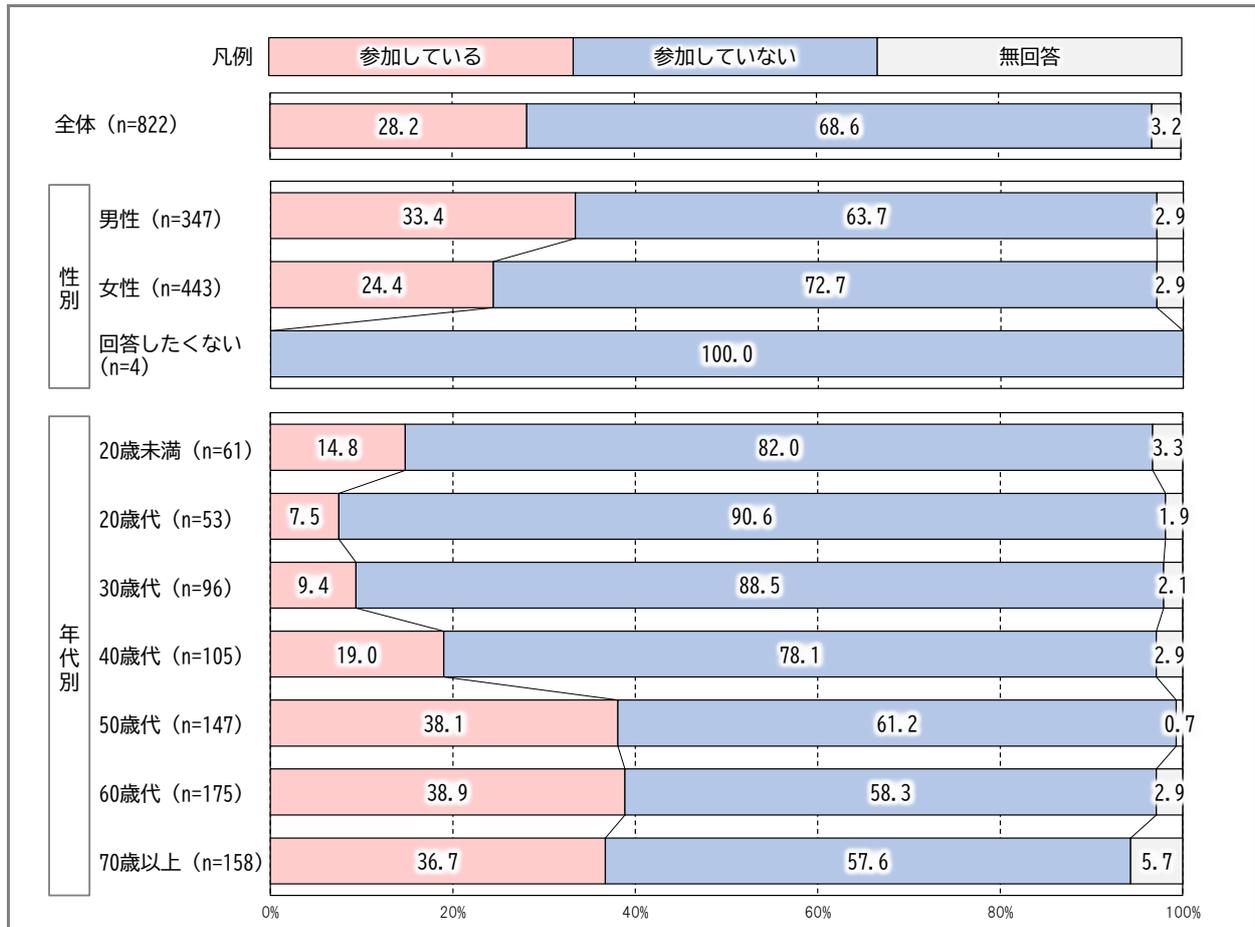
地域の自主防災組織の取組（防災訓練や防災講座など）に参加しているかについては、「参加している」が28.2%、「参加していない」が68.6%となっています。

性別にみると、「参加している」と回答した割合は「男性」が33.4%で「女性」の24.4%と比較して9.0ポイント高くなっています。

年代別にみると、「20歳代」「30歳代」で「参加している」と回答した割合が1割未満で、「40歳代」では2割程度と、若い年代の方の参加割合が低くなっています。

前回調査と比較すると、「参加している」割合が4.1ポイント減少し、「参加していない」割合が2.9ポイント増加しています。





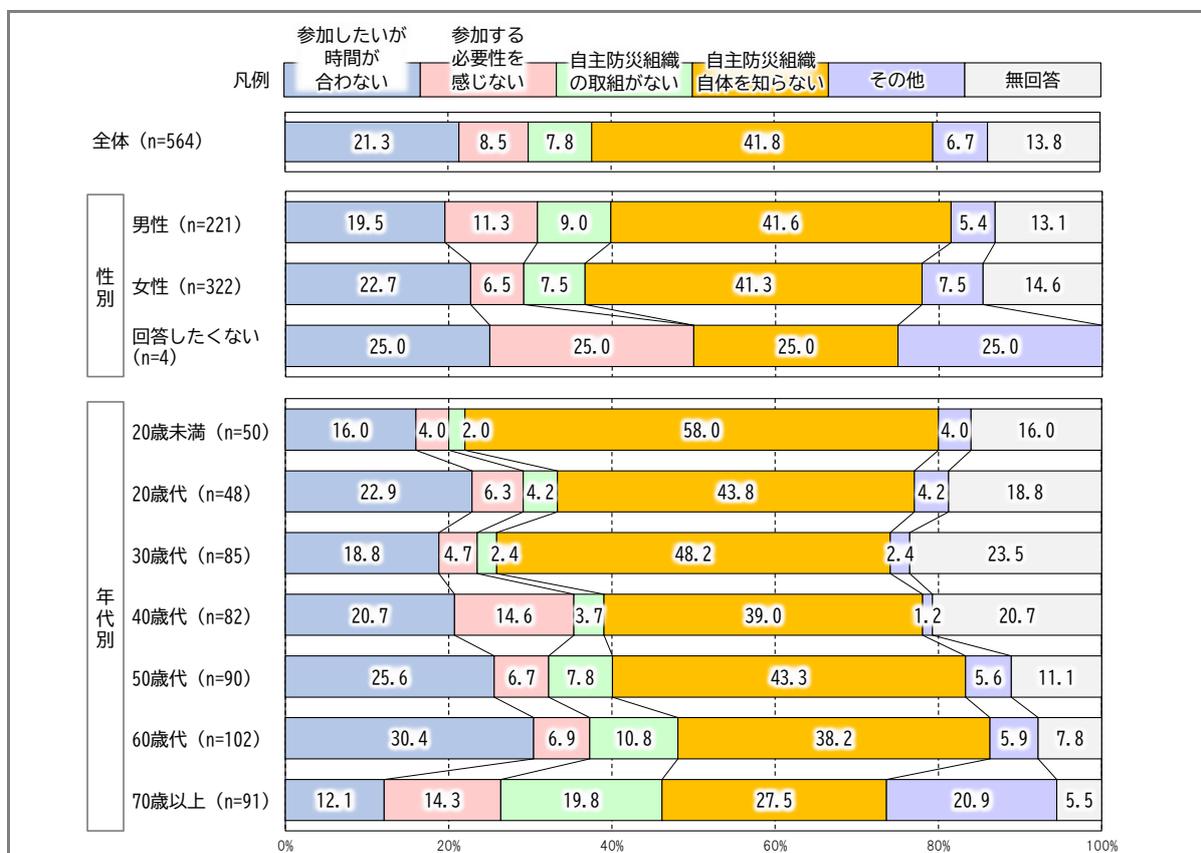
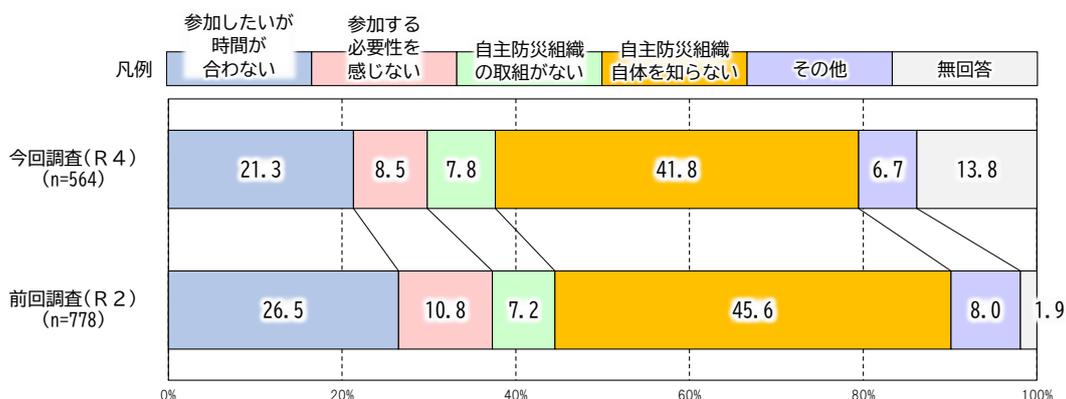
◆問21で参加していないと回答された方にお伺いします。  
【問21-1】参加していない理由はなんですか。（○は1つだけ）

参加していない理由については、「自主防災組織自体を知らない」が41.8%と最も高く、次いで「参加したいが時間が合わない」が21.3%の順となっています。

性別にみると、「参加したいが時間が合わない」と回答した割合は「女性」が22.7%で「男性」の19.5%と比較して3.2ポイント高くなっています。

年代別にみると、全ての年代で「自主防災組織自体を知らない」と回答した割合が最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「参加したいが時間が合わない」は5.2ポイント減少しています。



**【問 22】 あなたは、日田市における防犯意識について、どう思いますか。（○は1つだけ）**

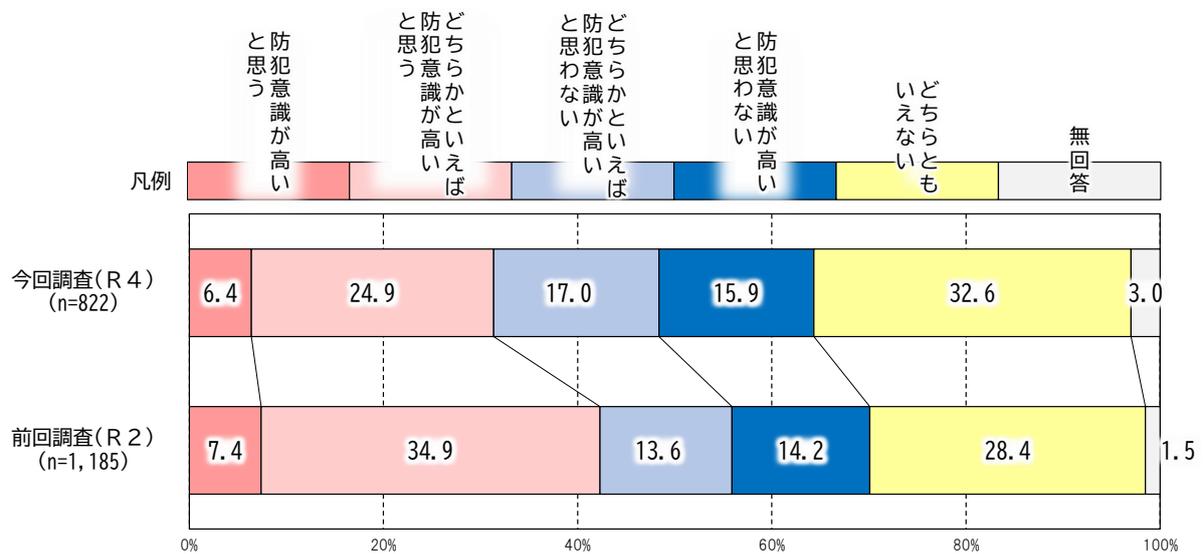
日田市における防犯意識について、どう思うかについては、防犯意識が高いと思う人<sup>※1</sup>が31.3%、防犯意識が高いと思わない人<sup>※2</sup>が32.9%となっています。

年代別にみると、「70歳以上」が、防犯意識が高いと思う人の割合が4割を上回った一方、「40歳代」は2割弱と最も低くなっています。

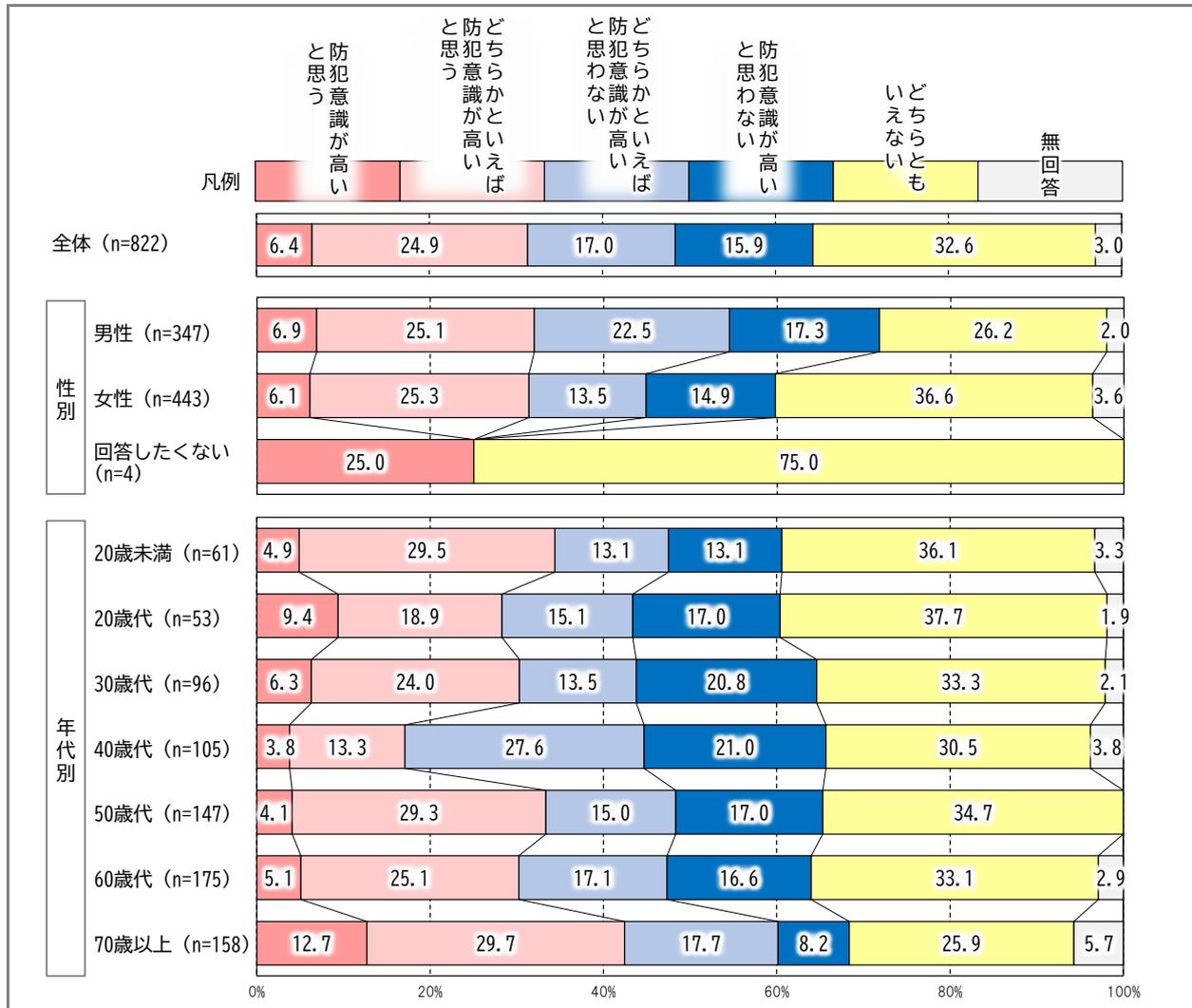
前回調査と比較すると、防犯意識が高いと思う人の割合が11.0ポイント減少しています。

※1 「防犯意識が高いと思う」若しくは「どちらかといえば防犯意識が高いと思う」と回答した人

※2 「防犯意識が高いと思わない」若しくは「どちらかといえば防犯意識が高いと思わない」と回答した人



第2章 調査結果「福祉」

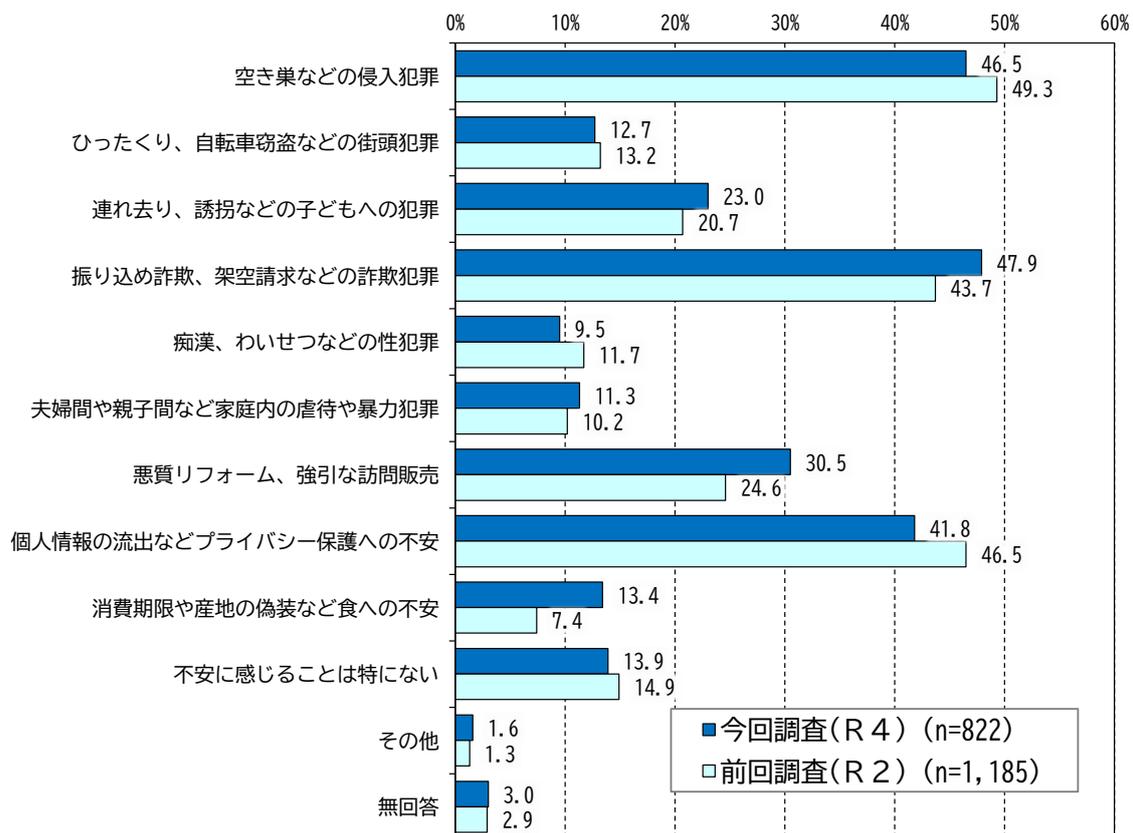


**【問 23】あなたは、自分の身の回りの犯罪などに関して、何か不安を感じることはありますか。  
(○はいくつでも)**

自分の身の回りの犯罪などに関して、何か不安を感じることはあるかについては、「振り込め詐欺、架空請求などの詐欺犯罪」が47.9%と最も高く、次いで「空き巣などの侵入犯罪」が46.5%、「個人情報の流出などプライバシー保護への不安」が41.8%の順となっています。

年代別にみると、「20歳未満」は「個人情報の流出などプライバシー保護への不安」、「20歳代」から「40歳代」では「空き巣などの侵入犯罪」、「50歳代」から「70歳以上」では「振り込め詐欺、架空請求などの詐欺犯罪」と回答した割合がそれぞれ最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「消費期限や産地の偽装など食への不安」が6.0ポイント、「悪質リフォーム、強引な訪問販売」は5.9ポイント増加している一方、「個人情報の流出などプライバシー保護への不安」は4.7ポイント減少しています。



第2章 調査結果「福祉」

単位： 上段=人 下段=%		サンプル数	空き巣などの侵入犯罪	ひつたり、盗などの街頭犯罪	子どもへの誘拐などの犯罪	振り込め詐欺、架空請求などの詐欺犯罪	痴漢、わいせつなどの性犯罪	夫間の虐待や暴力犯など家庭内での犯罪	悪質リフォーム、強引な訪問販売	個人情報流出などのプライバシー保護への不安	消費期限や産地の偽装など食への不安	不安に感じることは特にな	その他	無回答
全体		822	382 46.5	104 12.7	189 23.0	394 47.9	78 9.5	93 11.3	251 30.5	344 41.8	110 13.4	114 13.9	13 1.6	25 3.0
性別	男性	347	148 42.7	44 12.7	66 19.0	172 49.6	23 6.6	40 11.5	111 32.0	132 38.0	49 14.1	56 16.1	8 2.3	8 2.3
	女性	443	223 50.3	55 12.4	116 26.2	205 46.3	53 12.0	52 11.7	131 29.6	196 44.2	59 13.3	56 12.6	5 1.1	12 2.7
	回答したくない	4	3 75.0	-	1 25.0	3 75.0	-	1 25.0	2 50.0	3 75.0	-	-	-	-
年代別	20歳未満	61	17 27.9	9 14.8	14 23.0	16 26.2	7 11.5	9 14.8	8 13.1	27 44.3	1 1.6	14 23.0	1 1.6	2 3.3
	20歳代	53	27 50.9	7 13.2	18 34.0	21 39.6	6 11.3	8 15.1	12 22.6	23 43.4	8 15.1	10 18.9	-	1 1.9
	30歳代	96	51 53.1	21 21.9	50 52.1	34 35.4	17 17.7	18 18.8	32 33.3	44 45.8	16 16.7	6 6.3	4 4.2	2 2.1
	40歳代	105	55 52.4	18 17.1	33 31.4	48 45.7	10 9.5	14 13.3	39 37.1	54 51.4	7 6.7	11 10.5	1 1.0	2 1.9
	50歳代	147	71 48.3	18 12.2	26 17.7	78 53.1	18 12.2	16 10.9	46 31.3	71 48.3	26 17.7	18 12.2	4 2.7	1 0.7
	60歳代	175	77 44.0	8 4.6	35 20.0	105 60.0	12 6.9	19 10.9	61 34.9	70 40.0	23 13.1	23 13.1	2 1.1	5 2.9
	70歳以上	158	76 48.1	18 11.4	7 4.4	78 49.4	6 3.8	9 5.7	46 29.1	42 26.6	27 17.1	30 19.0	1 0.6	8 5.1

**【問 24】 あなたは、意識して日田産品（野菜、くだもの、川魚、家具、工芸品など）を購入されていますか。（○は1つだけ）**

意識して日田産品（野菜、くだもの、川魚、家具、工芸品など）を購入しているかについては、意識して日田産品を購入している人※1が51.1%、意識して日田産品を購入していない人※2が35.9%となっています。

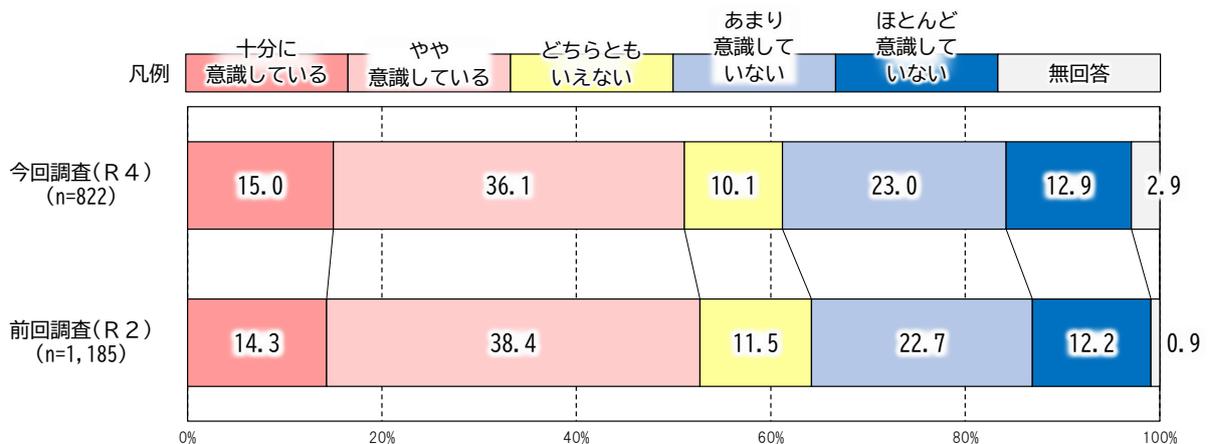
性別にみると、意識して日田産品を購入している人は、「女性」が55.1%で「男性」の46.4%と比較して8.7ポイント高くなっています。

年代別にみると、「20歳未満」「20歳代」「40歳代」では、意識して日田産品を購入していない人の割合の方が高くなっています。「50歳代」以上では、意識して日田産品を購入している人の割合の方が高く、5割を超えています。

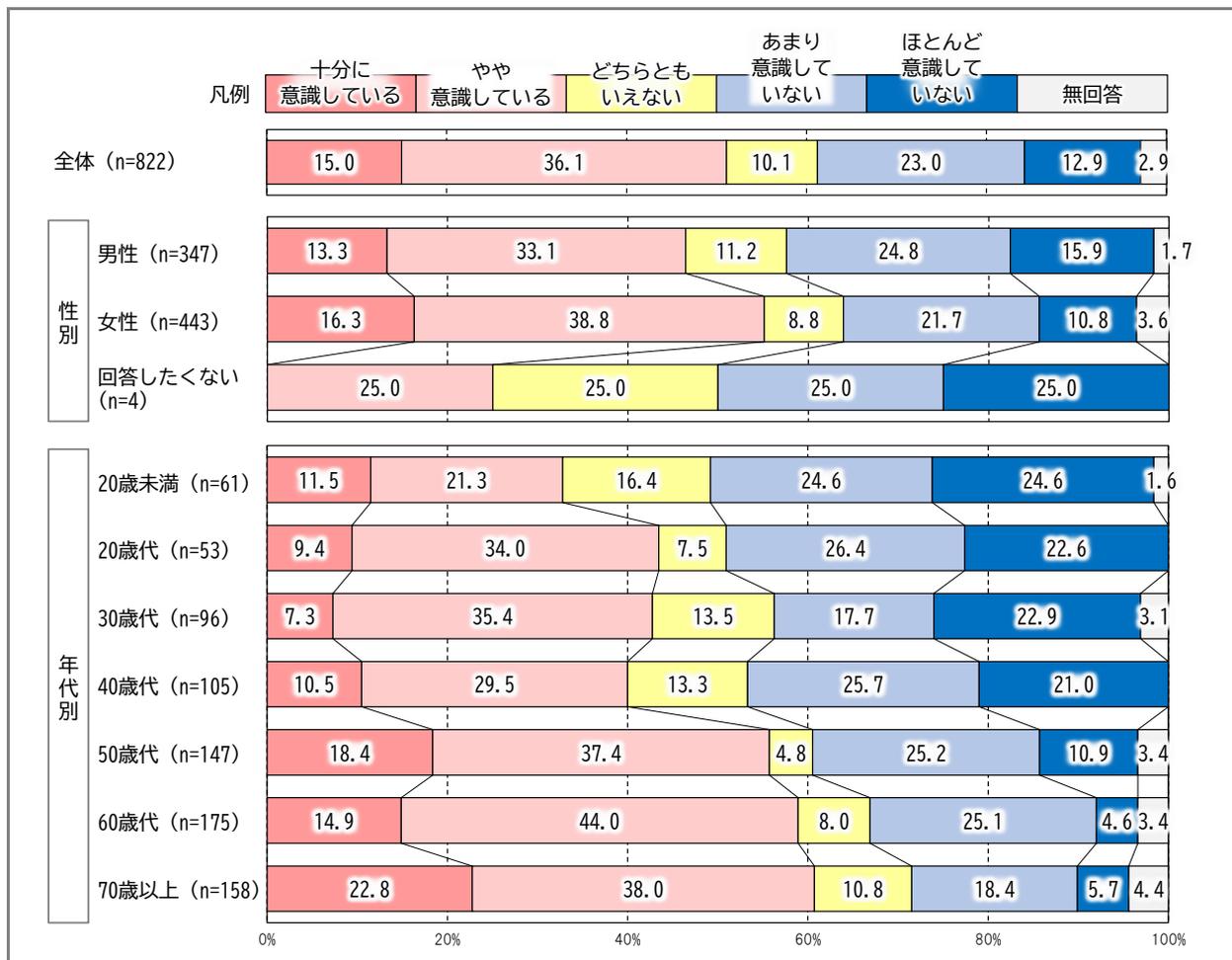
前回調査と比較すると、意識して日田産品を購入している人の割合が1.6ポイント減少しています。

※1 「十分に意識している」若しくは「やや意識している」と回答した人

※2 「ほとんど意識していない」若しくは「あまり意識していない」と回答した人



第2章 調査結果「産業振興」



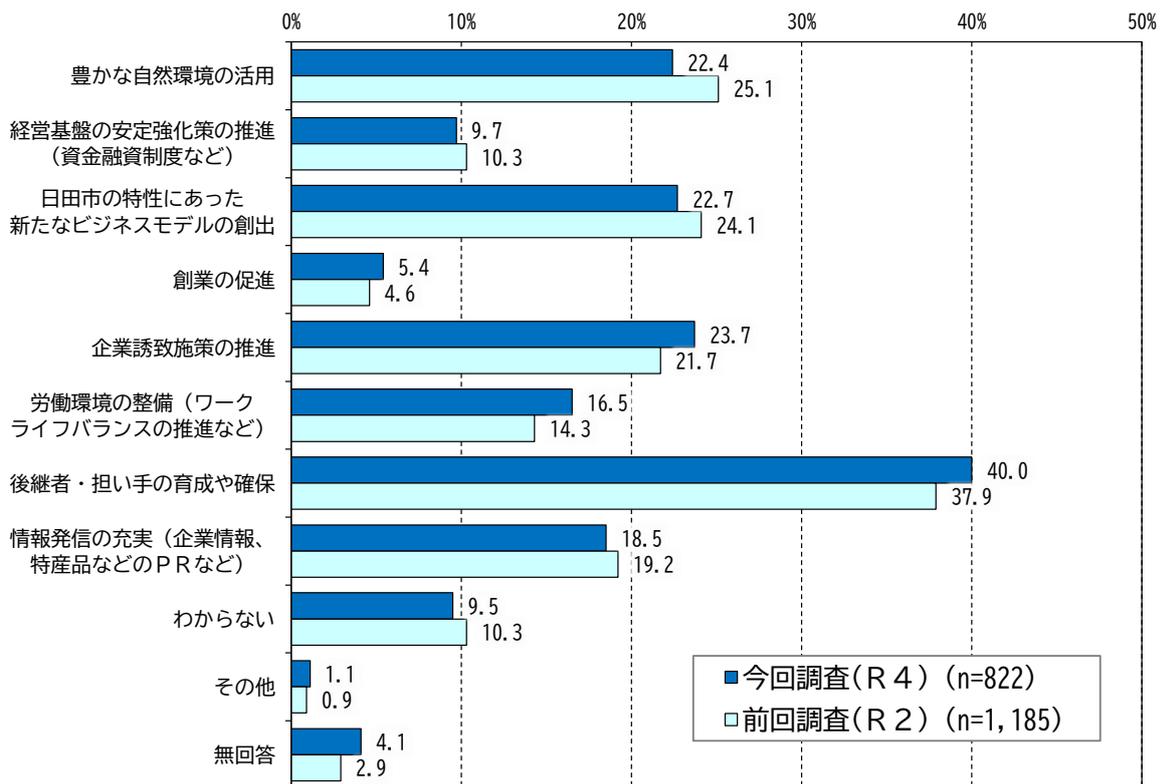
**【問 25】日田市の産業振興のために、どのようなことが特に重要だと思いますか。**  
**(○は2つまで)**

日田市の産業振興のために、どのようなことが特に重要だと思うかについては、「後継者・担い手の育成や確保」が40.0%と最も高く、次いで「企業誘致施策の推進」が23.7%、「日田市の特性にあった新たなビジネスモデルの創出」が22.7%の順となっています。

性別にみると、「企業誘致施策の推進」と回答した割合は、「男性」が32.0%で「女性」の18.1%と比較して13.9ポイント高くなっています。

年代別にみると、全ての年代で、「後継者・担い手の育成や確保」と回答した割合が最も高くなっており、「20歳代」は「日田市の特性にあった新たなビジネスモデルの創出」も同じ割合を占めています。

前回調査と比較すると、「企業誘致施策の推進」「後継者・担い手の育成や確保」が約2ポイント増加しています。



第2章 調査結果「産業振興」

単位： 上段=人 下段=%		サンプル数	豊かな自然環境の活用	経営基盤の推進（資金融資制度化策など）	新たなビジネスモデルの創出	日田市の特性にあつた	創業の促進	企業誘致施策の推進	進め（労働環境の整備（ワ）推進など）	後継者・担い手の育成や確保	R情報、発信の充実（企業情報、特産品などのPRなど）	わからない	その他	無回答
全体		822	184 22.4	80 9.7	187 22.7	44 5.4	195 23.7	136 16.5	329 40.0	152 18.5	78 9.5	9 1.1	34 4.1	
性別	男性	347	83 23.9	34 9.8	91 26.2	19 5.5	111 32.0	51 14.7	131 37.8	57 16.4	22 6.3	6 1.7	11 3.2	
	女性	443	93 21.0	45 10.2	92 20.8	21 4.7	80 18.1	78 17.6	185 41.8	90 20.3	51 11.5	3 0.7	20 4.5	
	回答したくない	4	1 25.0	-	2 50.0	1 25.0	-	2 50.0	1 25.0	1 25.0	-	-	-	
年代別	20歳未満	61	16 26.2	2 3.3	14 23.0	3 4.9	8 13.1	9 14.8	22 36.1	12 19.7	13 21.3	1 1.6	1 1.6	
	20歳代	53	14 26.4	5 9.4	16 30.2	4 7.5	4 7.5	12 22.6	16 30.2	15 28.3	5 9.4	-	-	
	30歳代	96	17 17.7	10 10.4	19 19.8	5 5.2	19 19.8	20 20.8	41 42.7	25 26.0	9 9.4	2 2.1	3 3.1	
	40歳代	105	13 12.4	7 6.7	27 25.7	8 7.6	20 19.0	19 18.1	44 41.9	31 29.5	9 8.6	1 1.0	2 1.9	
	50歳代	147	25 17.0	21 14.3	38 25.9	4 2.7	46 31.3	28 19.0	60 40.8	26 17.7	6 4.1	3 2.0	6 4.1	
	60歳代	175	49 28.0	19 10.9	40 22.9	9 5.1	53 30.3	31 17.7	72 41.1	16 9.1	16 9.1	2 1.1	6 3.4	
	70歳以上	158	43 27.2	15 9.5	31 19.6	9 5.7	41 25.9	12 7.6	63 39.9	23 14.6	15 9.5	-	13 8.2	

**【問 26】あなたは、日田市における公園の整備について、どう思いますか。（○は1つだけ）**

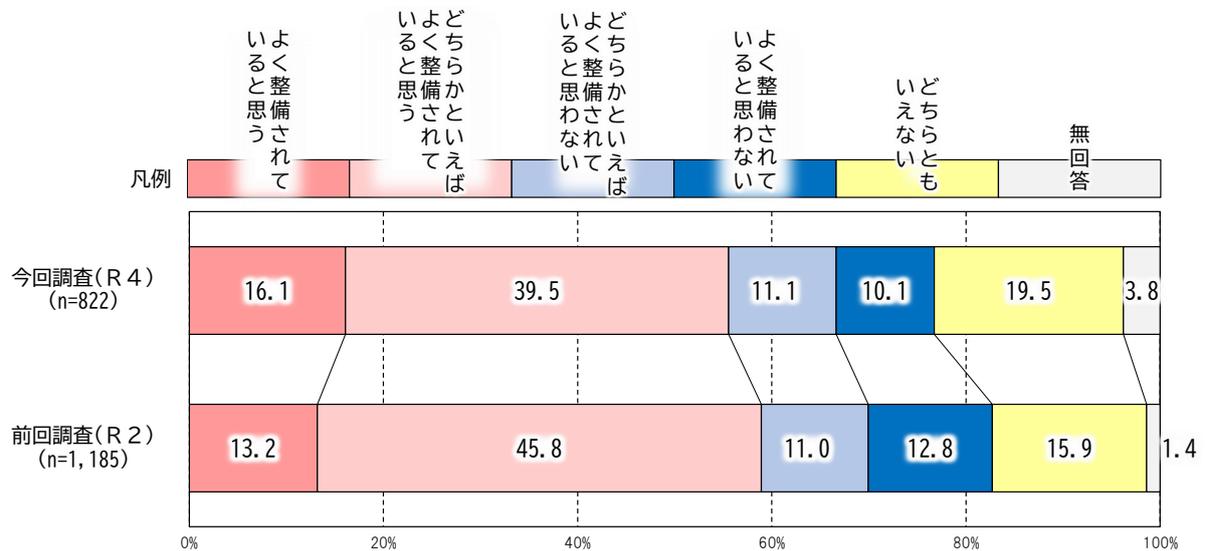
日田市における公園の整備について、どう思うかについては、よく整備されていると思う人<sup>※1</sup>が55.6%、よく整備されていると思わない人<sup>※2</sup>が21.2%となっています。

年代別にみると、全ての年代でよく整備されていると思う人の割合が高く、「30歳代」は6割を上回っています。一方で、「20歳代」は4割と他の年代に比べて低い結果となっています。

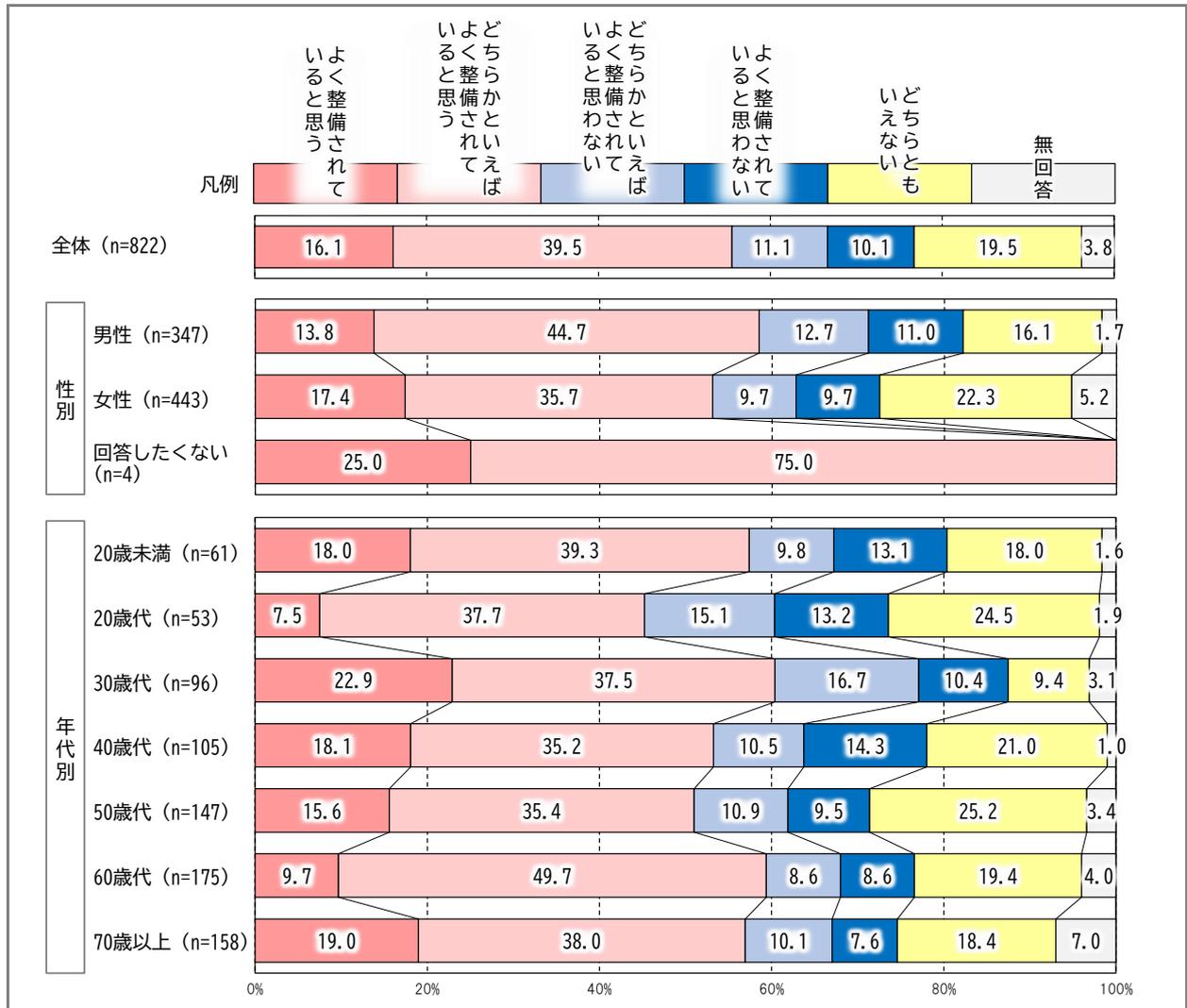
前回調査と比較すると、よく整備されていると思う人の割合が3.4ポイント減少しています。

※1「よく整備されていると思う」若しくは「どちらかといえばよく整備されていると思う」と回答した人

※2「よく整備されていると思わない」若しくは「どちらかといえばよく整備されていると思わない」と回答した人



第2章 調査結果「生活基盤」

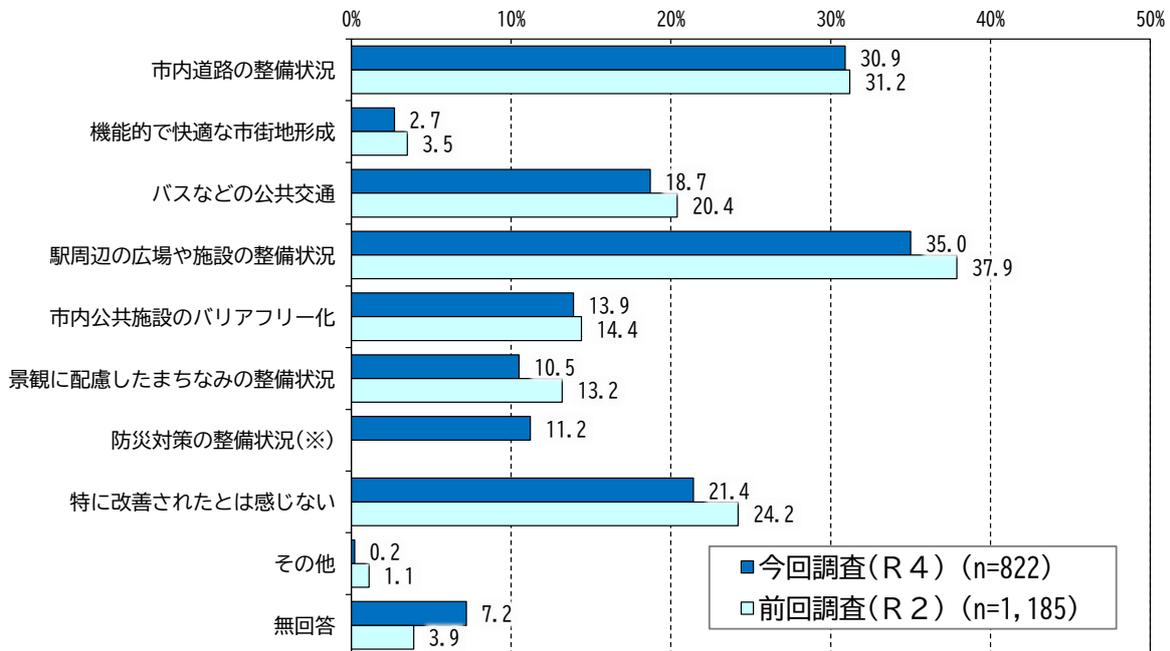


**【問 27】あなたが日田市内における生活基盤について、以前と比べて改善されていると感じているものはどれですか。（○はいくつでも）**

日田市内における生活基盤で、以前と比べて改善されていると感じているものについては、「駅周辺の広場や施設の整備状況」が35.0%と最も高く、次いで「市内道路の整備状況」が30.9%、「特に改善されたとは感じない」が21.4%の順となっています。

年代別にみると、「20歳未満」「20歳代」は「市内道路の整備状況」と回答した割合が最も高く、「30歳代」から「70歳以上」では「駅周辺の広場や施設の整備状況」と回答した割合が最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「駅周辺の広場や施設の整備状況」が2.9ポイント減少しています。



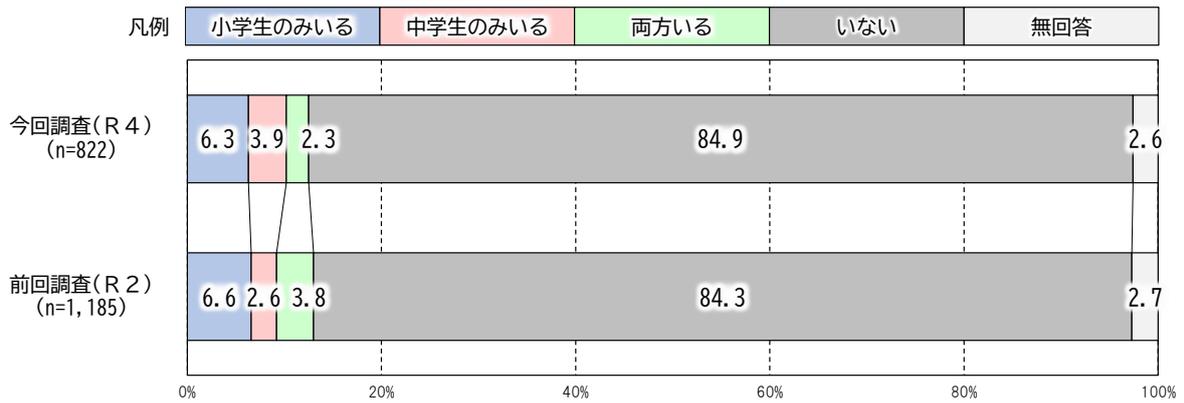
(※)「防災対策の整備状況」は、今回調査 (R4)で追加した選択肢

第2章 調査結果「生活基盤」

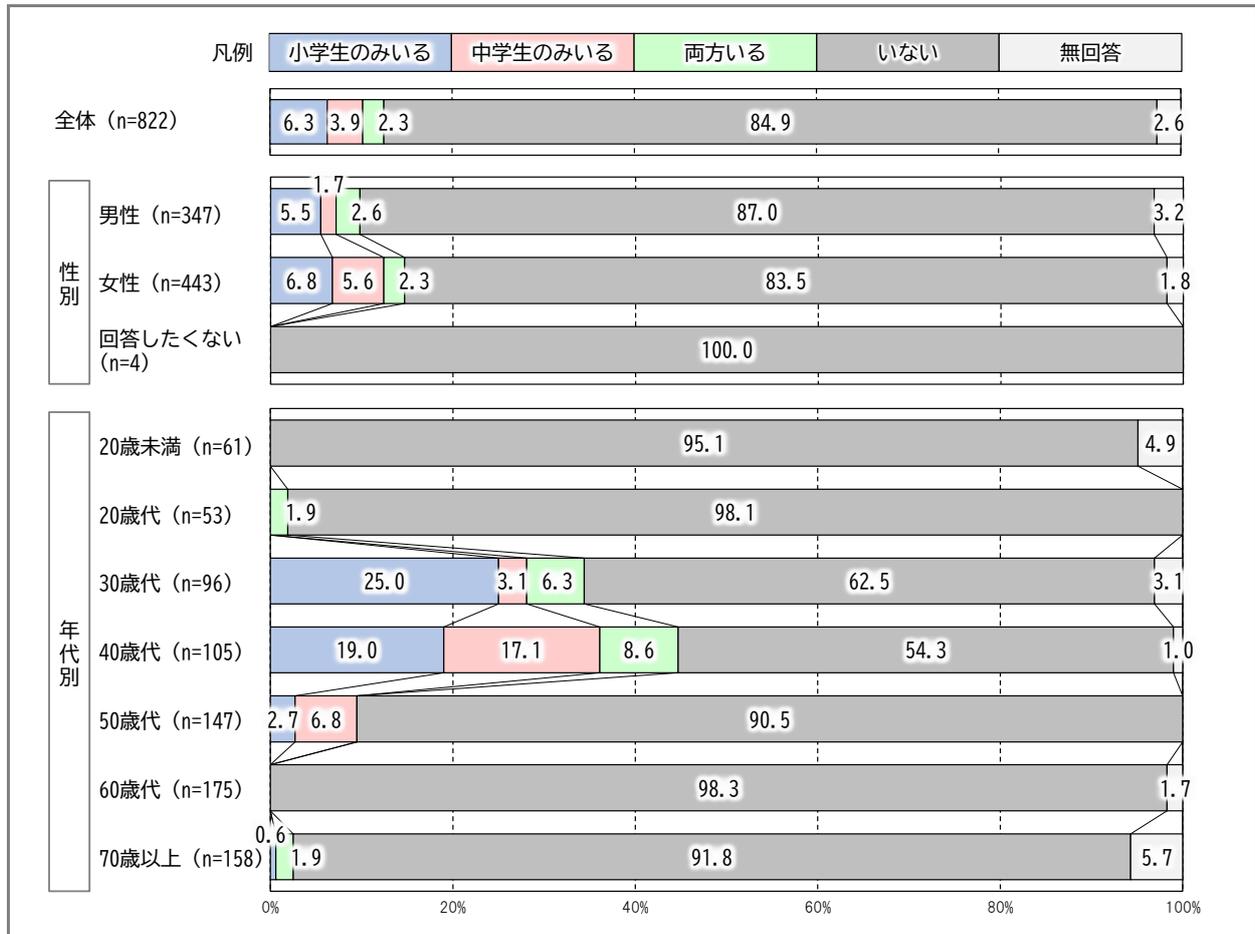
単位： 上段=人 下段=%		サンプル数	市内道路の整備状況	地形的に 機能的で 快適な市街	バスなどの公共交通	駅周辺の広場や施設の整備状況	市内公共施設のバリエーション	景観に配慮したまちなみの整備状況	防災対策の整備状況	特に改善されたとは感じない	その他	無回答
全体		822	254 30.9	22 2.7	154 18.7	288 35.0	114 13.9	86 10.5	92 11.2	176 21.4	2 0.2	59 7.2
性別	男性	347	118 34.0	11 3.2	60 17.3	126 36.3	42 12.1	42 12.1	54 15.6	75 21.6	1 0.3	19 5.5
	女性	443	127 28.7	10 2.3	86 19.4	154 34.8	68 15.3	39 8.8	36 8.1	95 21.4	1 0.2	37 8.4
	回答したくない	4	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0	1 25.0	-	-	-
年代別	20歳未満	61	23 37.7	3 4.9	12 19.7	20 32.8	10 16.4	6 9.8	8 13.1	16 26.2	-	2 3.3
	20歳代	53	18 34.0	1 1.9	6 11.3	17 32.1	3 5.7	6 11.3	5 9.4	13 24.5	-	2 3.8
	30歳代	96	33 34.4	3 3.1	19 19.8	38 39.6	9 9.4	10 10.4	8 8.3	13 13.5	1 1.0	7 7.3
	40歳代	105	31 29.5	1 1.0	25 23.8	34 32.4	11 10.5	7 6.7	13 12.4	30 28.6	-	2 1.9
	50歳代	147	34 23.1	5 3.4	28 19.0	49 33.3	27 18.4	9 6.1	21 14.3	36 24.5	-	8 5.4
	60歳代	175	52 29.7	3 1.7	28 16.0	65 37.1	21 12.0	19 10.9	17 9.7	39 22.3	1 0.6	16 9.1
	70歳以上	158	56 35.4	6 3.8	30 19.0	58 36.7	29 18.4	26 16.5	19 12.0	23 14.6	-	19 12.0

**【問 28】 あなたには、小学生もしくは中学生の子どもがいますか。（○は1つだけ）**

小学生もしくは中学生の子どもがいるかについては、「小学生のみいる」が6.3%、「中学生のみいる」が3.9%、「両方いる」が2.3%、「いない」が84.9%となっています。



第2章 調査結果「教育・文化」

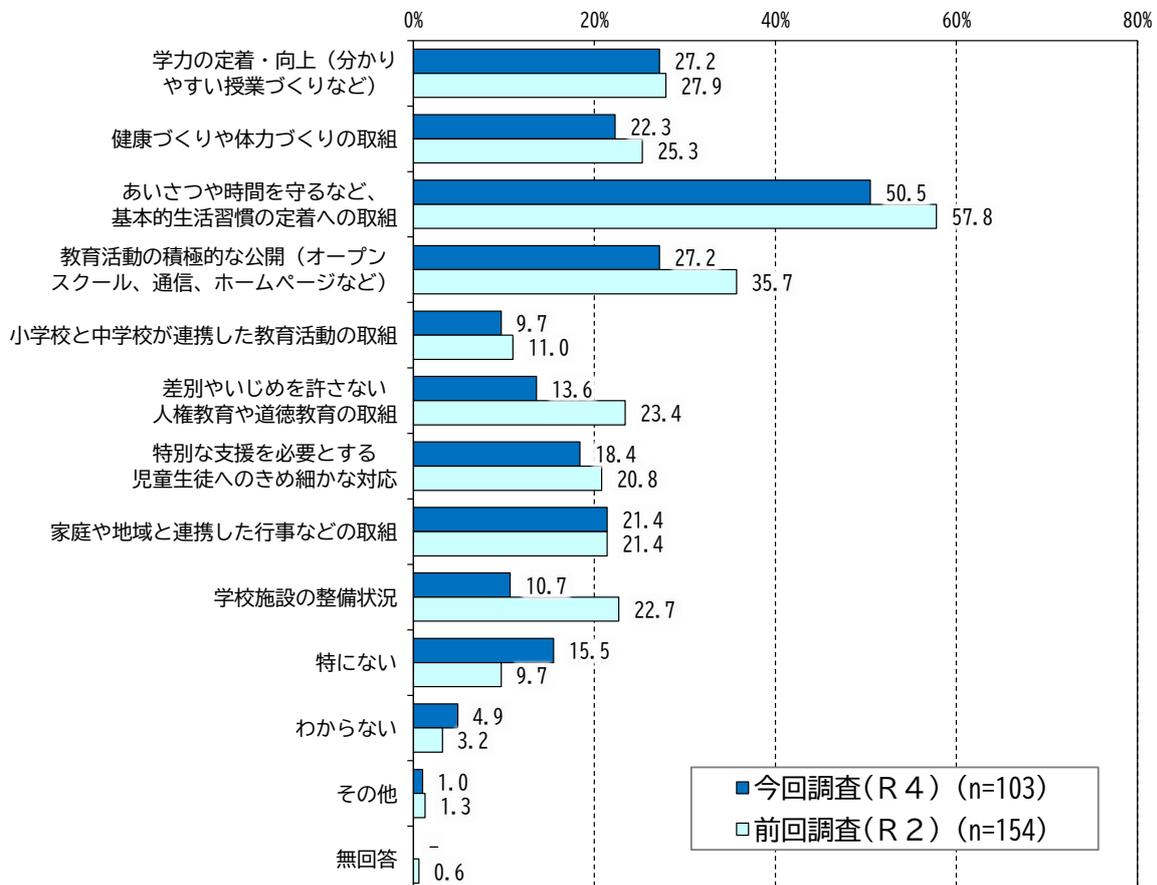


◆問 28 で小学生もしくは中学生の子どもがいると回答された方にお伺いします。  
 【問 28-1】日田市内の小・中学校で、どのような点が特に評価できると思いますか。  
 (○はいくつでも)

日田市内の小・中学校で、特に評価できる点については、「あいさつや時間を守るなど、基本的な生活習慣の定着への取組」が50.5%と最も高く、次いで「学力の定着・向上（分かりやすい授業づくりなど）」「教育活動の積極的な公開（オープンスクール、通信、ホームページなど）」が27.2%、「健康づくりや体力づくりの取組」が22.3%の順となっています。

性別にみると、「女性」で「教育活動の積極的な公開（オープンスクール、通信、ホームページなど）」と回答した割合は「男性」に比べ10ポイント以上高くなっています。

前回調査と比較すると、「学校施設の整備状況」は12.0ポイント減少しています。



第2章 調査結果「教育・文化」

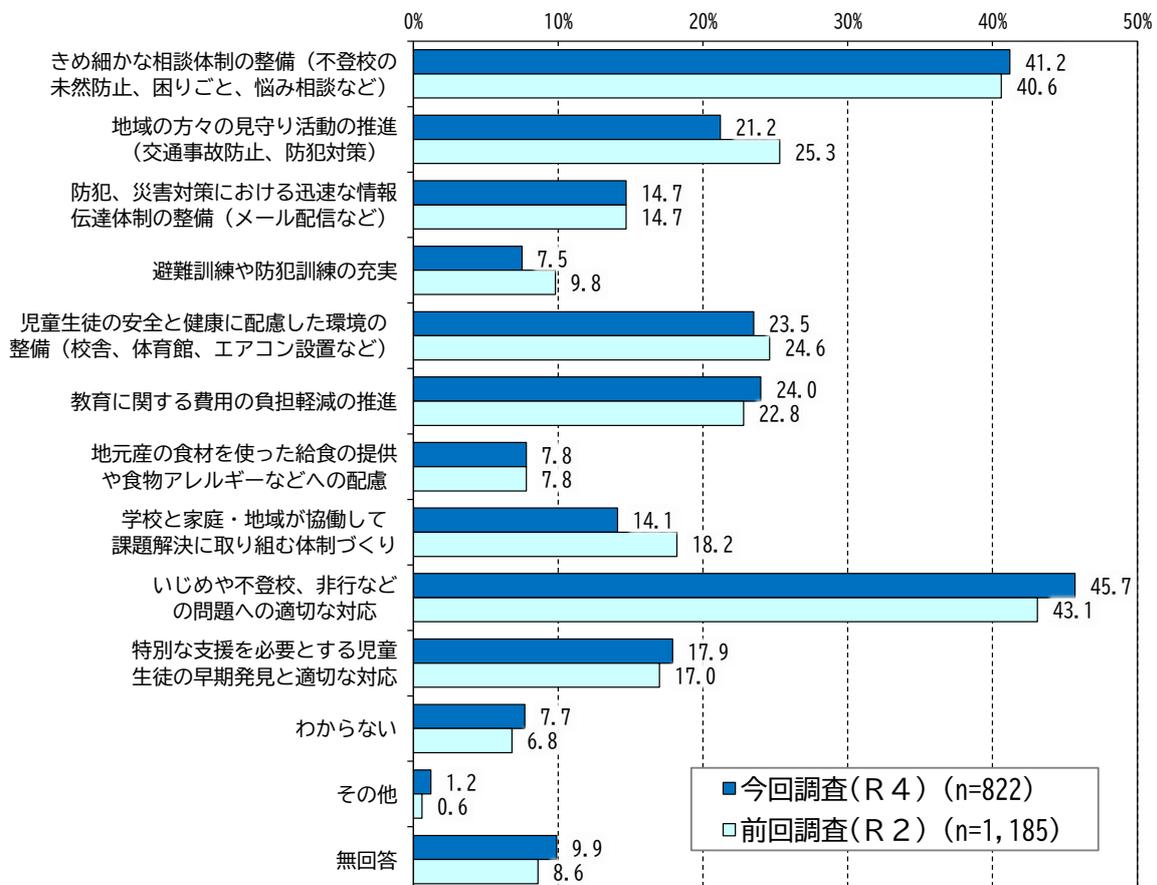
単位： 上段=人 下段=%		サンプル数	学力の定着・向上 （分かりやすい授業づくりなど）	健康づくりや体力づくりの取組	あいさつや時間を守るなど、 本的生活習慣の定着への取組	教育活動の積極的な公開（オープンスクール、通信、ホームページなど）	小学校と中学校が連携した教育活動の取組	差別やいじめを許さない人権教育や道徳教育の取組	特別な支援を必要とする児童生徒へのきめ細かな対応	家庭や地域と連携した行事などの取組	学校施設の整備状況	特にな	わからない	その他
全体		103	28 27.2	23 22.3	52 50.5	28 27.2	10 9.7	14 13.6	19 18.4	22 21.4	11 10.7	16 15.5	5 4.9	1 1.0
性別	男性	34	10 29.4	10 29.4	16 47.1	7 20.6	2 5.9	7 20.6	4 11.8	6 17.6	5 14.7	5 14.7	1 2.9	-
	女性	65	18 27.7	13 20.0	35 53.8	20 30.8	7 10.8	7 10.8	14 21.5	15 23.1	6 9.2	9 13.8	4 6.2	1 1.5
	回答したくない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	1	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	33	4 12.1	8 24.2	15 45.5	8 24.2	1 3.0	4 12.1	7 21.2	6 18.2	1 3.0	6 18.2	-	-
	40歳代	47	16 34.0	7 14.9	25 53.2	12 25.5	4 8.5	7 14.9	10 21.3	10 21.3	9 19.1	6 12.8	3 6.4	1 2.1
	50歳代	14	7 50.0	5 35.7	9 64.3	6 42.9	2 14.3	1 7.1	1 7.1	4 28.6	1 7.1	2 14.3	1 7.1	-
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	70歳以上	4	1 25.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	-	-	1 25.0	-	-	1 25.0

**【問 29】小・中学校の安全・安心に学べる環境づくりにおいて、どのようなことに力を注いでいく必要があると思いますか。（○は3つまで）**

小・中学校の安全・安心に学べる環境づくりで、どのようなことに力を注いでいく必要があると思うかについては、「いじめや不登校、非行などの問題への適切な対応」が45.7%と最も高く、次いで「きめ細かな相談体制の整備（不登校の未然防止、困りごと、悩み相談など）」が41.2%、「教育に関する費用の負担軽減の推進」が24.0%の順となっています。

年代別にみると、「20歳未満」「50歳代」を除いた全ての年代で「いじめや不登校、非行などの問題への適切な対応」と回答した割合が最も高く、「20歳未満」では、「きめ細かな相談体制の整備（不登校の未然防止、困りごと、悩み相談など）」「児童生徒の安全と健康に配慮した環境の整備（校舎、体育館、エアコン設置など）」、「50歳代」では「きめ細かな相談体制の整備（不登校の未然防止、困りごと、悩み相談など）」と回答した割合が最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「いじめや不登校、非行などの問題への適切な対応」は2.6ポイント増加し、「地域の方々の見守り活動の推進（交通事故防止、防犯対策）」「学校と家庭・地域が協働して課題解決に取り組む体制づくり」は4.1ポイント減少しています。



第2章 調査結果「教育・文化」

単位： 上段=人 下段=%		サンプル数	未然防止、 十分な相 談体制の 整備（不 登校の 悩み相 談など）	地域の方 々の見守 り活動の 推進（交 通事故防 止、防犯 対策）	防犯、災 害対策に おける迅 速な情報 伝達体制 の整備（ メール配 信など）	避難訓練 や防犯訓 練の充実	児童生徒 の安全と 健康に配 慮した環 境整備（ 校舎、体 育館、エ アコン設 置など）	教育に関 する費用 の負担軽 減の推進	地元産の 食材を使 った給食 の提供や 食育アレ ルギーな どへの配 慮	学校と家 庭・地域 が協働し て課題解 決につと む体制づ くり	いじめや 不登校、 非行など の問題へ の適切な 対応	特別な支 援を必要 とする児 童生徒の 早期発見 と適切な 対応	わからない	その他	無回答
全体		822	339 41.2	174 21.2	121 14.7	62 7.5	193 23.5	197 24.0	64 7.8	116 14.1	376 45.7	147 17.9	63 7.7	10 1.2	81 9.9
性別	男性	347	142 40.9	73 21.0	44 12.7	29 8.4	71 20.5	92 26.5	26 7.5	48 13.8	157 45.2	56 16.1	25 7.2	4 1.2	36 10.4
	女性	443	186 42.0	93 21.0	71 16.0	31 7.0	116 26.2	100 22.6	36 8.1	65 14.7	201 45.4	87 19.6	37 8.4	6 1.4	38 8.6
	回答したくない	4	1 25.0	-	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	-	1 25.0	2 50.0	1 25.0	-	-	1 25.0
年代別	20歳未満	61	28 45.9	6 9.8	12 19.7	4 6.6	28 45.9	15 24.6	2 3.3	3 4.9	27 44.3	6 9.8	7 11.5	1 1.6	4 6.6
	20歳代	53	19 35.8	13 24.5	1 1.9	2 3.8	17 32.1	14 26.4	4 7.5	7 13.2	28 52.8	11 20.8	5 9.4	-	4 7.5
	30歳代	96	37 38.5	24 25.0	18 18.8	7 7.3	33 34.4	25 26.0	9 9.4	11 11.5	54 56.3	18 18.8	5 5.2	1 1.0	5 5.2
	40歳代	105	39 37.1	24 22.9	22 21.0	11 10.5	33 31.4	22 21.0	12 11.4	13 12.4	42 40.0	28 26.7	7 6.7	2 1.9	4 3.8
	50歳代	147	70 47.6	30 20.4	27 18.4	7 4.8	30 20.4	45 30.6	9 6.1	22 15.0	56 38.1	29 19.7	11 7.5	5 3.4	9 6.1
	60歳代	175	84 48.0	40 22.9	22 12.6	13 7.4	31 17.7	44 25.1	13 7.4	37 21.1	90 51.4	31 17.7	8 4.6	1 0.6	10 10.3
	70歳以上	158	52 32.9	30 19.0	14 8.9	17 10.8	16 10.1	27 17.1	13 8.2	21 13.3	64 40.5	22 13.9	19 12.0	-	31 19.6

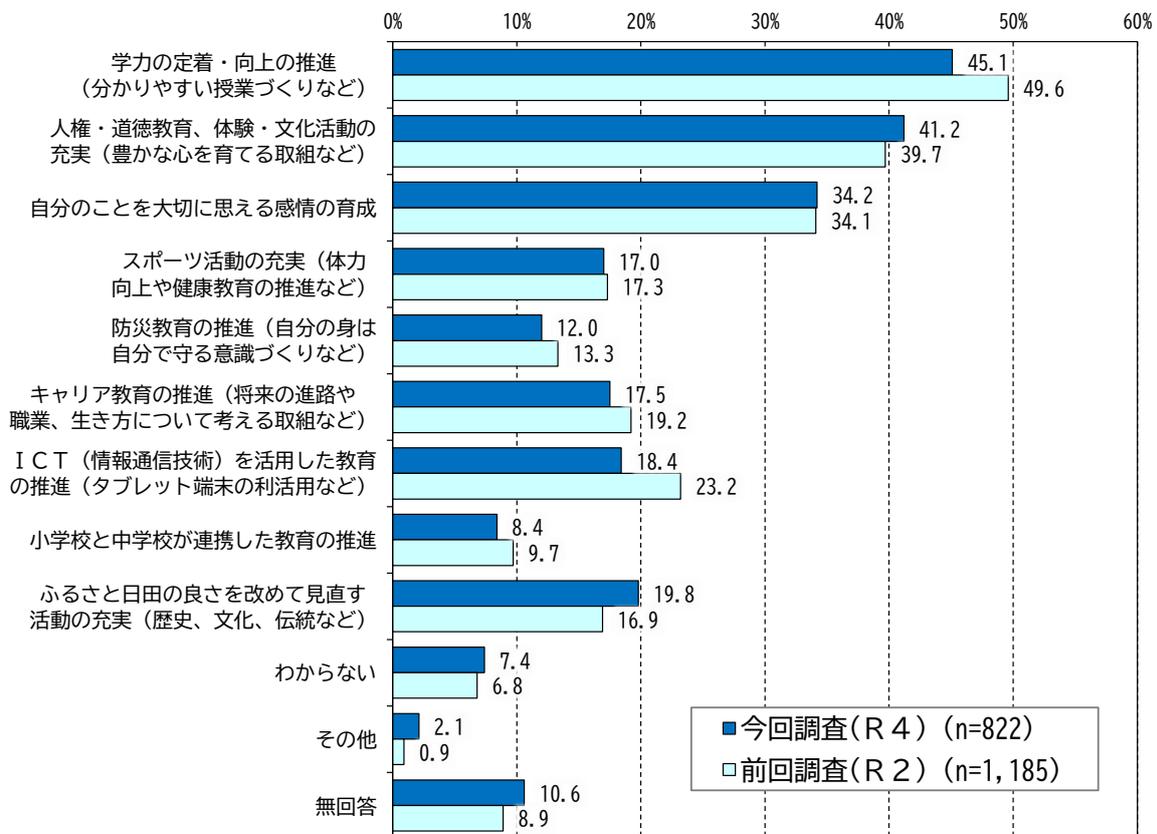
**【問 30】小・中学校の教育において、どのようなことに力を注いでいく必要があると思いますか。  
(○は3つまで)**

小・中学校の教育で、どのようなことに力を注いでいく必要があると思うかについては、「学力の定着・向上の推進（分かりやすい授業づくりなど）」が45.1%と最も高く、次いで「人権・道徳教育、体験・文化活動の充実（豊かな心を育てる取組など）」が41.2%、「自分のことを大切に思える感情の育成」が34.2%の順となっています。

性別にみると、「自分のことを大切に思える感情の育成」と回答した割合は、「女性」が41.1%で「男性」の25.9%と比較して15.2ポイント高くなっています。

年代別にみると、「30歳代」は「学力の定着・向上の推進（分かりやすい授業づくりなど）」「自分のことを大切に思える感情の育成」と回答した割合が約5割と他の年代より高くなっています。「60歳代」以上では、「ふるさと日田の良さを改めて見直す活動の充実（歴史、文化、伝統など）」と回答した割合が2割を超えており、他の年代より高くなっています。

前回調査と比較すると、「ふるさと日田の良さを改めて見直す活動の充実（歴史、文化、伝統など）」が2.9ポイント増加しています。



第2章 調査結果「教育・文化」

単位： 上段=人 下段=%		サンプル数	学力の定着・向上の推進（分かりやすい授業づくりなど）	人権・道徳教育、体験・文化活動の充実（豊かな心を育てる取組など）	自分のことを大切に思える感情の育成	スポーツ活動の充実（体力向上や健康教育の推進など）	防災教育の推進（自分の身は自分で守る意識づくりなど）	キャリア教育の推進（将来の進路や職業、生き方について考える取組など）	ICT（情報通信技術）を活用した教育の推進（タブレット端末の活用など）	小学校と中学校が連携した教育の推進	ふるさと日田の良さを改めて見直す活動の充実（歴史、文化、伝統など）	わからない	その他	無回答
全体		822	371 45.1	339 41.2	281 34.2	140 17.0	99 12.0	144 17.5	151 18.4	69 8.4	163 19.8	61 7.4	17 2.1	87 10.6
性別	男性	347	154 44.4	136 39.2	90 25.9	71 20.5	38 11.0	60 17.3	60 17.3	31 8.9	77 22.2	26 7.5	6 1.7	41 11.8
	女性	443	203 45.8	190 42.9	182 41.1	62 14.0	58 13.1	81 18.3	86 19.4	37 8.4	81 18.3	33 7.4	11 2.5	39 8.8
	回答したくない	4	1 25.0	2 50.0	3 75.0	1 25.0	-	-	1 25.0	-	1 25.0	-	-	1 25.0
年代別	20歳未満	61	25 41.0	16 26.2	23 37.7	14 23.0	5 8.2	11 18.0	16 26.2	5 8.2	4 6.6	7 11.5	2 3.3	5 8.2
	20歳代	53	21 39.6	20 37.7	22 41.5	10 18.9	8 15.1	15 28.3	10 18.9	1 1.9	9 17.0	6 11.3	1 1.9	4 7.5
	30歳代	96	50 52.1	40 41.7	49 51.0	21 21.9	10 10.4	21 21.9	18 18.8	7 7.3	11 11.5	5 5.2	2 2.1	7 7.3
	40歳代	105	49 46.7	46 43.8	37 35.2	20 19.0	15 14.3	26 24.8	27 25.7	9 8.6	18 17.1	6 5.7	4 3.8	4 3.8
	50歳代	147	73 49.7	62 42.2	56 38.1	25 17.0	13 8.8	27 18.4	26 17.7	16 10.9	26 17.7	11 7.5	6 4.1	9 6.1
	60歳代	175	79 45.1	81 46.3	60 34.3	24 13.7	27 15.4	26 14.9	26 14.9	19 10.9	45 25.7	8 4.6	2 1.1	20 11.4
	70歳以上	158	61 38.6	64 40.5	28 17.7	20 12.7	18 11.4	15 9.5	25 15.8	11 7.0	47 29.7	16 10.1	-	32 20.3

**【問 31】 あなたは、咸宜園や豆田町などの地域文化について、どう思いますか。（○は1つだけ）**

咸宜園や豆田町などの地域文化について、どう思うかについては、誇りに思う人<sup>※1</sup>が65.2%、誇りに思わない人<sup>※2</sup>が7.1%となっています。

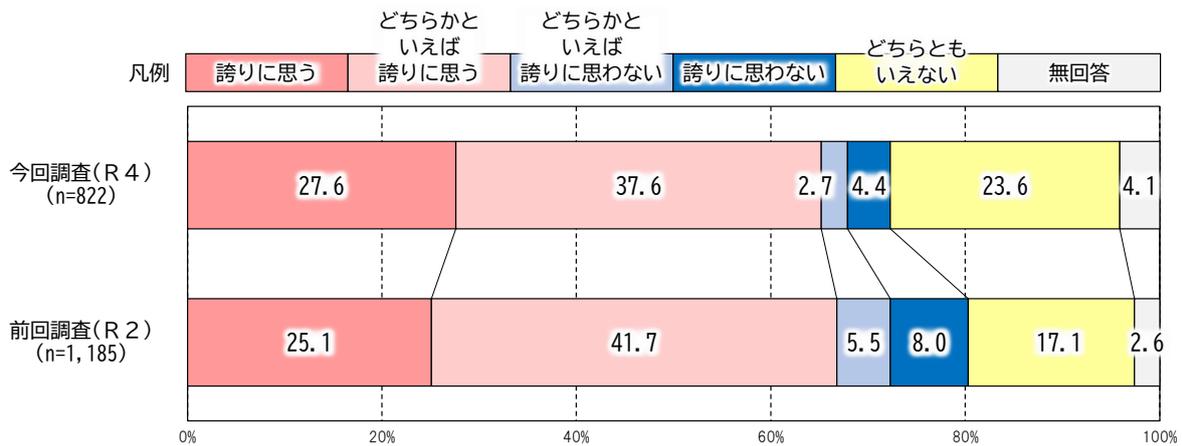
性別にみると、誇りに思う人は、「女性」が69.7%で「男性」の62.0%と比較して7.7ポイント高くなっています。

年代別にみると、「20歳未満」「70歳以上」で、誇りに思うと回答した割合が3割超と他の年代より高くなっています。一方、「40歳代」では1割程度となっており、年代によってばらつきがあります。

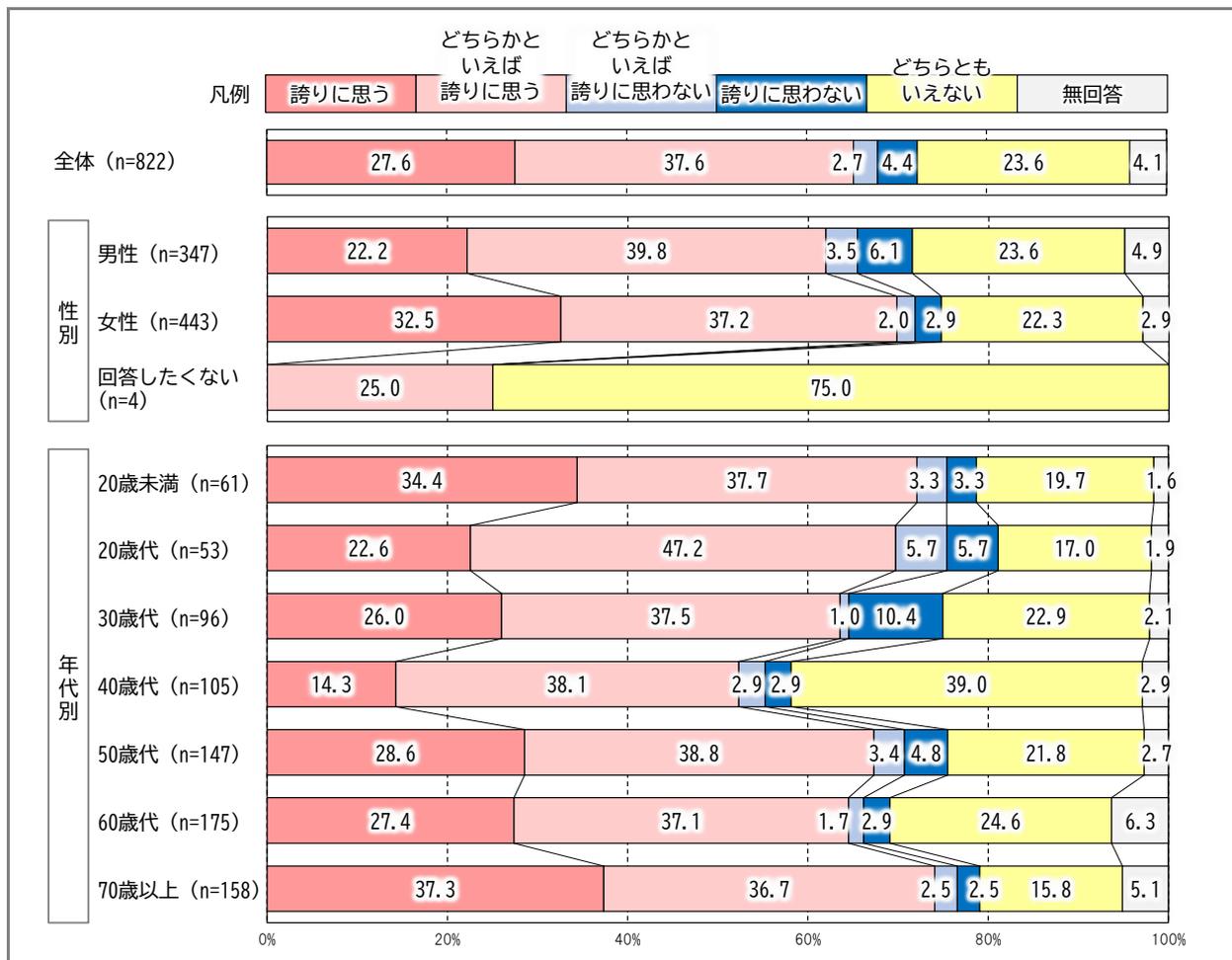
前回調査と比較すると、誇りに思う人の割合が1.6ポイント減少しています。

※1 「誇りに思う」若しくは「どちらかといえば誇りに思う」と回答した人

※2 「誇りに思わない」若しくは「どちらかといえば誇りに思わない」と回答した人



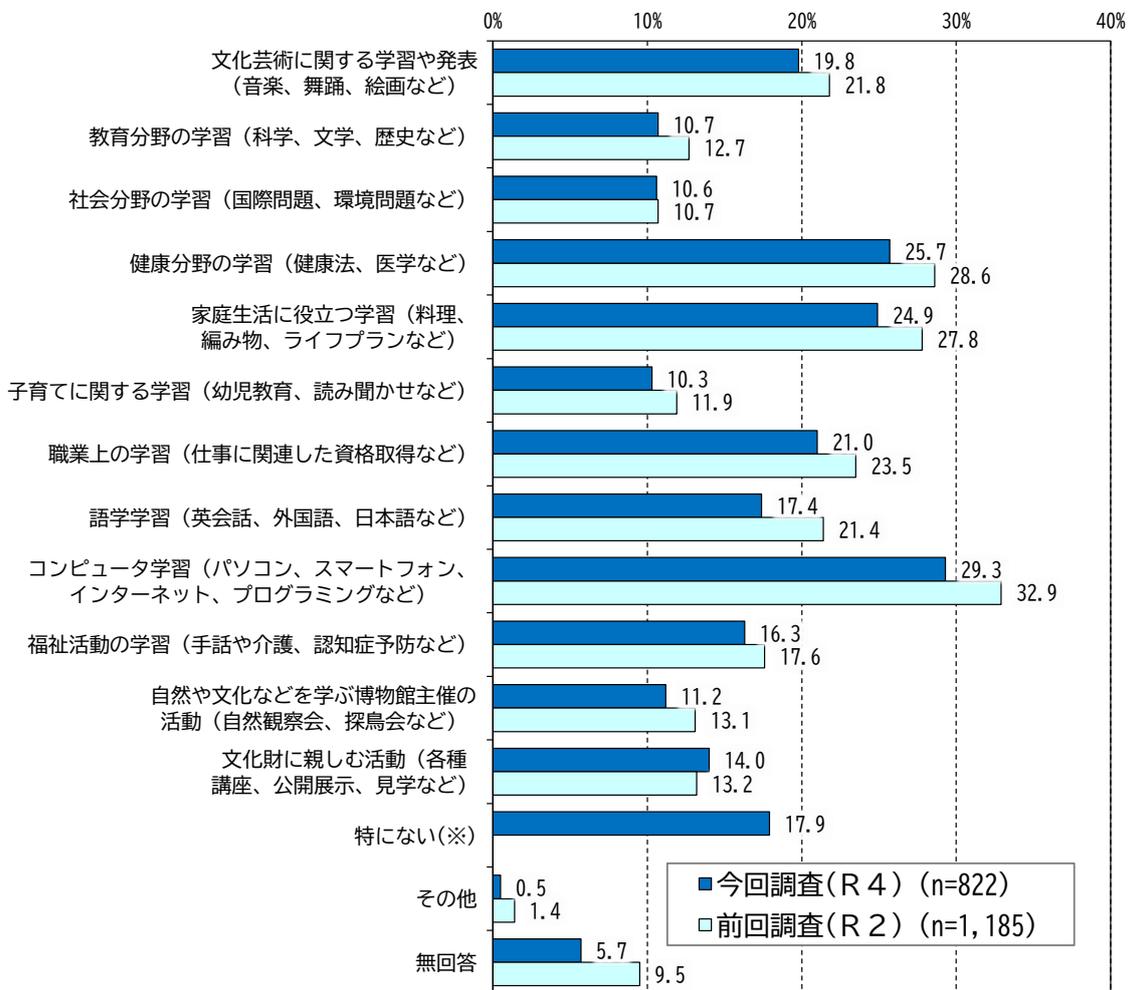
第2章 調査結果「教育・文化」



【問 32】あなたが行ってみたい生涯学習おこなはどのようなものですか。（〇はいくつでも）

行ってみたい生涯学習については、「コンピュータ学習（パソコン、スマートフォン、インターネット、プログラミングなど）」が29.3%と最も高く、次いで「健康分野の学習（健康法、医学など）」が25.7%、「家庭生活に役立つ学習（料理、編み物、ライフプランなど）」が24.9%の順となっています。

年代別にみると、「20歳未満」「20歳代」では、「コンピュータ学習（パソコン、スマートフォン、インターネット、プログラミングなど）」と回答した割合が4割を上回り、「70歳以上」では「健康分野の学習（健康法、医学など）」と回答した割合が3割を上回り、他の年代より高くなっています。



(※)「特にない」は、今回調査 (R4) で追加した選択肢

第2章 調査結果「教育・文化」

		サンプル数	文化芸術に関する学習や発表（音楽、舞踊、絵画など）	教育分野の学習（科学、文学、歴史など）	社会分野の学習（国際問題、環境問題など）	健康分野の学習（健康法、医学など）	家庭生活に役立つ学習（料理、編み物、ライフプランなど）	子育てに関する学習（幼児教育、読み聞かせなど）	職業上の学習（仕事に関連した資格取得など）	語学学習（英会話、外国語、日本語など）	コンピュータ学習（パソコン、スマートフォン、インターネット、プログラムなど）	福祉活動の学習（手話や介護、認知症予防など）	自然や文化などを学ぶ博物館主催の活動（自然観察会、探鳥会など）	文化財に親しむ活動（各種講座、公開展示、見学など）	特になし	その他	無回答
単位： 上段=人 下段=%																	
全体		822	163 19.8	88 10.7	87 10.6	211 25.7	205 24.9	85 10.3	173 21.0	143 17.4	241 29.3	134 16.3	92 11.2	115 14.0	147 17.9	4 0.5	47 5.7
性別	男性	347	61 17.6	48 13.8	42 12.1	78 22.5	39 11.2	16 4.6	74 21.3	56 16.1	107 30.8	37 10.7	45 13.0	52 15.0	71 20.5	-	21 6.1
	女性	443	96 21.7	37 8.4	42 9.5	129 29.1	160 36.1	65 14.7	96 21.7	83 18.7	128 28.9	95 21.4	45 10.2	59 13.3	70 15.8	4 0.9	22 5.0
	回答したくない	4	1 25.0	1 25.0	-	-	1 25.0	-	-	-	1 25.0	-	-	1 25.0	2 50.0	-	-
年代別	20歳未満	61	19 31.1	9 14.8	7 11.5	8 13.1	16 26.2	10 16.4	20 32.8	16 26.2	25 41.0	11 18.0	9 14.8	7 11.5	8 13.1	-	2 3.3
	20歳代	53	11 20.8	8 15.1	9 17.0	15 28.3	16 30.2	14 26.4	20 37.7	17 32.1	24 45.3	11 20.8	3 5.7	6 11.3	9 17.0	-	1 1.9
	30歳代	96	15 15.6	9 9.4	7 7.3	18 18.8	37 38.5	20 20.8	33 34.4	21 21.9	28 29.2	16 16.7	11 11.5	11 11.5	14 14.6	-	3 3.1
	40歳代	105	21 20.0	7 6.7	8 7.6	22 21.0	29 27.6	10 9.5	36 34.3	21 20.0	39 37.1	16 15.2	10 9.5	12 11.4	14 13.3	3 2.9	3 2.9
	50歳代	147	30 20.4	23 15.6	20 13.6	38 25.9	33 22.4	12 8.2	29 19.7	27 18.4	51 34.7	23 15.6	24 16.3	23 15.6	23 15.6	1 0.7	6 4.1
	60歳代	175	34 19.4	18 10.3	20 11.4	47 26.9	37 21.1	10 5.7	22 12.6	25 14.3	35 20.0	28 16.0	24 13.7	28 16.0	34 19.4	-	13 7.4
	70歳以上	158	28 17.7	12 7.6	13 8.2	59 37.3	32 20.3	5 3.2	10 6.3	12 7.6	34 21.5	27 17.1	9 5.7	26 16.5	41 25.9	-	15 9.5

**【問 33】 あなたは、日田市における「人権に関する意識」について、どう思いますか。**  
**(○は1つだけ)**

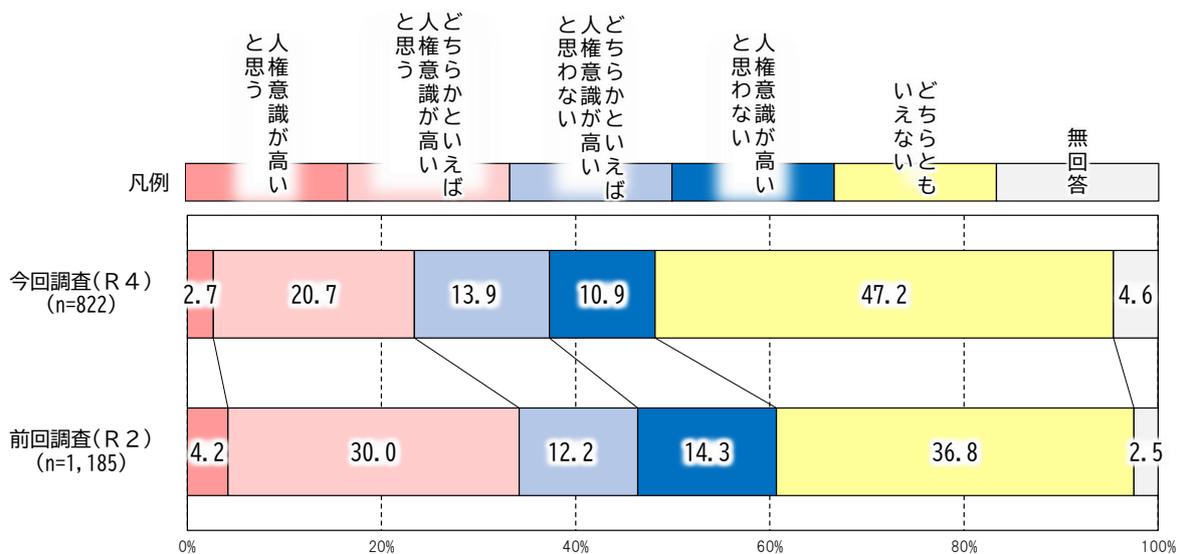
日田市における「人権に対する意識」について、どう思うかについては、人権意識が高いと思う人<sup>※1</sup>が23.4%、人権意識が高いと思わない人<sup>※2</sup>が24.8%となっています。

年代別にみると、「30歳代」から「50歳代」を除いた全ての年代で、人権意識が高いと思う人の割合が高くなっています。特に「40歳代」は人権意識が高いと思う人の割合は1割程度と他の年代に比べて低くなっています。

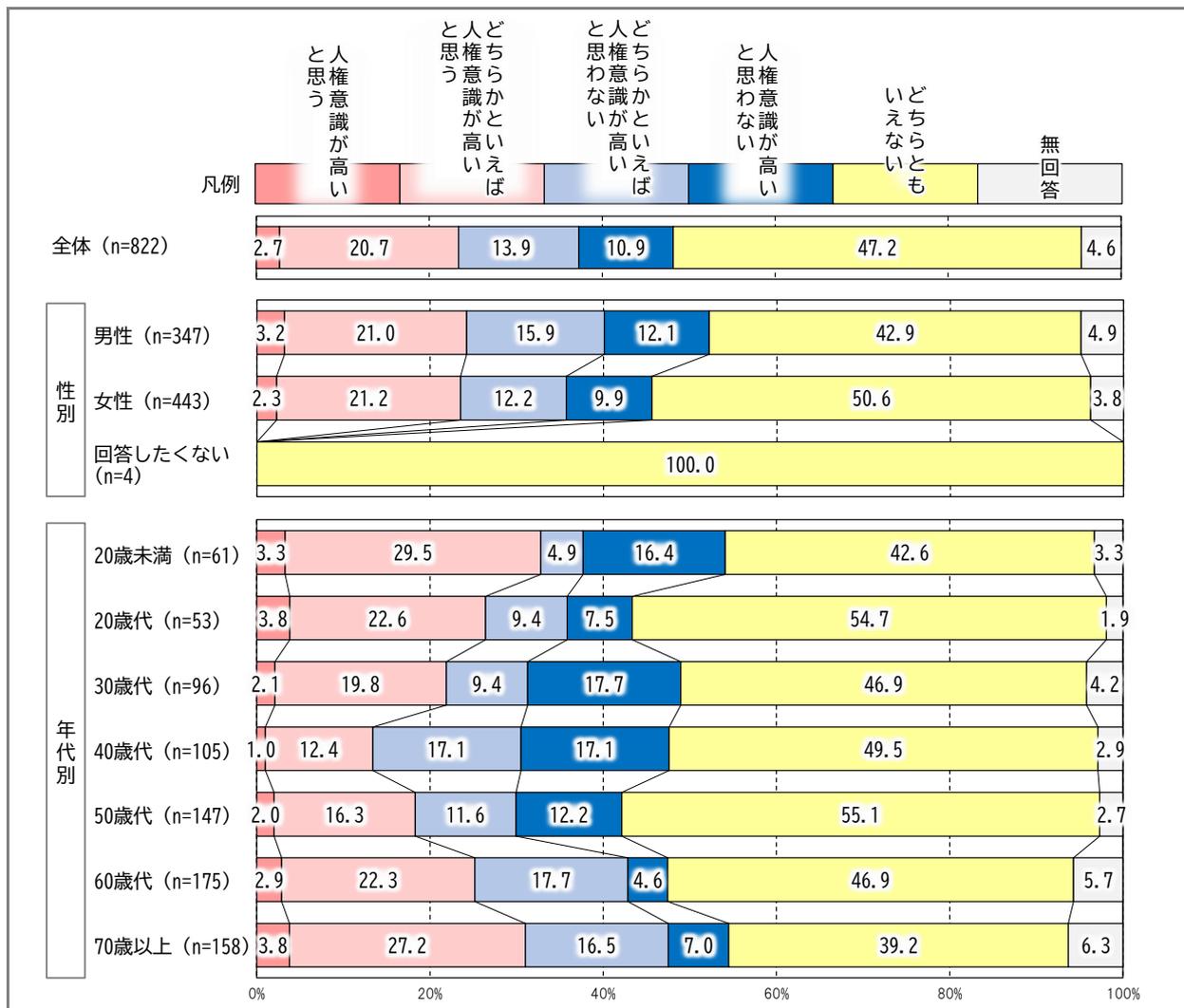
前回調査と比較すると、人権意識が高いと思う人の割合が10.8ポイント減少しています。

※1「人権意識が高いと思う」若しくは「どちらかといえば人権意識が高いと思う」と回答した人

※2「人権意識が高いと思わない」若しくは「どちらかといえば人権意識が高いと思わない」と回答した人



第2章 調査結果「教育・文化」

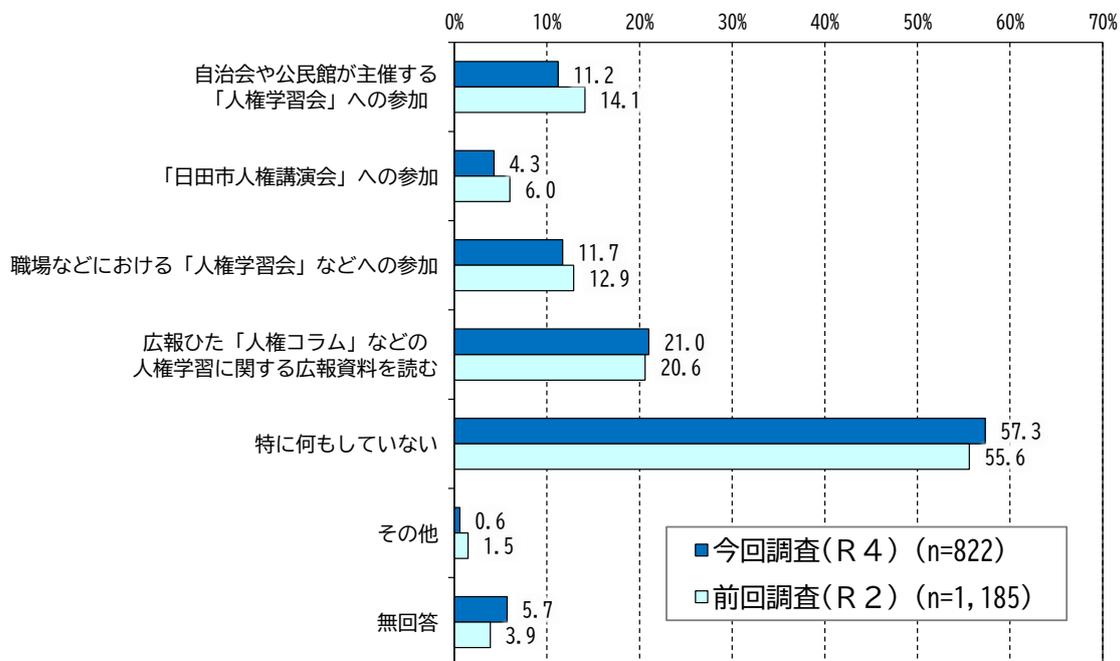


【問 34】あなたが、参加や学習している人権学習活動はどのようなものですか。

(○はいくつでも)

参加や学習している人権学習活動については、「特に何もしていない」が57.3%と最も高く、次いで「広報ひた「人権コラム」などの人権学習に関する広報資料を読む」が21.0%、「職場などにおける「人権学習会」などへの参加」が11.7%、「自治会や公民館が主催する「人権学習会」への参加」が11.2%の順となっています。

年代別にみると、「20歳未満」から「50歳代」で、「特に何もしていない」と回答した割合が5割を上回り、「60歳代」以上よりも高くなっています。「60歳代」以上では、「自治会や公民館が主催する「人権学習会」への参加」と回答した割合が、他の年代より高くなっています。



第2章 調査結果「教育・文化」

単位： 上段=人 下段=%		サンプル数	自治会や公民館が主催する「人権学習会」への参加	「日田市人権講演会」への参加	職場などにおける「人権学習会」への参加	「ムラ」などの人権学習に関する広報資料を読む	広報ひた「人権コラム」などの人権学習に関する資料を読む	特に何もしていない	その他	無回答
全体		822	92 11.2	35 4.3	96 11.7	173 21.0	471 57.3	5 0.6	47 5.7	
性別	男性	347	51 14.7	19 5.5	35 10.1	66 19.0	200 57.6	1 0.3	16 4.6	
	女性	443	40 9.0	16 3.6	61 13.8	101 22.8	250 56.4	4 0.9	26 5.9	
	回答したくない	4	- -	- -	- -	- -	4 100.0	- -	- -	
年代別	20歳未満	61	2 3.3	3 4.9	8 13.1	6 9.8	43 70.5	4 6.6	1 1.6	
	20歳代	53	1 1.9	1 1.9	4 7.5	3 5.7	44 83.0	-	1 1.9	
	30歳代	96	5 5.2	5 5.2	14 14.6	15 15.6	63 65.6	-	3 3.1	
	40歳代	105	9 8.6	6 5.7	17 16.2	11 10.5	75 71.4	-	4 3.8	
	50歳代	147	9 6.1	5 3.4	30 20.4	31 21.1	82 55.8	-	6 4.1	
	60歳代	175	37 21.1	12 6.9	17 9.7	51 29.1	72 41.1	1 0.6	17 9.7	
	70歳以上	158	28 17.7	3 1.9	6 3.8	51 32.3	75 47.5	-	10 6.3	

【問 35】あなたは、この1年間、どのくらい運動やスポーツおこなを行いましたか。（○は1つだけ）

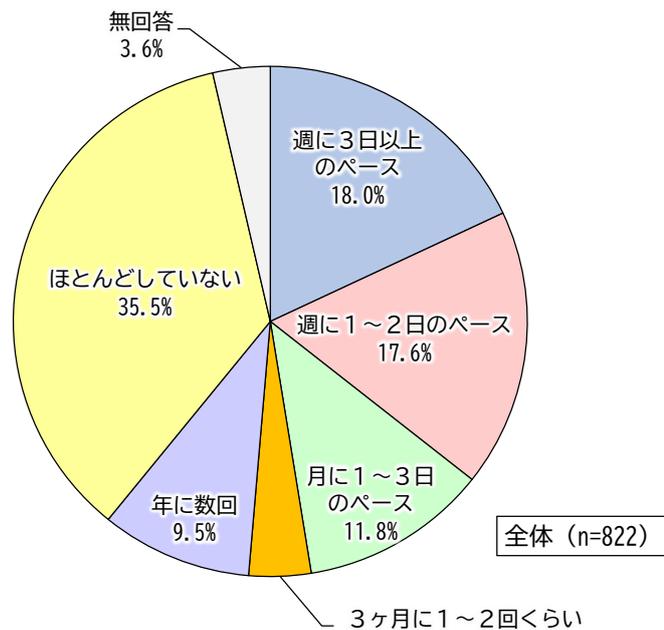
この1年間、どのくらい運動やスポーツを行ったかについては、運動を行っている人<sup>※1</sup>が60.8%、運動を行っていない人<sup>※2</sup>が35.5%となっています。

性別にみると、運動を行っている人は、「男性」が65.8%で「女性」の58.4%と比較して7.4ポイント高くなっています。

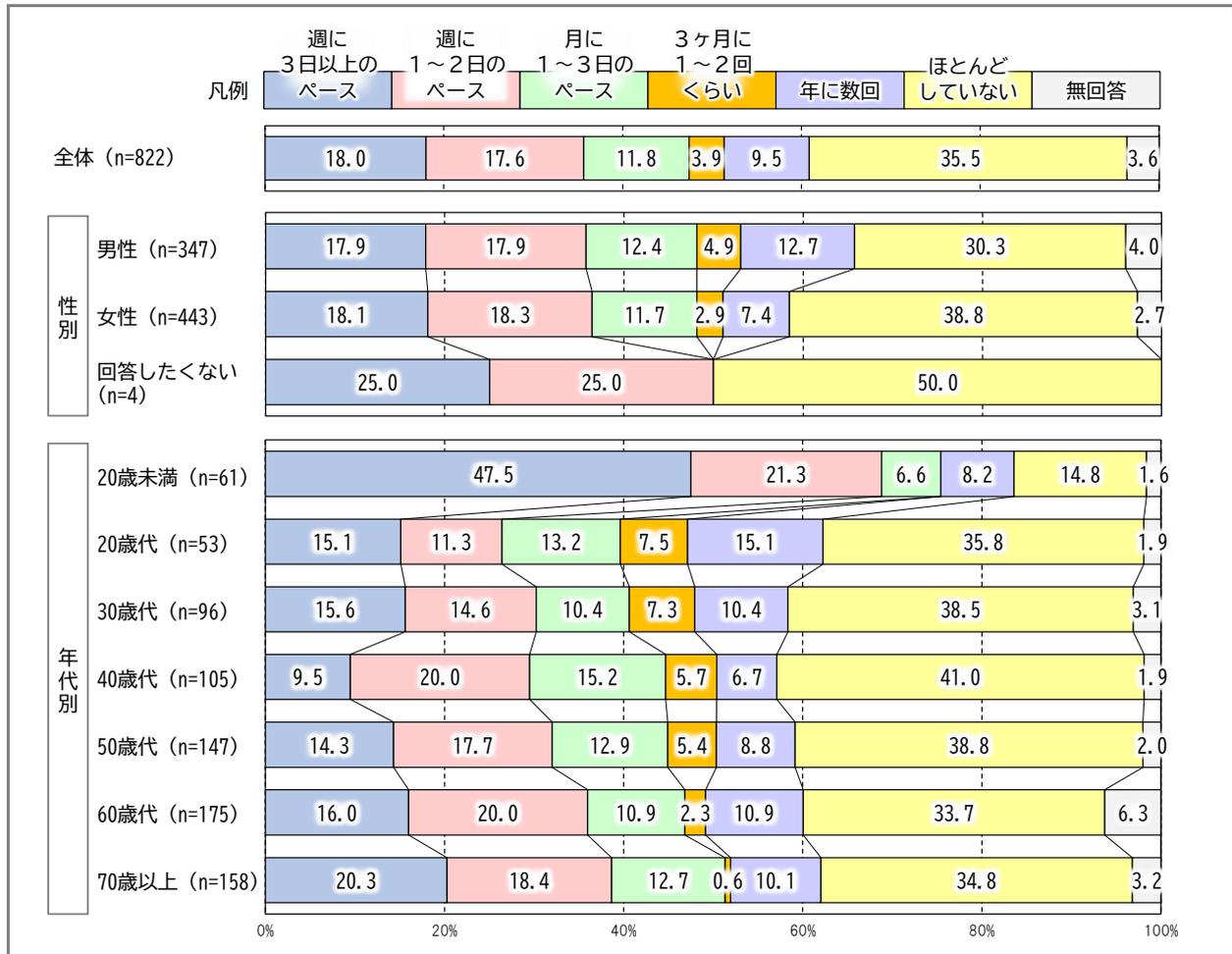
年代別にみると、「20歳未満」では運動を行っている人の割合が8割を超えており、他の年代に比べて顕著に高くなっています。「20歳未満」に次いで「70歳以上」は、「週に3日以上ペース」と回答した割合が2割を上回り、他の年代より運動意識が高い傾向が見られます。

※1 「週に3日以上ペース」若しくは「週に1～2日のペース」若しくは「月に1～3日のペース」若しくは「3ヶ月に1～2回くらい」若しくは「年に数回」と回答した人

※2 「ほとんどしていない」と回答した人



第2章 調査結果「教育・文化」



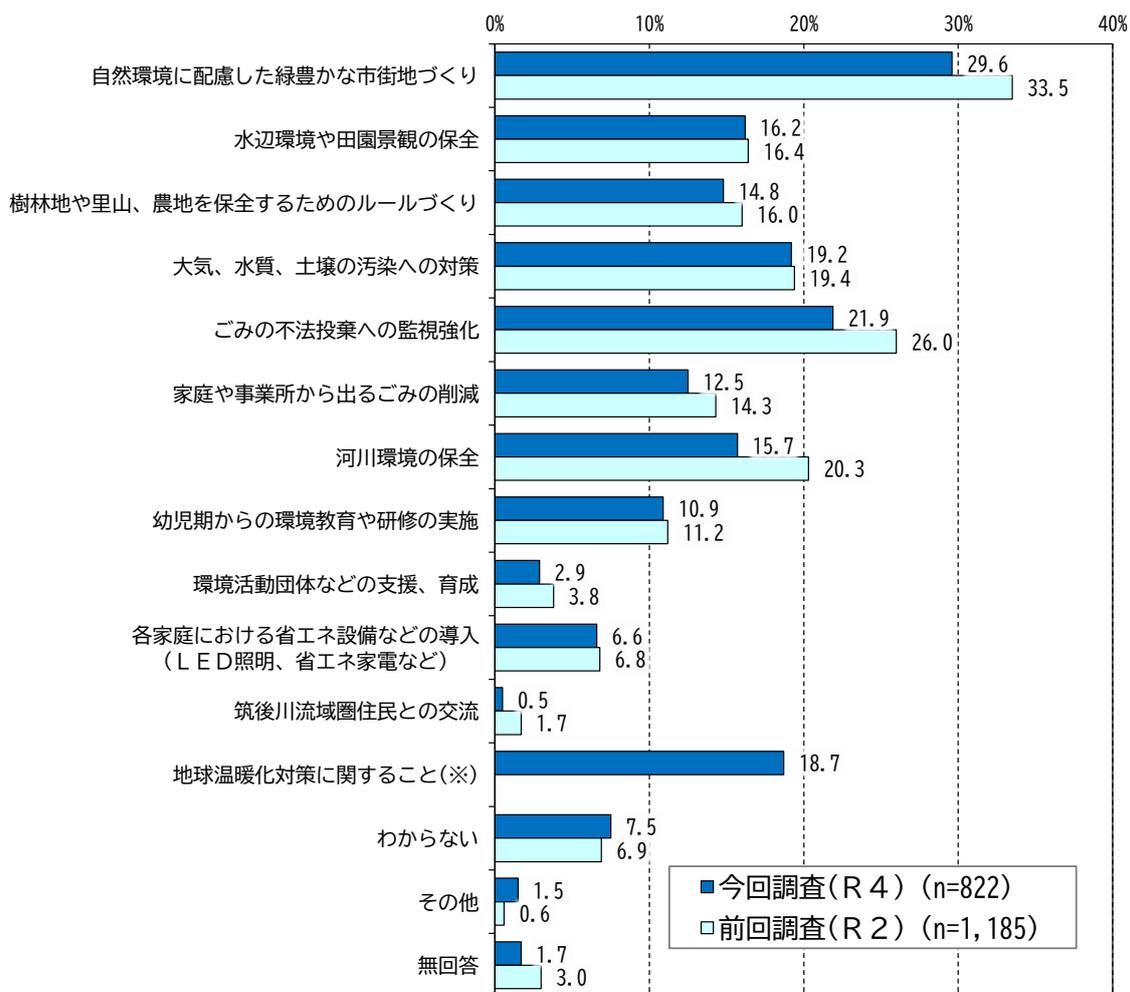
**【問 36】 自然環境を保護し、緑豊かなまちをつくるために、どのようなことが特に重要だと思いますか。（〇は2つまで）**

自然環境を保護し、緑豊かなまちをつくるために、どのようなことが特に重要だと思うかについては、「自然環境に配慮した緑豊かな市街地づくり」が29.6%と最も高く、次いで「ごみの不法投棄への監視強化」が21.9%、「地球温暖化対策に関すること」が18.7%の順となっています。

性別にみると、「樹林地や里山、農地を保全するためのルールづくり」と回答した割合は、「男性」が20.7%で「女性」の10.6%と比較して10.1ポイント高くなっています。「家庭や事業所から出るごみの削減」と回答した割合は、「女性」が15.3%で「男性」の8.9%と比較して6.4ポイント高くなっています。

年代別にみると、全ての年代で「自然環境に配慮した緑豊かな市街地づくり」と回答した割合が最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「河川環境の保全」が4.6ポイント減少しています。



(※)「地球温暖化対策に関すること」は、今回調査(R4)で追加した選択肢

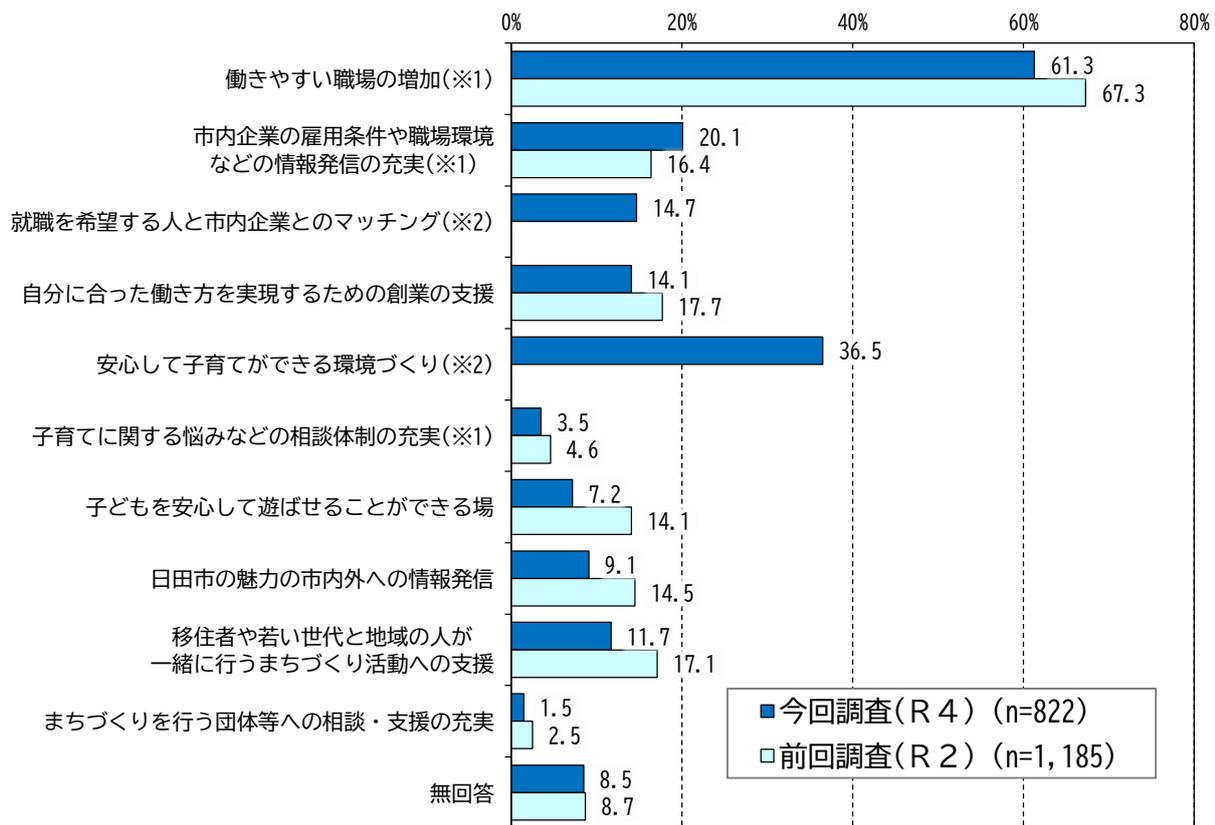
第2章 調査結果「環境」

単位： 上段=人 下段=%		サンプル数	自然環境に配慮した緑豊かな市街地づくり	水辺環境や田園景観の保全	樹林地や里山のルールづくり	大気、水質、土壌の汚染への対策	ごみの不法投棄への監視強化	家庭や事業所から出るごみの削減	河川環境の保全	幼児期からの環境教育や研修の実施	環境活動団体などの支援、育成	各家庭における省エネ設備などの導入（LED照明、省エネ家電などの導入）	筑後川流域圏住民との交流	地球温暖化対策に関すること	わからない	その他	無回答
全体		822	243 29.6	133 16.2	122 14.8	158 19.2	180 21.9	103 12.5	129 15.7	90 10.9	24 2.9	54 6.6	4 0.5	154 18.7	62 7.5	12 1.5	14 1.7
性別	男性	347	107 30.8	67 19.3	72 20.7	66 19.0	79 22.8	31 8.9	64 18.4	39 11.2	9 2.6	18 5.2	2 0.6	53 15.3	19 5.5	5 1.4	5 1.4
	女性	443	127 28.7	64 14.4	47 10.6	86 19.4	96 21.7	68 15.3	61 13.8	46 10.4	14 3.2	33 7.4	2 0.5	92 20.8	40 9.0	6 1.4	9 2.0
	回答したくない	4	1 25.0	-	-	2 50.0	-	-	-	1 25.0	-	1 25.0	-	3 75.0	-	-	-
年代別	20歳未満	61	15 24.6	6 9.8	4 6.6	13 21.3	6 9.8	6 9.8	11 18.0	5 8.2	2 3.3	1 1.6	1 1.6	7 11.5	17 27.9	1 1.6	-
	20歳代	53	20 37.7	8 15.1	7 13.2	14 26.4	14 26.4	3 5.7	7 13.2	4 7.5	1 1.9	1 1.9	-	10 18.9	3 5.7	-	1 1.9
	30歳代	96	32 33.3	17 17.7	7 7.3	20 20.8	29 30.2	12 12.5	14 14.6	14 14.6	-	5 5.2	1 1.0	14 14.6	5 5.2	3 3.1	1 1.0
	40歳代	105	29 27.6	20 19.0	16 15.2	20 19.0	18 17.1	8 7.6	17 16.2	15 14.3	8 7.6	9 8.6	-	19 18.1	7 6.7	-	1 1.0
	50歳代	147	41 27.9	23 15.6	19 12.9	29 19.7	29 19.7	27 18.4	28 19.0	13 8.8	4 2.7	5 3.4	1 0.7	33 22.4	8 5.4	5 3.4	1 0.7
	60歳代	175	46 26.3	34 19.4	38 21.7	37 21.1	42 24.0	22 12.6	28 16.0	18 10.3	5 2.9	15 8.6	1 0.6	38 21.7	10 5.7	-	2 1.1
	70歳以上	158	52 32.9	23 14.6	28 17.7	21 13.3	37 23.4	22 13.9	20 12.7	18 11.4	3 1.9	16 10.1	-	27 17.1	9 5.7	2 1.3	8 5.1

**【問 37】** 日田市は令和2年3月に「第2期日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、令和2年度から令和5年度にかけて、加速化する人口減少を抑制するために「若い世代が住み続けたいと思うふるさと日田を創る<sup>おこな</sup>」を基本目標に取組を行っています。今後、若い世代（特に25～44歳）が日田市に住み続けたいと思うために、重要な取組だと思ふものを下記から2項目選択してください。

今後、若い世代が日田市に住み続けたいと思うために、重要な取組だと思ふものについては、「働きやすい職場の増加」が61.3%と最も高く、次いで「安心して子育てができる環境づくり」が36.5%、「市内企業の雇用条件や職場環境などの情報発信の充実」が20.1%の順となっています。

年代別にみると、「20歳代」「30歳代」「50歳代」では、「安心して子育てができる環境づくり」と回答した割合が4割を上回り、他の年代よりも高くなっています。「70歳以上」では、「移住者や若い世代と地域の人と一緒にいるまちづくり活動への支援」と回答した割合が他の年代よりも高くなっています。



(※1)「働きやすい職場の増加」「市内企業の雇用条件や職場環境などの情報発信の充実」「子育てに関する悩みなどの相談体制の充実」はそれぞれ、前回調査(R2)の「働きやすい市内企業の増加」「市内企業の魅力や求人等の情報発信の充実」「子育てに関する悩みなどの相談・支援窓口の設置」と比較を行っている

(※2)「就職を希望する人と市内企業とのマッチング」「安心して子育てができる環境づくり」は、今回調査(R4)で追加した選択肢

第2章 調査結果「地方創生」

単位： 上段=人 下段=%		サンプル数	働きやすい職場の増加	職場環境などの情報発信	市内企業の雇用条件やマツチング	就職を希望する人と市内企業とのマッチング	就職を希望する人と市内企業とのマッチング	支援するための働き方の実践	自分に合った働き方の実践	環境づくり	安心して子育てができる環境づくり	子育てに関する悩みなどの相談体制の充実	子どもを安心して遊ばせることができる場	日田市の魅力の市内への情報発信	地域の人が活動しやすいまちづくりへの支援	移住者や若い世代と地元の人の交流	実等への相談・支援の充実	まちづくりを行う団体	無回答
全体		822	504 61.3	165 20.1	121 14.7	116 14.1	300 36.5	29 3.5	59 7.2	75 9.1	96 11.7	12 1.5	70 8.5						
性別	男性	347	205 59.1	76 21.9	60 17.3	41 11.8	113 32.6	11 3.2	23 6.6	36 10.4	45 13.0	6 1.7	33 9.5						
	女性	443	283 63.9	84 19.0	57 12.9	70 15.8	178 40.2	16 3.6	30 6.8	37 8.4	46 10.4	6 1.4	33 7.4						
	回答したくない	4	2 50.0	1 25.0	-	-	2 50.0	-	-	1 25.0	2 50.0	-	-						
年代別	20歳未満	61	39 63.9	8 13.1	7 11.5	7 11.5	16 26.2	3 4.9	9 14.8	7 11.5	4 6.6	1 1.6	8 13.1						
	20歳代	53	36 67.9	8 15.1	7 13.2	7 13.2	22 41.5	3 5.7	5 9.4	9 17.0	3 5.7	1 1.9	1 1.9						
	30歳代	96	65 67.7	14 14.6	10 10.4	13 13.5	43 44.8	4 4.2	17 17.7	6 6.3	7 7.3	1 1.0	5 5.2						
	40歳代	105	63 60.0	30 28.6	14 13.3	18 17.1	35 33.3	3 2.9	8 7.6	14 13.3	13 12.4	-	4 3.8						
	50歳代	147	101 68.7	34 23.1	27 18.4	20 13.6	62 42.2	3 2.0	3 2.0	10 6.8	16 10.9	2 1.4	5 3.4						
	60歳代	175	106 60.6	38 21.7	28 16.0	27 15.4	64 36.6	9 5.1	7 4.0	12 6.9	19 10.9	4 2.3	16 9.1						
	70歳以上	158	80 50.6	29 18.4	24 15.2	21 13.3	49 31.0	2 1.3	5 3.2	17 10.8	29 18.4	3 1.9	28 17.7						

---

---

## 令和 4 年度 日田市市民意識調査

---

令和 5 年 3 月

企 画 ・ 発 行：日田市 企画振興部 地方創生推進課

〒 877-8601 大分県日田市田島 2 丁目 6 番 1 号

TEL 0973-22-8223

FAX 0973-22-8250

<https://www.city.hita.oita.jp/>

E-mail [kikaku@city.hita.lg.jp](mailto:kikaku@city.hita.lg.jp)

調 査 委 託：株式会社 西日本リサーチ・センター

---

---